

# 北星ピア・サポーター 活動報告書

## 2024

2025/06/20

北星学園大学学習サポートセンター発行

# 目次

活動全体に関する資料.....	4
三役・係.....	7
三役.....	8
定例会.....	11
カウンターシフト.....	13
リーダーズ会議.....	15
スタートアップ研修.....	17
北星ピア・サポーターによる説明会準備 進捗報告会.....	20
北星ピア・サポーターによる説明会 中間リハーサル.....	21
北星ピア・サポーターによる説明会 最終リハーサル.....	23
なんでも相談会.....	26
総務人事係.....	28
定例会での係紹介.....	31
Teams に関する説明会.....	32
書庫管理・ルール制定.....	33
総務人事係座談会.....	34
定例会議事録作成.....	35
2024年度 北星ピア・サポーターインターンシップ.....	36
2025年度 北星ピア・サポーター公募面接.....	38
広報係.....	40
ネーム作成.....	45
名刺作成①・②.....	46
Instagram 運用.....	47
ピアサポ写真集.....	51
企画係.....	53
定例会企画.....	57
スタートアップ研修（アイスブレイク）.....	59
スタートアップ研修（セッション③）.....	61
キックオフ研修（アイスブレイク）.....	63
学科.....	66
英文学科.....	67
ゼミ生の声冊子.....	69
北星ピア・サポーターによる説明会.....	73
心理・応用コミュニケーション学科.....	79
北星ピア・サポーターによる説明会.....	82
経済学科.....	85

北星ピア・サポーターによる説明会.....	87
経営情報学科.....	92
ゼミ相談会.....	94
北星ピア・サポーターによる説明会.....	96
経済法学科.....	99
ゼミ相談会.....	101
北星ピア・サポーターによる説明会.....	103
社会福祉学科、福祉臨床学科、福祉計画学科.....	105
北星ピア・サポーターによる説明会.....	108
ソーシャルワーク入門実習相談会.....	110
心理学科.....	111
ピアサポによる心理学科悩み事アンケート調査.....	113
心理学科なんでも相談会.....	115
心理学科ゼミ説明会.....	117
心理学科新入生オリエンテーション・説明会.....	119
短期大学部英文学科.....	122
編入学試験対策冊子（企画断念）.....	124
イベント参加.....	126
ぴあのおわ 2024in 大阪.....	127
日本ピア・サポート学会第 22 回北海道研究大会.....	135
学生リーダーズスプリングスクール.....	136
学科・係以外.....	140
2024年度 アドバイザー会企画.....	141
デザインマスターになろう！.....	146
新入生応援 BOOK 作成.....	149
キックオフ会報告書.....	152
良いところ眼鏡を身につけよう&2 日目リフレクションに向けて.....	153
セッション② 新入生企画のイメージを固めよう.....	155
セッション③ピアトーク.....	157
夕食づくりの検討.....	159
グラドルールを定めよう.....	162

# 活動全体に関する資料

## ■2024 年度各学科構成員

	英文	心コミ	経済	経情	経法	社福	計画	臨床	心理	短英	生活	合計
1 年目	3	2	3	5	3	6	0	0	3	0	0	25
2 年目	3	2	3	1	3	0	2	2	3	2	0	21
アドバイザー	1	2	3	1	2	0	1	3	2	2	0	17
小計	7	6	9	7	8	6	3	5	8	4	0	63
インターン	4	0	1	1	0	2	0	0	1	-	-	9
合計	11	6	10	8	8	8	3	5	9	4	0	72

※ 1 年目とは四大 2 年次生・短期大学部 1 年次生を指し、2 年目とは四大 3 年次生・短期大学部 2 年次生を指す。アドバイザーとは四大 4 年次生・短期大学部からの編入した四大 3 年次生を指す。

※ ピアサポの任期は基本的にその年度の 6 月から 2 年後の 5 月末までの 2 年間である。なお、留学・休学・退学・自主的なピアサポ辞退など、やむを得ない事情がある場合、任期はこの限りではない。

※ アドバイザーおよび短英（短期大学部英文学科）、生活（短期大学部生活創造学科）の 2 年目ピア・サポーターの任期は 2024 年 6 月から 2025 年 3 月まで（卒業のため）。

※ インターン（四大 1 年次生）の任期は 2024 年 10 月・11 月（各インターンの申込日）から 2025 年 1 月まで。なお、インターン終了後、北星ピア・サポーターに応募するかどうかは本人の意思に委ねるものとする。

## ■2024 年度三役・係構成員

三役

リーダー 1 名（2 年目）

副リーダー 1 名（2 年目）

3 名（1 年目）

係

総務・人事係 9 名（1 年目 5 名、2 年目 2 名、アドバイザー 2 名）

広報係 8 名（1 年目 4 名、2 年目 3 名、アドバイザー 1 名）

企画係 9 名（1 年目 4 名、2 年目 3 名、アドバイザー 2 名）

## ■2024 年度カウンター対応件数

16 件

## ■2024 年度 活動年表 (全体)

---

2024 年	6 月	新体制スタート 任命式 スタートアップ研修
	9 月	1 年目向け研修
	10 月	大学祭 (2 店舗)
	11 月	ぴあのわ 2024 in 大阪 日本ピア・サポート学会第 22 回北海道研究大会
	12 月	キックオフ会
<hr/>		
2025 年	2 月	進捗報告会 ホームカミングデー 学生リーダーズスプリングスクール 中間リハーサル
	3 月	アドバイザー企画 最終リハーサル
	4 月	北星ピア・サポーターによる説明会 ピアサポなんでも相談会 北星ピア・サポーター採用活動

---

## 三役・係

北星ピア・サポーターには役割として、三役（運営の管理）と3つの係（総務人事係、広報係、企画係）があり、それぞれの目的に沿った活動をおこなっています。

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/05/15

<b>学科・係</b>	三役	
<b>メンバー</b>	1年目	内山佳子, 末岡桃萌, 藤井利帆
	2年目	佐藤涼美, 北島楓
	アドバイザー	
<b>目的・目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北星ピア・サポーター全体を統括し、活動の基盤を支える役割を担う。</li> <li>・ 定例会や研修など、組織全体に関わる活動の運営を行い、個人、学科、係まで様々な活動をサポートする。</li> <li>・ 組織全体が活動しやすい組織づくりを目指す。</li> </ul>	
<b>活動概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会の準備・運営</li> <li>・ カウンターシフトの作成</li> <li>・ スタートアップ研修の企画・運営</li> <li>・ 新入生説明会に向けた準備（進捗報告会, 中間リハーサル, 最終リハーサル）の企画・運営</li> <li>・ なんでも相談会の企画・運営</li> <li>・ 各係リーダーとリーダーズ会議の開催</li> <li>・ ピアサポバンク（ピアサポで保有している金銭を指す）の管理</li> <li>・ 活動報告書の作成呼びかけ・添削</li> </ul>	
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三役メンバーの平等なスキルアップの機会を設けられた             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 会議内での役割を細かく決めていなかったため、ファシリテーターや書記といった役割を全員が担当できた</li> </ul> </li> <li>・ 三役メンバー間のスケジュール共有ができていた             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ スケジュール共有アプリを使用していたため、お互いの忙しさ共有ができており、全体共有事項等、事前に確認を取るなどの配慮ができた。</li> </ul> </li> <li>・ ピアサポ内の役割の適切な分担ができた             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 年度初めに各係リーダーとリーダーズ会議を開催し、各係の活動内容の確認をできていたため、昨年度よりも三役の負担を減らすことができた。</li> </ul> </li> <li>・ 細かい連絡も必ず Teams で取っていたため、活動の可視化ができていた             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 三役メンバー間や学習サポートデスク（以下、デスク）の間で誰かは知っていて誰かは知らないということがなかった。</li> </ul> </li> </ul>	

<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的な企画・立案ができなかった（レスキューしていただく機会が多かった） <ul style="list-style-type: none"> <li>→ スタートが遅い，ゴールを見据えた準備ができていなかった</li> </ul> </li> <li>・ 遅刻等，最低限のマナーが守れていなかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 会議開始時間に集まらないことが多かった。デスクやアドバイザーの方々が来てくれている会議でも遅刻がみられた。</li> </ul> </li> <li>・ 三役と他のメンバーとの距離が遠かった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 三役の活動内容等を他のメンバーに共有することが少なかった。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (30) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デスクの方々やアドバイザー，現役のメンバーを頼る <ul style="list-style-type: none"> <li>【理由①】多角的な視点の形成のため <ul style="list-style-type: none"> <li>→ “自分たちだけでなんとかしなくてはいけない”という誤った認識は，視野を狭め，学内研修等提供するものの質を下げてしまう。</li> </ul> </li> <li>【理由②】他者との情報共有による現状把握のため <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 活動中に困ったことがあったり，ピアサポ外活動との両立が困難になったりした際にサポートしてもらいやすくなる。これは“三役の孤立感”の解消にもつながる。ただし，サポートしてもらえることが当たり前にならないように。感謝を忘れない。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 三役メンバーがピアサポメンバーと会話の機会を意識的に増やす <ul style="list-style-type: none"> <li>【理由①】全体課題の把握のため <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 係単位や学科単位，個人単位といった様々な視点からみたピアサポの課題を知ることができるため，三役として持つべき全体視点の幅が広がる。</li> </ul> </li> <li>【理由②】三役メンバーと全員の信頼関係構築のため <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 日頃から会話が活発にあることで，声をかけやすく，相談しやすい空気が生まれ，風通しの良い組織になり，業務的でない関係性構築につながる。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

## 年間スケジュール

<b>6月</b>	2024 年度定例会開始 7 日 前期カウンターシフト開始 10 日 3 日：任命式 6、13 日：リーダーズ会議 22 日、23 日：スタートアップ研修実施
<b>7月</b>	前期カウンターシフト終了 26 日
<b>8月</b>	
<b>9月</b>	後期カウンターシフト開始 16 日
<b>10月</b>	
<b>11月</b>	インターン生追加カウンターシフト開始 11 日
<b>12月</b>	
<b>1月</b>	後期カウンターシフト（インターン生追加）終了 17 日
<b>2月</b>	10 日：進捗報告会 17、18 日：中間リハ
<b>3月</b>	17、18 日：最終リハ
<b>4月</b>	世代交代前カウンターシフト開始 21 日
<b>5月</b>	世代交代前カウンターシフト終了 30 日

## No.1

<b>活動名称</b>	定例会		
<b>日時</b>	2024年6月7日～2025年5月30日		
<b>場所</b>	各大学講義室		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	各回による
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北星ピア・サポーターが週に1度集まり、諸活動の報告を行う。</li> <li>組織全体での意思決定の場として、協議を行い活動を進めていく。</li> </ul>		
<b>準備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週月曜日にアジェンダの編集リンクを定例会チャンネルに投稿した。</li> <li>毎週木曜日か金曜日の午前中にアジェンダの完成版を定例会チャンネルに投稿した。事前に欠席が分かっている場合は、この投稿にその旨を返信する形で把握し、定例会当日は、出席簿を回し参加者に各自でチェックしてもらった。</li> </ul>		
<b>実施内容</b>	<p>第1回（6月7日）：【総務人事係】 Teams 使用方法について</p> <p>第2回（6月14日）</p> <p>第3回（6月21日）：【教員】 カウンター相談のポイント</p> <p>第4回（6月28日）：協議事項（星学祭模擬店参加について）</p> <p>第5回（7月5日）：協議事項（星学祭模擬店参加について）</p> <p>第6回（7月12日）</p> <p>第7回（7月19日）：協議事項（インターン生募集について※決議なし）</p> <p>第8回（7月26日）：協議事項（定例会アジェンダのペーパーレス化の提案）、打ち合わせ事項（インターン生募集について）</p> <p>第9回（9月20日）：協議事項（インターン生の学科活動について）</p> <p>第10回（9月26日）：【企画係】 月1企画実施</p> <p>第11回（10月11日）</p> <p>第12回（10月18日）</p> <p>第13回（10月25日）：協議事項（学外研修の自己負担軽減と参加者増加に向けた制度確立へのピアサポバンク使用）、【企画係】 月1企画実施</p> <p>第14回（11月1日）※三役学外研修参加のため対面実施なし</p> <p>第15回（11月8日）</p> <p>第16回（11月15日）</p> <p>第17回（11月22日）</p> <p>第18回（11月29日）：【総務人事係・企画係】 コラボ企画実施</p>		

	<p>第19回（12月6日）  第20回（12月13日）：キックオフ会の振り返り実施  第21回（12月20日）：【企画係】月1企画実施  第22回（2025年1月10日）  第23回（4月11日）※運営が1年目に交代  第24回（4月17日）  第25回（4月25日）：協議事項（アドバイザー会でのピアサポバンク使用について）</p> <p>提出時現在。</p>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジェンダのペーパーレス化をしたことで資源の削減，準備の負担の軽減につながった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 1年目も前期中に紙媒体のアジェンダの使用を経験し，アジェンダのペーパーレス化の決議を後期に設けることで，全員が判断できるようにした。</li> </ul> </li> <li>・ 報告事項だけで終わる回が減った <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 主に企画係の月1企画の実施のおかげで，参加者が受け身の定例会から，当事者意識を持って参加するものにできた。</li> </ul> </li> <li>・ 定例会での取扱い事項を事前に三役に報告するというルールを定めた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 定例会での予定のブッキングを防いだ。</li> </ul> </li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジェンダ編集リンク，完成版の共有が遅れた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 三役内で声掛けし合い，期限内に必ず出すべきだった。</li> </ul> </li> <li>・ 無断欠席がみられた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 無断欠席により協議事項が行えないこともあり，欠席の際のルール確認をすべきだった。</li> </ul> </li> </ul>
評価	<p>今回の活動を100点満点で評価してみましょう→（70）点</p>
展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員が集まれる定例会の場を有意義なものにするため，各係やデスクと協力し，可能な限り毎回スキルアップの機会にする。100分授業の開始により，昼休みが短くなり，定例会に当てられる時間も短くなったため，より有意義な時間の使い方を考える必要がある。</li> <li>・ 協議事項に関して，事前に協議事項の内容を共有するなどして，各自が考える時間を設け，定例会を決議だけでなく話し合いの時間にする。</li> </ul>

## No.2

<b>活動名称</b>	カウンターシフト		
<b>日時</b>	2024年6月10日～2025年5月30日		
<b>場所</b>	ラーニング・commons		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	1~3人（シフト制）
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の学習や大学生活に関する相談に対応する。</li> <li>・ PCや文具セットなど学習に関する備品の貸し出しを行う。</li> <li>・ メンバー間のコミュニケーションを促進する。</li> </ul>		
<b>準備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に Google フォームで希望調査をし、学科が重複しないように作成した。</li> </ul>		
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身が割り当てられたシフトの時間にラーニング・commonsのカウンターに常駐し、相談者が来訪した際に、対応した。</li> <li>・ 対応の際には、相談対応記録用紙への記入を実施。</li> <li>・ パソコン等の備品の貸し出し業務。</li> </ul>		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンターシフト内での活動がメンバー間の交流のきっかけとなった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ メンバーの特性を理解し、活発なコミュニケーションが生まれるように組んだため。</li> </ul> </li> <li>・ 学生の相談対応が可能な時間を増やした <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 後期は全員がカウンターシフトでの対応が可能となったため、できるだけ多くの時間にメンバーを配置できた。</li> </ul> </li> <li>・ PSの予約など、デスクの方が必要な際には、迅速につなぐ役割ができた</li> </ul>		
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談対応を受ける体制が整ってなかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ シフトではないがカウンター内に入ってくるメンバーが多いこと、シフトに当たっているメンバーがカウンターから正当な理由もなく離席していることが、相談対応を受ける体制としてふさわしくなかった。三役メンバーが当該メンバーへの声掛けをあきらめてしまった。</li> </ul> </li> <li>・ 相談対応記録用紙の存在を知らないメンバーが多くみられた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 前期カウンターシフトで、2年目が1年目に活動内容を教える際に教えそびれていることが多かった。</li> </ul> </li> </ul>		
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→（40）点		

<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 相談しやすい場を整えるために、学内研修や定例会など全員が集まる場で、相談対応を受ける体制の再確認をする。</li><li>・ 前期のカウンターシフトで 2 年目が 1 年目に教えることを三役から提示し、統一する。</li><li>・ なんでも相談会後のラーニング・commonsでの相談対応を受け付ける際に、「相談対応可能なメンバーはネームを下げる」というルールを作った。これは日常的なルールとして定めてもいいと思う。</li></ul>
-----------	---

<b>活動名称</b>	リーダーズ会議		
<b>日時</b>	2024年6月6日、6月13日、7月11日		
<b>場所</b>	ラーニング・コモンズ チュートリアルエリア		
<b>対象者</b>	三役、各係リーダー	<b>参加者数</b>	6名
<b>目的</b>	組織全体に関わる決定のために意見交換を行い、より良い組織運営を目指す。 三役と係リーダーで情報共有を行う。		
<b>準備</b>	出来る限り6名で対面で行えるよう日程調整を行った。		
<b>実施内容</b>	<p>第1回リーダーズ会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 係の掛け持ちについて</li> <li>・ 2024年度係紹介について</li> <li>・ 定例会アジェンダペーパーレスについて</li> <li>・ 星学祭の旗振り担当者について</li> </ul> <p>第2回リーダーズ会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 係リーダーの掛け持ちについて</li> <li>・ 定例会アジェンダペーパーレスについて</li> <li>・ 星学祭の旗振り担当者について</li> <li>・ リーダーズチャンネルの開設について</li> </ul> <p>第3回リーダーズ会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターンの時期についての提案</li> <li>・ 卒論アンケートについて</li> <li>・ 大阪経済大学によるぴあのおわ2024告知について</li> </ul>		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各係の役割を再確認できた → 年度のはじめに実施できたため、1年の活動がスムーズにできた</li> <li>・ 定例会のルールを見直すきっかけと話し合いに繋がって、定例会の意義やアジェンダの形式の見つめ直しができる</li> </ul>		

<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議が前期に集中したため、後期にも実施すべきだった → 議題がないから実施しないではなく、各係と全体把握のためにも定期的に集まるべきだった</li> <li>・ 意見交換、情報共有を継続的にできなかった</li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (50) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーズは組織の軸となってくるため、進捗の確認や今後の活動方針等を定期的に集まって話し合う</li> </ul>

<b>活動名称</b>	スタートアップ研修		
<b>日時</b>	2024年6月22日、23日		
<b>場所</b>	kirari、A501		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	65名（7名欠席）
<b>目的</b>	(1)活動を充実させるための関係性づくりをする (2)北星ピア・サポーターとしての自覚と役割を認識する		
<b>準備</b>	5月8日 目的、集合・解散時間の決定 5月9日 タイムスケジュール原案完成 5月13日 組織の現状把握と2年目セッションの内容の打ち合わせ、タスクとスケジュール確認 5月19日 タイムスケジュール決定 5月22日 概要決定 5月29日 各セッション内容の打ち合わせ 6月12日 kirari 利用申請 6月17日 サポートデスク宿泊部屋割り共有 6月19日 しおり、部屋割り全体共有 6月21日 買い出し		
<b>実施内容</b>	<b>【1日目】</b> 第1セッション「ピアサポを知ろう」 ●ピア・サポートとは？ ・（1年目）基本的なピア・サポートに関する知識を身につけよう ・（2年目・アドバイザー）これまでの活動やピアサポとしての役割を理解しよう  第2セッション 夕食作り＆「ヘルプシーキング」 ●夕食準備 ・（1年目・アドバイザー）学年、学科をこえて協力し楽しく交流しよう ●ヘルプシーキングについて ・（2年目）ヘルプシーキングを理解し、今後の活動に活かそう  <b>【2日目】</b> 第3セッション「今のピアサポについて」 ●ピアサポ全体の課題と解決策を考えて、後期に実践しよう ・ 活動報告書を読んでみよう ・ グループで企画書を書いてみよう ・ 企画を共有しよう		

	<p>第4セッション「学科目標を決めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●会議における役割を体験し、学科活動をする際の指針を定める <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議における役割を理解しよう</li> <li>・ 会議時の役割を体験しよう（グループワーク）</li> <li>・ 学科目標を決めよう</li> </ul> </li> </ul>
<p>良かった点</p>	<p><b>アイスブレイク（フォトスカベンジャーハント）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世代、学科を超えたななめの交流ができた</li> </ul> <p><b>第1セッション（ピアサポート、北星ピアサポ）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織を知らない1年目、神戸親和サポーターの視点を考えて、ピアサポ独自の用語などを避けて極力大衆に伝わるよう言語化できたこと</li> </ul> <p><b>第2セッション（ヘルプシーキング）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 想定していたよりもスタイルに偏りが出てしまったが、臨機応変に動けた</li> <li>・ 1年一緒に過ごしてきた2年目だからこそできるセッション内容（コメントを送ろう、昨年度を振り返ろうなど）で良かった</li> <li>・ メンチメーターが好評だった</li> </ul> <p><b>第3セッション（企画）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアサポ内からでは気づけない問題点を拾うために1年目中心にピアサポ外の課題点を見つめる機会があったこと</li> </ul> <p><b>第4セッション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セッションの雰囲気が全体的に良かった</li> </ul>
<p>改善点</p>	<p><b>アイスブレイク（フォトスカベンジャーハント）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ決めの時くじ引きにしたことで世代の偏りが生じて微調整が必要になり、進行のテンポが悪くなった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ どんな手段であれメリットとデメリットがある、それらを考慮したうえで1番目的に沿っている選択肢を採ることができるとうい</li> </ul> </li> <li>・ 採点の時に全体に向けた声掛けが不足していて、特に研修の雰囲気のわからない1年目には不安を感じさせてしまった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 運営、セッション提供者は全体を見て必要に応じて指示を出す</li> </ul> </li> </ul> <p><b>第1セッション（ピアサポート、北星ピアサポ）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年目以上の参加態度が悪かった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 参加態度が悪かったのは慣れと自分が対象者ではないと感じたためではないかと仮定して、対象者を1年目のみにする方法と、2年目以上</li> </ul> </li> </ul>

	<p>が頭でわかっているにもかかわらず1年間実行に移せなかったことを自覚させるような内容を盛り込むべき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ D作成のスライドにストーリー性が感じられなかった、スライド間のつながりが感じられなかった</li> <li>・ Dのパートの目標設定とスライドとワークシートの質問に関連性がなかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 第三者の意見を取り入れ、独りよがりな仕事をしない</li> </ul> </li> </ul> <p><b>お料理&amp;ごはんタイム (1年目×アドバイザー)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具材の場所写真で伝えるとか、レシピを用意すべきだった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 前日の買い出し時点で場所の写真撮って、時間になったら送信</li> </ul> </li> </ul> <p><b>アイスブレイク2 (人間知恵の輪)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動報告書を読む意味が各グループに伝わらなかった、量が多かった</li> </ul> <p><b>お昼ご飯タイム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アドバイザーにどのように動いてほしいのか意思を伝えなかった、指示を出せなかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 世代ごとに役割を設定する</li> </ul> </li> </ul> <p><b>第4セッション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライドを自動切り替えの設定にしておく</li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を100点満点で評価してみましょう→ ( 30 ) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<p>デスクや企画係など三役外の方にセッションの協力依頼をするときはできるだけ早くに依頼する</p> <p>また、どのような目的、目標のものを依頼するのか三役内で話し合ったうえで依頼先と打ち合わせをする。</p>

<b>活動名称</b>	北星ピア・サポーターによる説明会準備 進捗報告会		
<b>日時</b>	2025年2月10日		
<b>場所</b>	A501		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	34名
<b>目的</b>	新入生説明会に向けてモチベーションの向上 グランドルールの見直し		
<b>準備</b>	・ 全学科スライドと台本を提出してもらうための OneDrive を事前に作成した		
<b>実施内容</b>	<p>【キックオフ会から進捗報告会までの活動の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標設定シートについて</li> <li>・ グランドルールについて</li> </ul> <p>【新入生説明会当日に向けて】</p> <p>(1年目) 他学科のメンバーとの意見交換 (2年目) 2年目の役割の明確化, 後輩とのかかわり方の意見交換 (学科) 世代別セッションの共有, 今後の活動方法の確認</p>		
<b>良かった点</b>	2年目の役割を明確にしたうえで、グループワークを通じてこれまでの関わり方の振り返りと今後の関わり方を具体性をもって話し合えた。		
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的に準備を進めるべきだった → 完全にレスキューをしてもらった。就活等, 自分自身の忙しさを見据えて早めに準備を始めるべきだった。デスクに頼むならもっと早くお願いするべきだった。</li> </ul>		
<b>評価</b>	今回の活動を 100点満点で評価してみましょう→ (10) 点		
<b>展望</b>	進捗報告会は新入生説明会の準備中にある初めての企画なので, 新入生説明会成功のためにも時間をかけて企画すべきだと思う。進捗報告会をやるにしろやらないにしろ, この期間に提供すべきことはないかを実際にメンバーの意見を取り入れて行うことも大切だと感じた。		

<b>活動名称</b>	北星ピア・サポーターによる説明会 中間リハーサル		
<b>日時</b>	2025年2月17日(月) 8:50~16:30 2025年2月18日(火) 8:50~16:30		
<b>場所</b>	B500 教室		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	1日目:38名 2日目:32名
<b>目的</b>	新入生説明会のデスクチェック		
<b>準備</b>	リアクションペーパー(ピアサポ web 書庫 05_説明会準備内に保管) タイムテーブルの作成と全体共有		
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学科の1年目に新入生説明会本番同様にスライドと台本を用いてリハーサルをしてもらった。</li> <li>リアクションペーパーに良かった点、改善点、感想を書いて学科に提出した。</li> <li>フィードバックでは制限を設けず広く多様な声を拾えるようにした。</li> </ul> <p>以下、当日のタイムテーブル</p> <p>【中間リハ】</p> <p>2/17(月) 8:50~16:30  8:50~9:00 三役から連絡  9:00~10:30 英文学科  10:40~12:10 心理・応用コミュニケーション学科  12:10~13:00 昼休憩  13:00~14:30 経済学科  14:40~16:10 経営情報学科  16:10~16:20 三役から連絡</p> <p>2/18(火) 8:50~14:40  8:50~9:00 三役から連絡  9:00~10:30 経済法学科  10:40~12:10 社会福祉学科  12:10~13:00 昼休憩  13:00~14:30 心理学科  14:30~14:40 三役から連絡</p>		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学科によっては、リアクションペーパーを用いて中間リハの反省を行っていた</li> <li>発表時間以外の、フィードバックの時間や休憩時間をうまく調整しながら進行することができた</li> <li>学科の進行具合によって、発表順番の変更を行うなど臨機応変に対応できた</li> </ul>		

<p style="text-align: center;"><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィードバックの際に、その学科特有のフィードバックが多かったため発表している学科以外の学科が有意義なフィードバックの時間にできなかった</li> <li>・ 良かった点と改善点で用紙の表裏が構成されていたので、リアクションペーパーの記入がしにくかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 表裏を行き来しながらの記入は大変そうに見えた</li> </ul> </li> <li>・ 中間リハについてのお知らせを三役からではなく、職員さんからのアナウンスになってしまった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 中間リハについてのお知らせ（使用する教室や、持ち物、欠席連絡、使用する道具の連絡など）は本来、三役からあった方がよかったのではないか。欠席連絡のフォームなどを作成できるとよかった。</li> </ul> </li> <li>・ 集中力を保てない人が多数いた</li> <li>・ 人によってリアクションペーパーの活用の仕方が異なっていた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 発表やスライドに関するアドバイスなどをびっしり書いてくれる人もいれば、発表を聞くのに集中して全く書かない人もいた</li> </ul> </li> <li>・ 他学科の発表中に、別の活動を行っている人がいた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ スライドや台本の修正などをギリギリまで行っていたのか。</li> </ul> </li> <li>・ フィードバックをする人が固定されている感じがあったのと、発表学科の先輩方がフィードバックを多くしてくださった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ これが、他学科の人が有意義なフィードバックにできなかった原因の一つだったのではないか。他学科特有の情報への指摘や、細かいスライドの指摘などが多く、他学科も取り入れられるようなフィードバックの情報が少なかった</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (30) 点</p>
<p style="text-align: center;"><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体でのフィードバックでは、全体に共有することを中心にフィードバックを行うと、全学科にとって有意義なフィードバックになる</li> <li>・ 最終リハにむけて、もっと有効活用がしやすいリアクションペーパー案を考えた</li> <li>・ 中間リハに関するお知らせを三役から行う</li> <li>・ リアクションペーパーと筆記用具以外は机の上に出さないように声かけをする</li> </ul>

<b>活動名称</b>	北星ピア・サポーターによる説明会 最終リハーサル		
<b>日時</b>	2025年3月17日(月) 8:50~16:20 2025年3月18日(火) 8:50~16:30		
<b>場所</b>	B500 教室		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	42名
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生説明会の内容の質を担保する</li> <li>・ 新入生説明会に向けてのモチベーションを高める</li> </ul>		
<b>準備</b>	<p>3月6日(木)・7日(金) 中間リハの振り返り、最終リハの目的確認、進め方について打ち合わせ</p> <p>3月7日(金) 最終リハーサル出欠 Google form 作成</p> <p>3月8日(土)~11日(火) 最終リハーサル出欠 Google form 回答期間</p> <p>3月12日(水) リアクションペーパー、フィードバック、リフレクションについての打ち合わせ</p> <p>3月13日(木)~16日(日) 各学科当日借りる備品 回答期間 ~3月16日(日) リアクションペーパー、リフレクションシート 作成 リアクションペーパー、リフレクションシート (ピアサポ web 書庫 05_説明会準備内に保管)</p>		
<b>実施内容</b>	<p>3月17日(月) 8:50~16:20</p> <p>8:50~9:00 三役から連絡</p> <p>9:00~10:30 社会福祉</p> <p>10:40~12:10 英文</p> <p>12:10~13:00 昼休憩</p> <p>13:00~14:30 心コミ</p> <p>14:40~16:10 経営情報</p> <p>16:10~16:20 三役から連絡</p> <p>3月18日(火) 8:50~16:30</p> <p>8:50~9:00 三役から連絡</p> <p>9:00~10:30 経済</p> <p>10:40~12:10 経済法</p> <p>12:10~13:00 昼休憩</p> <p>13:00~14:30 心理</p> <p>14:40~15:50 学科振り返り</p> <p>15:50~16:00 三役から連絡</p>		

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィードバックの質が上がるような意識作りができた</li> <li>・ リアクションペーパーを書く人もらう人双方にメリットのあることができた</li> <li>・ 1年目三役も一緒に準備できた</li> <li>・ リフレクションを通して自分の現状を理解し、個人反省している2年目が多くみられた</li> <li>・ 三役の意図しているフィードバックの形をメンバーがくみ取りやすいように説明できていた</li> <li>・ 学外研修で得たものをピアサポに合う形式で最終リハに落とし込めた</li> <li>・ 三役としての自覚をもって参加することができた</li> <li>・ 当日も周りに自分のフィードバックをしてもらえた</li> <li>・ 中間リハに比べて1年目からのフィードバックが増えた</li> <li>・ 双方向にコミュニケーションが取れるフィードバックの形が2日間を通して確立した</li> <li>・ 三役の枠を飛び越えて積極的に活動しているメンバーを巻き込みながらリフレクションの話ができていたので、三役の意図を理解していた人の学科は質の高いリフレクションができていた</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備と日時の共有が遅くなってしまい、2日目のリフレクションを早退した人を作ってしまった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 長期休業中は特に計画的に企画を立てて、メンバーがピアサポとそれ以外の活動を両立できるように早めの共有をする</li> </ul> </li> <li>・ 学科リハ感（先輩目線というよりかは新入生目線で見べき、メリハリのない雰囲気）を改善しきれず、本番を意識できるような環境を作り切れなかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 周りの声を聞いて休み時間を長めにとることも検討したい</li> <li>→ メンバーに新入生の意識をもって参加してもらえる促しをしたい</li> </ul> </li> <li>・ フィードバックで意識してほしいことや良いフィードバックの例の伝え方を改善して、コメントのハードルを上げてしまった</li> <li>・ 個人へのコメントを求めていたけど、全体に向けたコメントが多くみられた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 説明の中でそこを強調すべきだった</li> </ul> </li> <li>・ 個人に対する励ましや改善点を求めていたがメンバーにはそれが伝わらなかった</li> <li>・ 当日の1年目三役の役割があやふやだった</li> <li>・ 空気間の緩さが見られたので、三役がその空気間を作り上げるべきだった</li> <li>・ リハを聞いている人の姿勢を注意すべきだった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 本当はしっかり見てくれているのにリアクションペーパーをしっかりと書かない人が多かったので、注意すべきだった</li> </ul> </li> <li>・ 全体に見てもらえる最後のチャンスという意識が全体に足りていなかった</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リフレクションの説明が足りなかった → 各学科から一人ずつ呼んで事前リハをやりと理解している人が確保できるため、リフレクションの学科ごとの質の差がなくなりそう</li> <li>・ 本番同様の意識が足りていなかった → 自学科の2年目は新入生としてリハを聞いているのではなくて、本番のように立ち歩くべきだった</li> <li>・ 集中力を保っていない人が多くみられたが、仕方がない → 共通部分を全体で提供、その後学科別に分かれて学科特有の部分の提供といった過去の例もある</li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 70 ) 点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に長期休業中は、各自の予定を見越して早めに計画を立てるようにする</li> <li>・ 1年目と2年目の三役が一緒に取り組む姿勢を大切にする。</li> <li>・ 中間リハが終わったらすぐに振り返りを行い、最終リハの準備を取り掛かると、直前に焦らなくて済む</li> <li>・ 最終リハが終わったら、当日に振り返りを行う</li> <li>・ 準備段階から三役以外のメンバーに意見を聞く・リハ後に直接感想を聞く</li> </ul>

<b>活動名称</b>	なんでも相談会		
<b>日時</b>	2025年4月3日(木) 7日(月) 8日(火)		
<b>場所</b>	大学C館6階ラウンジ		
<b>対象者</b>	北星学園大学・北星学園大学短期大学部 在学生	<b>参加者数</b>	573名
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科ごとに不安や分からないことが多い新入生に向けて学習や大学生活について相談対応を行う。</li> <li>・ 留学や編入学、ゼミ選択など在学生に向けても相談対応を行う。</li> </ul>		
<b>準備</b>	2月27日 目的、アンケート、受付を中心に打ち合わせ 3月21日 なんでも相談会マニュアル修正 3月24日 最終リハ振り返り、なんでも相談会打ち合わせ 3月26日 相談会マニュアル修正版 4月2日 相談会マニュアル最終版  なんでも相談会マニュアル(ピアサポ web 書庫 05_説明会準備内に保管)		
<b>実施内容</b>	4月3日(水)・4日(木)・6日(土):各学科で相談対応を行った。		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三役としての視点を持てた</li> <li>・ みんなが活動している写真をたくさん撮れた</li> <li>・ 事前に準備した資料に関して、足りない場合は各学科で準備してほしいというアナウンスができたのがよかった</li> <li>・ いなくなる時間を事前に共有できた</li> </ul>		
<b>反省点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受付の周辺がうるさかった</li> <li>・ 相談者がたくさん来ている学科へのヘルプができていなかった</li> <li>・ 原状復帰のための写真を撮影し忘れてしまった</li> <li>・ 控室と受付が遠くて休んでいるメンバーが状況を把握するのが難しかった</li> <li>・ 手が空いているメンバーが多かった、学科のメンバーでないと対応ができないような内容は少なかった → シフト制にすることも検討すべき</li> <li>・ 一次抽選が終わった後の相談会</li> <li>・ Instagramを告知するのが本当にいいのか</li> <li>・ 相談会が終わった後の相談場所や時間をちゃんと決めていなかった</li> <li>・ 名刺をうまく使えなかった、渡す基準が明確ではなかった</li> <li>・ 相談の最初の自己紹介を忘れることが多かった</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なんでも相談会の出欠確認フォームではいなくなる時間まで把握できなかった</li> <li>・ 他学科の相談者の対応をするとき、大学共通以外は対応できなかった</li> <li>・ ピア・サポーターへの相談が必要ない内容で長居する人が見られた</li> <li>・ 教職履修者の相談対応が大変だった</li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましよう→ ( 65 ) 点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生説明会の後、その日の午後からなんでも相談会を行う</li> <li>・ 新入生説明会の最後に応援 BOOK を渡す (・ 応援 BOOK の時間割を背表紙にする)</li> <li>・ 自己紹介の時に Instagram の告知をする</li> <li>・ 手が空いている人を教室までの案内係に回す</li> <li>・ 出欠確認フォームに出欠だけでなくいなくなる時間まで入力できるようにする</li> <li>・ マニュアルに教科書購入の話を盛り込む</li> <li>・ 経情の教室の場所を変更する等、使用教室の配置を再考する</li> <li>・ 事前にカリキュラム勉強会を行う</li> <li>・ 事前に履修ガイド等なんでも相談会で使用する資料の見方について確認する時間を設ける</li> <li>・ 責任をもって相談対応ができるような準備を促す (学科ごとに必要に応じてカリキュラム勉強会等を事前に行う)</li> </ul>

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/5/22

<b>係・学科名</b>	総務人事係	
<b>メンバー</b>	1年目	内山 佳子・豊原 佑衣・鶴谷 花恋・沓脱 響暉・黒川 柚夏・外館 祐来
	2年目	戸沼 祐水・山崎 日和香
	アドバイザー	斉藤 弥沙紀
<b>目的・目標</b>	北星ピア・サポーターの活動を円滑に進める手助けをする。	
<b>活動概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会での係紹介</li> <li>・ Teams についての説明</li> <li>・ 書庫管理、ルール制定</li> <li>・ 総務人事係座談会</li> <li>・ 定例会議事録作成</li> <li>・ 2024 年度 北星ピア・サポーターインターンシップ</li> <li>・ 2025 年度 北星ピア・サポーター公募面接</li> </ul>	
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年よりも大幅に人数が増え、1人1人の負担を減らしつつ、1つ1つの活動に対して昨年よりも集中して取り組むことができる環境を作ることができた。</li> <li>・ 係に入った時期は遅かったが、分からないことを聞いたり、しっかりよく考え活動することが出来た。</li> <li>・ 総務人事係にしか体験できない活動に取り組んだことにより、メンバー各々のスキルアップに繋がった。</li> <li>・ 来年度の活動に引き継ぐことができるように工夫をしながら活動することができた。</li> <li>・ 自分のできる範囲でカバーしあいながら、スムーズに活動できた。</li> </ul>	
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーションがうまく取れず、役割分担を明確に把握できなくなるタイミングができてしまった。</li> <li>・ 全体のスケジュールや他のメンバーの進捗状況を把握できていない部分があった。</li> <li>・ 他のメンバーに対して、自分から積極的に声を掛けられると良かった。</li> <li>・ 面接日程を忘れるというミスがあった。</li> </ul>	
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 75 ) 点	

<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年目の人数が多いため、来年も1人1人にかかる負担を減らしながら、活動をブラッシュアップしていくことができると考えられるため、今年度よりもより良い活動ができるよう、コミュニケーションを大切にしながら活動していく。</li> <li>・ お互いをカバーし合える関係性を保ちながら、よりスキルアップにつながるよう活動していく。</li> </ul>
-----------	---

<b>年間スケジュール</b>	
<b>2024年6月</b>	7日 第1回定例会議事録作成 7日 新メンバーTeams導入 14日 第2回 定例会議事録作成 14日 総務人事係ミーティング 21日 第3回 定例会議事録作成 21日 Teams活用方法の説明 28日 第4回 定例会議事録作成 28日 係紹介実施
<b>7月</b>	5日 第5回 定例会議事録作成 12日 第6回 定例会議事録作成 12日 総務人事係ミーティング 18日 総務人事係座談会 19日 第7回 定例会議事録作成 25日 総務人事係座談会 26日 第8回 定例会議事録作成 26日 インターン生に関する決議
<b>8月</b>	
<b>9月</b>	20日 第9回 定例会議事録作成 27日 第10回 定例会議事録作成
<b>10月</b>	1日～18日 インターン生募集 11日 第11回定例会議事録作成 18日 第12回定例会議事録作成 25日 第13回定例会議事録作成

	28日・29日・31日 インターン生顔合わせ&初回説明会	
<b>11月</b>	1日 第14回定例会議事録作成 8日 第15回定例会議事録作成 15日 第16回定例会議事録作成 22日 第17回定例会議事録作成 29日 第18回定例会議事録作成	
<b>12月</b>	6日 第19回定例会議事録作成 12日 総務人事係ミーティング 13日 第20回定例会議事録作成 20日 第21回定例会議事録作成	
<b>2025年1月</b>	10日 第22回定例会議事録作成 10日 インターン生任期終了	
<b>2月</b>	12日 総務人事係ミーティング	
<b>3月</b>	25日 総務人事係ミーティング	
<b>4月</b>	1日～13日 新メンバー募集期間 9日 北星ピア・サポーター活動説明会 11日 第23回定例会議事録作成 11日 北星ピア・サポーター活動説明会 16日～22日 公募面接期間 18日 第24回定例会議事録作成 25日 第25回定例会議事録作成 25日 結果通知メール送信	
<b>5月</b>	2日 第26回定例会議事録作成 9日 第27回定例会議事録作成 16日 第28回定例会議事録作成 23日 第29回定例会議事録作成 30日 第30回定例会議事録作成	

## No.1

<b>活動名称</b>	定例会での係紹介		
<b>日時</b>	2024年6月28日		
<b>場所</b>	A703教室		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	出席簿参照
<b>目的</b>	北星ピア・サポーター全体に対して係活動の概要を説明し、興味を持ってもらう		
<b>準備</b>	6月7日 三役より口頭にて係紹介の依頼を受ける・係所属メンバーのチャットを作成し、今年度の係紹介の方法を決定 6月11日 広報係Eより係紹介スライドのテンプレート共有 6月11日～25日 係紹介スライド作成 6月25日～28日 広報係による係紹介スライド最終調整		
<b>実施内容</b>	係紹介を実施 →作成したスライドをもとに係活動の概要を説明		
<b>良かった点</b>	他の係と協力をすることにより、少ない系のメンバーながら、最小限の負担で係紹介を実施することができた。 どの係も新メンバーが入るきっかけにすることができた。 テンプレートを作成したことにより、後程見返した時に比べやすいスライド（ピアサポ Web>書庫>総務人事係>2024）を作成することができた。 係所属メンバー全員で取り組むことができる形になった。		
<b>改善点</b>	三役からの連絡が口頭のみとなってしまった。 いつもラーニング・コモンズにいるメンバーと三役の口頭でのやりとりが多くなってしまった。		
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→（ 80 ）点		
<b>展望</b>	人数が少ない中でうまくメンバー内で役割を分担し、スライド作成、説明の実施を行うことができた。来年度も、大幅なメンバーの増加がなさそうのため、今年度のようにテンプレートを作成するなどうまくメンバー内で役割分担をし、できるだけ少ない負担で実施することができる方法を検討する。		

## No.2

<b>活動名称</b>	Teams についての説明会		
<b>日時</b>	2024 年 6 月 7 日		
<b>場所</b>	A703		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター1 年目	<b>参加者数</b>	出席簿参照
<b>目的</b>	Teams の使い方とルールについて、説明し理解してもらう。		
<b>準備</b>	5 月 10 日 Teams のルール策定とスライドの作成 6 月 3 日 Teams 説明に関するスライド作成		
<b>実施内容</b>	スライド（ピアサポ Web>書庫>総務人事係>2024）を用いて、Teams の使い方とルールについて口頭で説明する。		
<b>良かった点</b>	定例会の中で行うことで、共通の認識を持つことができた。		
<b>改善点</b>	特になし。		
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→（ 80 ）点		
<b>展望</b>	定例会の中で行うことで、2 年目やアドバイザーが分からない部分を教えることができる環境だった。今後も、説明会を行う際は定例会の中で行いたい。		

## No.3

<b>活動名称</b>	書庫管理・ルール制定		
<b>日時</b>	2024年6月14日		
<b>場所</b>	なし		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	なし
<b>目的</b>	今後も見やすい書庫となるよう、全係・学科の書庫でのフォルダ整理の方法を統一することにより、引継ぎをしやすい状況を作る。		
<b>準備</b>	ミーティング内容の確認		
<b>実施内容</b>	2023年度の資料について書庫に全係・学科統一したフォルダ分けの実施 フォルダ分けの際、フォルダ分けルールの制定		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他係・学科も参考にしやすいように全係・学科のフォルダ分けの方法を統一したことにより、資料を探しやすい書庫にすることができた。</li> <li>・ 2024年度の資料を入れる前にフォルダ分けを行ったことにより、スムーズに新ルールでの運用を開始することができた。</li> </ul>		
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書庫に資料を入れる前（前年度の活動報告書を作成する前）にルールを制定しなかったことにより、すべて総務人事係で一度フォルダ分けをする必要が出てしまった。</li> <li>・ 各学科にフォルダ分けをしたことの報告及び同じような分け方で書庫に入れてほしいというあいまいな伝え方のみで、はっきりとルールを説明する機会を作ることができなかった。</li> </ul>		
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→（ 70 ）点		
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度以降は今年度制定したルールに基づき、フォルダ分けを実施していく。</li> <li>・ 何年か経っても参照できるように PDF と原本の両方を必ず入れるよう心掛ける。どちらか一方が入っていない係・学科については総務人事係から連絡をするなど、総務人事係は今後、見たいと思った資料を参照できる状況を作れるよう働きかけをしていく。</li> </ul>		

No.4

<b>活動名称</b>	総務人事係座談会		
<b>日時</b>	2024年7月18日 ～ 2024年7月25日		
<b>場所</b>	ラーニング・コモンズ (PS/チュート1)		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	4
<b>目的</b>	総務人事係に興味のある北星ピア・サポーターに係紹介だけでは伝えることのできなかった総務人事係の活動内容などをより詳しく知ってもらう。		
<b>準備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教室の予約</li> <li>・ 2024年度第7回定例会にて、座談会の告知を行う。</li> </ul>		
<b>実施内容</b>	当日参加してくれた北星ピア・サポーターの質問に答える形で総務人事係の活動内容の概要を係紹介の時よりも詳しく説明をした。		
<b>良かった点</b>	大きな準備の負担をかけることなく総務人事係に興味のある北星ピア・サポーターに説明を行うことができた。それにより、新メンバー加入につなげることができた。		
<b>改善点</b>	参加者がいるかどうかを事前に把握していなかったため、参加者がいない中1コマ分待つ時間を作ってしまった。		
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→ ( 80 ) 点		
<b>展望</b>	事前に参加者がいるかどうか確認する、日程調整を行ってから実施するなど、参加者が確実にいる時間に行うことができるような用意を行うことによって、主催者側が無駄な時間を過ごさないように、参加したい人が本当に参加できるように準備する。		

<b>活動名称</b>	定例会議事録作成		
<b>日時</b>	2024年6月7日 ～ 2025年5月30日		
<b>場所</b>	A703 教室・B500 教室		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	出席簿参照
<b>目的</b>	毎週行われる定例会の内容・協議事項の結果を確認・共有する。		
<b>準備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議事録担当者を決める</li> <li>・ 三役から共有されたアジェンダをダウンロードする</li> <li>・ 議事録担当者が当日の議事録を記入する</li> </ul>		
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会で共有された内容（発信者・発言内容・議決・締切りなど）を録音記録し、その後議事録として作成する</li> <li>・ 作成された議事録を総務人事係内で添削を行う</li> <li>・ 議事録作成後は次週定例会までに「総務人事係チャンネル/チャネル」にて担当職員及び他メンバーで共有・確認</li> <li>・ 上記動作作業が終わり次第、「全体連絡チャンネル/チャネル」にて北星ピア・サポーターへ共有</li> </ul>		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に議事録作成方法を説明してくれたため初めて書くときもスムーズに取り組むことができた。</li> <li>・ 作成した議事録を全体に共有する前に段階的な確認をできたため、正確な議事録に仕上げることができた。</li> </ul>		
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が作成した議事録を見返した際に、文脈が分かりにくいところや説明不足な箇所があった。</li> </ul>		
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→（ 85 ）点		
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議事録作成後の一連の流れ（議事録、完成版アジェンダの保管方法など）を改めて確認する</li> <li>・ その場になかった人にも内容が正確に伝わることを意識して書く必要がある</li> </ul>		

<b>活動名称</b>	2024 年度 北星ピア・サポーターインターンシップ		
<b>日時</b>	【募集期間】2024 年 10 月 1 日 ～ 2024 年 10 月 18 日 【任期】2024 年 11 月 15 日 ～ 2025 年 1 月 10 日		
<b>場所</b>	ラーニング・commons (PS/チュート 1)		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター インターン生 (北星学園大学 1 年生)	<b>参加者数</b>	9 人
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北星ピア・サポーターの活動内容を実際に体験してもらうことにより理解してもらう。</li> <li>・ 1 年生にインターン活動に参加してもらうことで、来年度に北星ピア・サポーターとしての活動を希望する学生を増やすことにつなげる。</li> </ul>		
<b>準備</b>	<p>7 月 26 日：インターン生に関する会議</p> <p>10 月 1 日：募集開始（ポータルサイト・メール・SNS での告知、ポスター掲示、Web サイト）</p> <p>10 月 18 日：募集終了</p> <p>10 月 25 日：インターン生に総務人事係よりメールにて連絡</p> <p>10 月 28 日：インターン生顔合わせ &amp; 初回説明会（Teams 導入）</p> <p>10 月 29 日：インターン生顔合わせ &amp; 初回説明会（Teams 導入）</p> <p>10 月 31 日：インターン生顔合わせ &amp; 初回説明会（Teams 導入）</p> <p>11 月 15 日～2025 年 1 月 10 日：定例会出席</p> <p>11 月 15 日～2025 年 1 月 10 日：カウンターシフト参加</p> <p>12 月 7 日・8 日：キックオフ会参加</p> <p>2025 年 1 月 10 日：任期終了</p> <p>3 月 17 日～3 月 18 日：最終リハーサル参加（希望者のみ）</p> <p>4 月 3 日～4 月 7 日：なんでも相談会参加（希望者のみ）</p> <p>【作成物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集要項</li> <li>・ Google フォーム（エントリーシート・カウンターシフト確認用）</li> <li>・ ポスター（掲示用・Instagram 用）</li> <li>・ 告知文（ポータルサイト・メール・SNS）</li> <li>・ インターン生顔合わせ日程調整メール文</li> <li>・ インターン生顔合わせの際のスライド</li> <li>・ 定例会インターン生との交流企画の際のスライド</li> <li>・ Web サイト</li> </ul>		

	<p>～他係に協力依頼～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会インターン生との交流企画（企画）</li> <li>・ キックオフ会インターン生向け企画（三役・企画）</li> <li>・ インターン生用ネーム作成（広報係）</li> </ul>
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターン生顔合わせ＆初回説明会実施（10月28日・29日・31日）</li> <li>・ 定例会への参加（11月・12月・1月）</li> <li>・ カウンターシフトへの参加（11月・12月・1月）</li> <li>・ キックオフ会（宿泊研修）への参加</li> <li>・ 希望者のみ最終リハーサル、なんでも相談会にも参加</li> </ul>
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンターシフトや定例会参加など、インターン活動を通してピアサポの活動を体験し、ピアサポについて知ってもらう良い機会になったこと。</li> <li>・ インターン生との交流企画で、インターン生と現役メンバーの交流だけでなく、現役メンバー同士の交流をすることもできたこと。</li> <li>・ 研修や最終リハーサル、なんでも相談会など、普段ピアサポが行っている活動以外にも参加するインターン生がおり、現役メンバーとの深い交流やかかわりを持てたこと。</li> <li>・ インターン活動をした1年生から公募面接への応募があったこと。</li> </ul>
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターン生同士での交流やインターン生と現役メンバーの交流を促す活動や企画をもう少し実施できたらよかった。</li> <li>・ 総務人事係として学科関係なくインターン生に声をかければよかった。</li> </ul>
<b>評価</b>	<p>今回の活動を100点満点で評価してみましょう→（ 85 ）点</p>
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターン生同士や現役メンバーが交流する機会をもっと積極的に設ける。</li> <li>・ 各学科のメンバーにも協力してもらい、インターン生が楽しく活動できるような環境づくりやあたたかい雰囲気づくりができるようにしていく。</li> </ul>

No.7

<b>活動名称</b>	2025 年度 北星ピア・サポーター公募面接		
<b>日時</b>	2025 年 4 月 16 日～2025 年 4 月 22 日		
<b>場所</b>	ラーニング・commons PS エリア・A300		
<b>対象者</b>	公募面接応募者	<b>参加者数</b>	15 名
<b>目的</b>	ピアサポの活動に意欲的な、北星学園大学 2 年次を募集する。		
<b>準備</b>	<p>2 月 12 日：総務人事係ミーティング</p> <p>2 月 26 日：公募ポスター共有</p> <p>2 月 25 日：インスタ投稿用の画像と文章の共有</p> <p>2 月 28 日：web 初稿完成</p> <p>3 月 12 日：公募ポスターの修正版の共有</p> <p>3 月 13 日：質問評価シートの共有</p> <p>3 月 14 日：公募ポスター修正版②の共有</p> <p>3 月 15 日：ピアサポ公募メール文</p> <p>3 月 25 日：ポータルサイトに載せてほしいもの共有</p> <p>4 月 5 日：ピアサポ説明会に向けての準備会議</p> <p>4 月 9 日：面接官日程調査共有 ピアサポ説明会</p> <p>4 月 11 日：ピアサポ説明会</p> <p>4 月 14 日：公募面接台本共有</p> <p>4 月 15 日：台本印刷依頼</p> <p>4 月 16～22 日：公募面接本番</p> <p>4 月 25 日：合格メール送信</p>		
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北星ピア・サポーターに入ろうか迷っている人の不安を解消するためにピアサポ説明会を開催した</li> <li>・ 実際に面接という場を設定し、これから一緒にピアサポ活動をしたいと考えている北星学園大学 2 年次の学生に志望動機や一緒に活動していくうえでの疑問を解消する場とした。</li> </ul>		

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面接官が台本にとらわれず自分の言葉で聞きたいことを聞くことができた。</li> <li>・ ES の情報を汲み取ってより詳細な情報を引き出すことができた。</li> <li>・ 堅苦しい面接ではなく、和やかな雰囲気面接をすることができた。</li> <li>・ 面接応募者に対して、丁寧な対応ができた。</li> <li>・ 新メンバーが増えた時、現メンバーが柔軟に対応できたので仕事の引継ぎをスムーズに行うことができた。</li> <li>・ 総務の中で人数が多い中で情報共有して連携が取れていた。</li> <li>・ メンバー同士に時間を合わせて集まろうという意識が強く、短時間であっても集まって活動できていた。</li> <li>・ ピアサポ説明会の準備や面接官などを責任をもってやり遂げた。</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公募の告知を前々からもっと行うべきだった。</li> <li>・ ピアサポ説明会のイメージが曖昧だったため直前まで流れがつかめなかった。</li> <li>・ 第二期募集を計画していたものの、考えが甘く、教職員との連携が足りていなかったため、取りやめになった。</li> <li>・ 面接時間や面接場所が間違っていたというトラブルがあった。</li> <li>・ 合格通知のメールがギリギリになってしまった。</li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (90) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動を起こす前に報連相を行う。</li> <li>・ 公募の告知時期をもう一度考える。</li> <li>・ 面接場所の確認と共有を入念に行う。</li> <li>・ メール確認を入念に行う。</li> </ul>

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/05/22

学科・係	広報係	
メンバー	1年目	坂本光平 太田喜一 早坂沙里奈 佐藤涼美
	2年目	出口加奈子 飯村咲幸 小田島蒼
	アドバイザー	阿部かりん 山田楓
目的・目標	北星ピア・サポーターの活動を学内外にアピールし、北星の学生へより良いサポートが提供できるようにする。(去年)	
活動概要	<p>係のミッションとして「北星ピア・サポーターの活動を学内外にアピールし、北星の学生へより良いサポートが提供できるようにする」ことを掲げ、ピアサポ活動を発信してきた。</p> <p>メインの活動としては、Instagram を用いたピアサポ活動の発信を通年行ってきた。</p> <p>また、ピアサポ写真集（北星ピア・サポーターの活動の様子を収めた写真のOneDrive 上の管理場所）の管理・運営も行った。その他にも、ネームや名刺、ポスター等のピアサポ活動に必要なものの作成を担ってきた。</p>	
良かった点	<p>◆全体について</p> <p>今まではほぼ活用していなかったX（旧 Twitter）を廃止し、メンバーの負担を軽減した。またオリエンテーション期間中には広報係全員で臨み、対応も協力して行うことができた。(G)</p> <p>前年度まではリーダーを中心に行っていた活動を分担したことにより、リーダーの負担を軽減することができた。また、各々の多忙な時期を把握し、臨機応変に活動に取り組むことができた。(E)</p> <p>◆前年度から引き続き行っているもの</p> <p>○ミーティング</p> <p>ミーティングが必要となったときに実施するようになったため、効率的で有意義な話し合いをすることができた。また、日程調整を早めに行ったため参加者を増やすことができた。議事録は事前に OneDrive にて共有し、会議の内容を事前に周知することができた。</p> <p>○Instagram</p> <p>フォロワー541名（前年度5月8日時点での455名より87名フォロワーの増加）</p> <p>イベントの報告など北星ピア・サポーターの活動だけでなく、学生に向け</p>	

	<p>た投稿をすることができた。また、ストーリーでお知らせや現状を発信することにより、より身近な存在であることを示すことができた。DMでの相談対応では、広報係 OneDrive 内にあるファイル、広報係→02_活動資料・マニュアル→DM 対応に記載してあるマニュアルに沿って迅速に対応でき、わからないことがあれば Teams で適宜相談し合うことができた。</p> <p>○名刺 相談会などで名刺をあらかじめ用意しておき、ピアサポの紹介や周知に役立った。</p>
<p style="text-align: center;"><b>改善点</b></p>	<p>◆全体について</p> <p>○ピアサポ写真集 雑談チャンネルで次の更新メンバーのメンションがなかったりすることもあり、更新順が不明確であった。なので、新メンバーが加入した場合の更新順を事前に決定しておくとういと感じた。 ピアサポ写真利用についてのアンケートに回答していないメンバーは何度も確認を取る必要があったり、投稿する際に配慮する手間がかかっていたりしたため、全員に回答してもらう必要性を感じた。</p> <p>○ミーティング 新メンバーが異なる時期に加入したことでピアサポ写真集の更新順が曖昧になってしまったり、マニュアルをわかっているメンバーとわかっていないメンバーが存在したりしたため、適宜会議を開いて全員で情報共有しておくべきであった。</p> <p>◆各活動について</p> <p>○SNS の運営「1 年間投稿作成を行って生じた課題」 ・ Instagram 活動の報告系の投稿が多くなってしまった。そのため、投稿の案だしに時間をより割く必要があったと考える。またミーティングで投稿の案出しと割り振りを行ったが、それを達成できていない期間が長くあったため、今一度呼びかける必要があった。</p>
<p style="text-align: center;"><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 70 ) 点</p>
<p style="text-align: center;"><b>展望</b></p>	<p>◆全体まとめ 少人数体制であるため、各自の状況を互いに把握し活動量を考慮する必要があったり、人を介することで時間がかかってしまったりすることが多く、名刺やネームなどの業務も 1 人で抱えることが多かった。事前に役割を分担した後に再度明確化しておくことが必要。ミーティングを開催する回数が少なかったことが情報が行き届かない要因になってしまったかと思う。対面だけでなく ZOOM などのオンライン会議もこれから多く活用し、全員で活動をしていくこ</p>

	<p>とが重要。(G)</p> <p>ピアサポの Instagram は、ピアサポの活動報告を主な目的としているのではなく、学生に役立つ情報の提供が主な目的であることを再確認し、共有する必要がある。(E)</p>
--	--

<b>年間スケジュール</b>	
<b>6月</b>	<p>◆広報係活動内容</p> <p>▼ミーティング なし</p> <p>▼X ・ アカウント運営停止投稿 ・ ディスプレイ掲載画像の差し替え (Instagram・X→Instagram のみ)</p> <p>▼Instagram ・ 任命式の投稿 ・ スタートアップ研修の様子を発信</p> <p>▼ネーム作成 新体制用ネーム作成</p>
<b>7月</b>	<p>◆広報係活動内容</p> <p>▼ミーティング ・ 7月2日 1年目広報体験会実施 新メンバー顔合わせ</p> <p>▼Instagram なし</p>
<b>8月</b>	<p>◆広報係活動内容</p> <p>▼ミーティング なし</p> <p>▼Instagram ・ DM 返信</p>
<b>9月</b>	<p>◆広報係活動内容</p> <p>▼ミーティング なし</p> <p>▼Instagram ・ スタートアップの投稿 ・ 1年目向け研修の様子を発信 ・ 後期履修修正期間を発信</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談対応（カウンターシフト）の発信</li> <li>・ n☆star 緊急メンテナンスの発信</li> <li>・ 夏休み中の活動について投稿</li> <li>・ インターン生募集の投稿</li> <li>・ 経営情報学科ゼミ相談会の投稿</li> </ul>
10月	<p>◆広報係活動内容</p> <p>▼ミーティング なし</p> <p>▼Instagram</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営情報学科のゼミ相談会投稿削除</li> <li>・ 星学祭投稿作成</li> <li>・ インターン生募集について再度発信</li> <li>・ ピアの輪の様子を発信</li> </ul> <p>▼名刺</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぴあのお名刺作成</li> <li>・ 名刺裏面デザイン作成</li> <li>・ インターンのネーム作成</li> </ul>
11月	<p>◆広報係活動内容</p> <p>▼ミーティング 11月21日マニュアルの確認、情報共有、役割分担</p> <p>▼Instagram</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済法学科ゼミ相談会について投稿・様子の発信</li> <li>・ 心理学科なんでも相談会のお知らせを投稿・発信</li> <li>・ 心理学科の質問募集について発信</li> <li>・ 履修取り消し期間について発信</li> </ul>
12月	<p>◆広報係活動内容</p> <p>▼ミーティング 12月18日 役割分担・仕事の割り振り</p> <p>▼Instagram</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キックオフ会の投稿</li> <li>・ 福祉計画のソーシャルワーク入門実習相談会の投稿</li> <li>・ 心理学科ゼミ説明会投稿・発信</li> </ul>
1月	<p>◆広報係活動内容</p> <p>▼ミーティング なし</p>

	<p>▼Instagram なし</p>
2月	<p>◆広報係活動内容 ▼ミーティング なし ▼Instagram ・ 学科別メールアドレスの投稿 ・ 新入生説明会中間リハーサルの様子を発信</p>
3月	<p>◆広報係活動内容 ▼ミーティング オンライン上で呼びかけ（オリエンテーション期間における DM 開放について）  ▼Instagram ・ ぴあのわ in 大阪経済大学参加報告について投稿 ・ 学生リーダーズ・スプリングスクール参加報告投稿 ・ なんでも相談会用の名刺作成</p>
4月	<p>◆広報係活動内容 ▼ミーティング 4月16日 大学ホームページのなんでも相談会についての投稿に関する会議  ▼Instagram ・ 新メンバー募集について投稿・発信 ・ 新入生説明会&amp;新入生歓迎会&amp;なんでも相談会について発信 ・ なんでも相談会の心理学科相談受付停止の発信 ・ 履修登録期間を発信 ・ 新リーダー決定の話し合い</p>
5月	<p>◆広報係活動内容 ▼ミーティング 5月1日 ネーム作成の引継ぎに関する会議 5月13日 ネーム作成に関する会議 5月20日 応援BOOK引き継ぎに関する会議</p>

## No.1

<b>活動名称</b>	ネーム作成		
<b>日時</b>	2024年 5月 24日 ~ 2024年 6月 12日		
<b>場所</b>	ラーニング・コモンズ		
<b>対象者</b>	なし	<b>参加者数</b>	なし
<b>目的</b>	相談や説明会などのイベントで、コミュニケーションを円滑に行うため またピアサポ内で学科や学年を超えた交流を円滑にするため		
<b>準備</b>	<p>○データ作成 → 5月中旬から広報係で作成（最終完成 31日）。</p> <p>○ネームホルダーの準備 → 人数分在庫があるか確認（ない場合デスクに前もって相談）。</p> <p>○印刷用の準備（1人1枚） → 1枚当たり10人対応可能。</p>		
<b>実施内容</b>	<p>○ネーム作成の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 広報係 OneDrive に入っている過去のデータを各自ダウンロードし、Webサイトのラベル屋さんに移行。</li> <li>② 過去データを基に、全学科全学年の名前と用いられている漢字・ふりがなを確認し入力。</li> <li>③ 加えて学科学年・デザインの修正。</li> <li>④ 広報係のチャンネルで全体（係）とデスクから確認・修正をもらう。</li> <li>⑤ 完成後、広報係の USB にデータを取り込む。</li> <li>⑥ 取り込んだ USB をサポートデスクに渡して、印刷作業を行う。</li> <li>⑦ 切り取ったネームをネームホルダーに入れる。</li> </ol>		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成のスムーズさ</li> </ul> <p>→ 過去のデータを基に今年版にリニューアルし、効率よく作成することができた。</p>		
<b>改善点</b>	1人で学部を多く担うとかなり負担が重くなるので、ミーティングを多く開催し、みんなで進めていくことが大切だと感じた。加えてネームや名刺作成の場合は未経験の人も巻き込まないと今後の仕事の割り振りが大変になると考える。		
<b>評価</b>	今回の活動を 100点満点で評価してみましょう→（ 90 ）点		
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員で進めることの意識を全員で持つ。</li> <li>・ 作成方法がわからない人を減らす。</li> <li>・ 表記ミスを減らすために係全体で確認・添削を行う。</li> </ul>		

<b>活動名称</b>	名刺作成①・②		
<b>日時</b>	①2024年 9月 28日 ～ 2024年 10月 22日 ②2025年 3月 24日 ～ 2023年 4月 2日		
<b>場所</b>	ラーニング・commons		
<b>対象者</b>	なし	<b>参加者数</b>	なし
<b>目的</b>	他大学との繋がり向上、また、円滑な相談へと繋げるため		
<b>準備</b>	<p>○新規デザイン考案・インターン生の名刺作成 → 10月17日、現役メンバーとアドバイザーにより名刺裏面の新デザイン考案。係内にて承認後、新デザインに切り替え(下記の画像)。</p>  <p>○名刺用紙在庫確認 → 人数分在庫があるか確認(不足分は学習サポートデスクに依頼し、発注)。</p> <p>○データ作成 → 係メンバーによりデータ作成。</p>		
<b>実施内容</b>	<p>○名刺の印刷と切り取り</p> <p>① 10月中旬、リーダーが名刺の印刷を完了した。加えてインターン生の名刺もデータを作成し印刷。</p> <p>② 3月下旬、リーダーが名刺の印刷を完了した。新入生説明会前日に用紙から切り取り、全員に配布。</p>		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ XのQRコードを削除し、Instagram用のみとした。加えてピアサポパーカーを着ているぴあのわぐまをデザインに使用し、親しみやすい名刺に。 → XのQRを省き、効率的なデザインにした。</li> <li>・ 大きなトラブルなく、印刷・配布できた。 → 話し合いや相談がしやすい環境であったため。</li> </ul>		
<b>改善点</b>	仕事で固定された人に制限されてしまう場面が多かったため、作成前に予め役割分担をすることにより改善を目指す。		
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→(90)点		
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザインを作成する際には分担し入力することで効率的にすることを意識する。</li> <li>・ 表記ミスを減らすために係全体で確認・添削を行う。</li> </ul>		

<b>活動名称</b>	Instagram 運用		
<b>日時</b>	2024年 6月 1日 ~ 2025年 5月 31日		
<b>場所</b>	Instagram 上		
<b>対象者</b>	学内外の学生	<b>参加者数</b>	なし
<b>目的</b>	北星ピア・サポーターの活動を学内外へ発信することによる組織の認知度の向上と、日常的な活動やライフハックを届けることで親近感の構築を図る		
<b>準備</b>	<p><b>投稿のフロー</b></p> <p>投稿するアイデアの発案</p> <p>↓</p> <p>投稿文章の作成+使用する画像の用意・加工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿内容に関連する画像やポスターなどを用意する</li> <li>・ 画像に写っている人への掲載許可の確認をとる。北星ピア・サポーターの所属メンバーに関しては、事前に行った写真使用のアンケートに基づいて、写真を使用した。(アンケートに回答していない人物に関しては、Teams、LINE、口頭等で許可を取って使用)</li> </ul> <p>↓</p> <p>投稿内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成した投稿を Teams に載せ、係メンバー・学習サポートデスクの職員と教員から投稿内容の不備や間違いがないか確認を依頼</li> <li>・ 修正点やアドバイスがある場合は、修正後再度確認を貰う。投稿の許可を得るまで、修正と確認を繰り返し行う。</li> <li>・ 投稿のフロー及びマニュアルをもとに作成し、担当者が Instagram 上での投稿を行う。</li> </ul> <p>今年度作成した投稿数 16 (2025/05/07 時点)</p>		
<b>実施内容</b>	<p>○投稿内容について</p> <p>●今年度投稿した内容</p> <p><b>活動報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 任命式(6/28)</li> <li>・ スタートアップ研修(9/20)</li> <li>・ 1年目研修(9/27)</li> <li>・ 星学祭(11/1)</li> <li>・ キックオフ会(12/24)</li> <li>・ ぴあのわ 2024 in 大坂(3/31)</li> <li>・ UNGL Basic Program 学生リーダーズ・スプリングスクール(3/31)</li> <li>・ 学科別メールアドレス(3/31)</li> </ul>		

## 告知

- ・ インターン生募集 (9/30)
- ・ 経営情報学科からのゼミ相談会のお知らせ (10/16)
- ・ 経済法学科からのゼミ相談会のお知らせ (11/8)
- ・ 心理学科からのなんでも相談会のお知らせ (11/18)
- ・ 心理学科からのゼミ説明会のお知らせ(12/2)
- ・ 福祉計画学科・福祉臨床学科からの SW 入門実習相談会のお知らせ (12/14)
- ・ 北星ピア・サポーターによる説明会・なんでも相談会のお知らせ(3/29)
- ・ 北星ピア・サポーター新メンバー募集(4/1)

### ●ストーリー機能の活用

前年度に引き続きフォロワーへの情報提供として、リアルタイムの配信や質問を行えるストーリー機能を用いた。

メリットは 2 点あり、1 つ目はなんでも相談会の際に現在の空き状況を伝えられる点、2 つ目は当日行う説明会などの告知をリポストすることで、見逃した学生に伝えることができるという点である。

### ●ハイライト機能の活用

ストーリーの投稿は 24 時間で消えてしまうために、前年度からハイライトを作成して残すこととした。

メリットは、見逃した情報を再度確認できることである。

現在までのハイライト 5 個

- ・ ぴあのわ
- ・ 学外研修 (学外で行った他大学交流)
- ・ ピアサポとは (広報系の活動の様子)  
→ 今後は他の係紹介やより多くの活動風景を載せていく。
- ・ ピアサポの日常 (定例会などの日常的な活動を主に発信)
- ・ ○さんの 1 日 (通常投稿の「○さんの 1 日」を New Post としてストーリーで再投稿したもののまとめ)

### ●DM 対応

○学内：履修登録に関して、ピアサポ主催のイベントに関して寄せられた質問に対し回答。

件数：学生 21 名 (5/7 まで)

○学外：他大学と情報共有。

件数：3 大学 (5/7 まで)

<p style="text-align: center;"><b>良かった点</b></p>	<p>○投稿づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動報告は各イベントごとに行えていたので、大学外の組織へ自身の活動を伝えることができた。</li> <li>・ この Instagram のアカウントがあることで各学科が行うゼミ説明会などの告知ができるため、より多くの学生へ伝えられる。</li> <li>・ Canva を用いて投稿作成を行ったため、自然と見やすく伝わりやすい投稿ができた。</li> </ul> <p>○ODM 対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラーニング・コモンズが空いていない時間帯または学生が対面で行うことができない場合に対応することができた。</li> <li>・ 今年度から DM 対応可能曜日と時間帯を Instagram のプロフィールに記したため、係メンバーの負担軽減につながった。</li> <li>・ 学科問わず対応可能な相談内容に関しては係内で対応ができた。また、特定の学科からの解決が求められた場合は、適切な学科やピア・サポーターに共有して、正しい情報を返答できた。</li> <li>・ DM 対応マニュアルを事前に共有していたためスムーズに対応することができた。</li> <li>・ 対応する際は、誰がどの相談者を担当するのか逐一報告し合ったため対応が重複せずに行えた。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学生へのライフハック紹介など学生生活に関する投稿はあまりできなかった。定期的にミーティングを行い投稿の案を出し合う必要があった。</li> <li>・ 投稿の案を出し、投稿作成担当者決定後に進捗を聞き、投稿作成の手伝いや促しができなかった。作成担当者と同時に作成時期も決めることで、係内で促しやすい状況をつくれるよう改善したい。</li> <li>・ 活動報告系の Instagram 投稿を作成するのに 1 か月以上かけてしまい、適切な時期にアップできなかった。どの時期にどのような投稿を作成するのか予め決めておき、前もってテンプレートを作成する必要がある。</li> <li>・ 個人で投稿案を企画して作成する機会が少なかった。案出しをしてその案を共有できるよう会議の場を設ける。</li> <li>・ Canva を用いるにあたり操作方法に慣れないメンバーもいたため、新メンバー加入後に投稿作成体験を行うなどの、Canva を用いる一定のスキルを身に付ける時間を設ける必要があった。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 70 ) 点</p>

<b>展望</b>	<p>投稿づくりは、定期的にミーティングを行う際に、投稿の案出しと担当者と投稿期日目標を設定し、誰がいつどの投稿を出すのかを明確にすると良い。また、設定した内容に合わせ、投稿づくりの進捗確認や促しを行うことで、投稿数を増やすことができると思う。また、今後 Instagram の投稿数が増加すると、見たい投稿へのアクセスが困難になることが予想される。そのため、ハイライト機能を活用し、見たい投稿へ簡単にアクセスができるようになると良いと思う。</p> <p>DM 対応は、今後も広報係を中心に行っていくだろう。今年度は、ピアサポ全体で非対面の相談方法について考える時間を設けられたため、ピアサポ全体から非対面の相談対応の難しさやフローについて理解を得ることができた。なので、今後も DM 対応について、ピアサポ全体に把握をしてもらう時間を設けると良いと思う。</p>
-----------	---

<b>活動名称</b>	ピアサポ写真集		
<b>日時</b>	2024年 6月 1日 ~ 2025年 5月 31日		
<b>場所</b>	なし		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	なし
<b>目的</b>	北星ピア・サポーター内で活動の様子を写した写真を共有するため		
<b>準備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OneDrive 上にアップロードされているピアサポ写真集更新マニュアルを確認。</li> <li>・ 今年度のピアサポ写真集更新担当者の順番を決定。</li> <li>・ 北星ピア・サポーターに向けて写真の使用許可をもらう。</li> </ul>		
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的にピアサポカメラでイベントやミーティングの様子を撮影。 (広報係のみで撮影するのが難しい場合にはスマホアップロードを北星ピア・サポーター全体に呼びかけ、別のフォルダーに分けてピアサポ写真集へアップロード、今年度の場合星学祭とオリエンテーション期間)</li> <li>・ 更新担当がピアサポ写真集更新マニュアルを参考にしながら前回の更新日以降～最新の写真までをアップロードし、適切なフォルダーへ分ける。</li> <li>・ Teams 雑談チャンネルにてピアサポ写真集の更新と次週の担当者を投稿</li> <li>・ 定例会の係連絡でピアサポ写真集の更新を再度報告。</li> </ul>		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度から継続してファイル名に月日、活動名、を記載したことにより、振り返りしやすくなっている。</li> <li>・ 今年度から研修やオリエンテーション期間などの、1つのフォルダーに数百枚の写真がアップデートされるものは、フォルダーをさらに小分けして特定の写真を探しやすくした。</li> <li>・ 昨年度から継続して OneDrive へのアップロードを当番制にしたことにより、定期的な更新がされることで直近の活動の写真も閲覧、使用が可能となっている。</li> <li>・ 広報係以外の北星ピア・サポーターに撮影を依頼し、ピアサポ写真集のアップロードに貢献してもらった。</li> </ul>		

<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアサポカメラのデータ枚数が膨大な量になってしまったので、ピアサポ用の HDD にデータを移行したり、随時消したりするなど、決まりを見直したい。</li> <li>・ ピアサポ写真集のフォルダー分けの際にフォルダーの誤りがあったので、更新報告前に複数人で確認をしていきたい。</li> <li>・ ピアサポ写真更新マニュアルがわかりづらく、更新フローに改善も加えたので、マニュアルを最新版に更新する必要がある。</li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 90 ) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動で写真を使用したり、写真を見て過去の活動を振り返ったりできるようにこまめに撮影するよう全メンバーで意識した方がよい。</li> <li>・ 写真に限らず動画の撮影をすることで、より活動内容や思い出を鮮明に残せるようにすると良い。</li> <li>・ 広報係を中心に撮影を行っているため、広報係が活動をしている姿の写真が少なめになってしまう。その場にいる他のピア・サポーターに撮影をお願いすることで、広報係の活動写真も残していきたい</li> <li>・ 写真集更新は、担当者が忘れていそうなときは声掛けを行い、忙しくて更新できないときは、他のメンバーをお願いする。</li> </ul>

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/05/15

<b>学科・係</b>	企画係	
<b>メンバー</b>	1年目	田箒実々 坂東冬夢 荒井望結 小野愛菜
	2年目	中村恵和 東山歩叶 川除拓夢
	アドバイザー	相内詩渚 伊藤皓紀 小木曾ゆり
<b>目的・目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月に一度、定例会内でピアサポ内スキルの向上を目指す研修を提供する</li> <li>・ 学生に対する北星ピア・サポーター全体での企画や北星ピア・サポーターのメンバー同士のチームワークを高める企画を立案する</li> <li>・ 学生をサポートするために必要な知識とスキルアップをし、北星ピア・サポーターの資質向上を図る企画を立案する</li> </ul>	
<b>活動概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スタートアップ研修（アイスブレイク、セッション③）</li> <li>・ キックオフ会（アイスブレイク、セッション②）</li> <li>・ 月1定例会企画</li> </ul>	
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1定例会を開催できたこと</li> <li>・ 仕事が偏らずに活動することができたこと</li> <li>・ お互いの進捗報告をこまめにしていたこと</li> <li>・ お互いが困っていないか、大変ではないかを確認しあっていたこと</li> <li>・ 会議では発言しやすい雰囲気があったこと</li> <li>・ 期日を守って活動ができたこと</li> <li>・ お互いの適材適所を理解し、うまく準備をすることができたこと</li> <li>・ 一年を通して多くの活動ができたこと</li> <li>・ 三役と上手く連携</li> <li>・ 役割分担が上手</li> <li>・ 失敗した後のリカバリーが上手だった</li> <li>・ 1年目と2年目の組み合わせがとてもバランスよかった</li> <li>・ 自身のスキルアップもできた</li> </ul>	
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハーサルを必ず行うことが必要               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ イメージトレーニングが足りなかったために、企画の本番で円滑に進行ができなかった</li> </ul> </li> <li>・ スキルアップの企画をもっとやること               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 企画係がアイスブレイクだけの役割ではなく、組織全体のスキル向上の目的もあるから</li> </ul> </li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっと様々な活動をしたかった → セッションを企画するという経験を1年目にさせてあげるべきだった</li> <li>・ 企画発表会の締めが甘かった → リハーサルを行い、最終的にどう成長してほしいかを考えるべき</li> </ul>
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハーサルを必ず行うことが必要 → イメージトレーニングが足りないために、企画の本番で円滑に進行ができなかった</li> <li>・ スキルアップの企画をもっとやること → 企画係がアイスブレイクだけの役割ではなく、組織全体のスキル向上の目的もあるから</li> <li>・ もっと様々な活動をしたかった → セッションを企画するという経験を1年目にさせてあげるべきだった</li> <li>・ 企画発表会の締めが甘かった → リハーサルを行い、最終的にどう成長してほしいかを考えるべき</li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→(100)点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流班とスキルアップ班に分けるとより企画係の目的・目標を達成しやすくなるのではないか</li> <li>・ 今後どのような企画係にしたいか改めて考える必要がある</li> </ul>

<b>年間スケジュール</b>	
<b>6月</b>	6月3日 スタートアップ研修のアイスブレイクのスライド確認 6月5日 企画+三役会議 スタートアップ研修の進捗報告会 6月7日 係紹介について、スタートアップ研修準備 6月10日 スタートアップ研修のスライド確認 6月12日 スタートアップ研修の準備 6月14日 アイスブレイクの流れ、景品について 6月17日 スタートアップ研修の準備 6月19日 スタートアップ研修のリハーサル 6月22,23日 スタートアップ研修 6月27日 スタートアップ研修の反省会 6月28日 係紹介

<b>7月</b>	7月5日 7月定例会企画の決定、今後の日程について 7月9日 7月定例会企画の進め方、後期のスケジュール 7月12日 7月定例会企画の進め方 7月17日 7月定例会企画の内容確定、発表・投票の仕方を考える
<b>8月</b>	
<b>9月</b>	9月19日 (7月定例会企画からの続き) 9月定例会企画：企画書の発表の仕方を考える
<b>10月</b>	10月15日 10月定例会企画の決定
<b>11月</b>	11月6日 企画+三役会議 三役から企画係へのキックオフ会で企画提供のお願い 11月8日 11月定例会企画を考える キックオフ会のアイスブレイクについて 11月11日 企画+総務人事会議 11月定例会企画のコラボ提供のお願い、内容決定 11月21日 キックオフ会のアイスブレイク、セッションについて 11月25日 キックオフ会のセッション案を考える 11月26日 キックオフ会のアイスブレイク内容決定、役割分担 11月27日 キックオフ会のセッション案を考える 11月28日 キックオフ会のセッション案を考える
<b>12月</b>	12月6日 キックオフ会のリハーサル 12月12日 キックオフ会アイスブレイクの反省会
<b>1月</b>	1月10日 ホームカミングデーのアイスブレイクを考える 1月27日 ホームカミングデーのリハーサル
<b>2月</b>	2月10日 ホームカミングデー
<b>3月</b>	
<b>2025年4月</b>	4月17日 1年間の活動の振り返り 4月23日 5月中に何か企画をするか 4月24日 5月企画①（ピアサポ活動・大学生活振り返ろう！） 写真募集開始 4月25日 1年目企画会議

<b>5月</b>	5月7日 5月企画②（大学生活振り返ろうシート）開始 5月7日 5月企画についての進捗報告会議 5月9日 5月企画①（ピアサポ活動・大学生活振り返ろう！） 写真募集終了 5月21日 5月企画②（大学生活振り返ろうシート）終了
-----------	--



<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほぼ毎月定例会企画をできた</li> <li>・ 今年度から頼まれた企画（新入生説明会のスライドの作り方を知ろう！）についての企画を実施できた</li> <li>・ 毎月上手く役割分担ができ、全員が前に立って企画を進めることができた</li> <li>・ スキルアップの企画と交流会の企画どちらもできた</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハーサルが不十分なときがあったため、企画の進行の段取りが悪くなった</li> </ul> <p>→ 必ずリハーサルを行い、なるべく企画がスムーズに行くようにする</p>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→（ 90 ）点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なにがあろうとリハーサルは最低でも 1 回は行うこと</li> <li>・ ピアサポメンバーが何をしたいかを理解し、企画を立てること（様々な視点から考える）</li> </ul>

<b>活動名称</b>	スタートアップ研修（アイスブレイク）		
<b>日時</b>	2024年6月22日 ～ 2024年6月23日		
<b>場所</b>	学生会館 kirari		
<b>対象者</b>	スタートアップ研修に参加した北星ピアサポ	<b>参加者数</b>	約50人
<b>目的</b>	アイスブレイクを通して、他学科との交流を増やしてほしい		
<b>準備</b>	5月20日 スタートアップ研修のアイスブレイクの内容を考える 5月22日 スタートアップ研修のアイスブレイクの内容と第3セッションの内容を考える 5月27日 スタートアップ研修のアイスブレイクの内容決定、事前準備、第3セッションの内容を考える 5月29日 スタートアップ研修のアイスブレイクのスライド内容の確認、第3セッションの内容を考える 5月31日 やることの確認 6月3日 スタートアップ研修のアイスブレイクのスライド内容の確認 6月5日 企画と三役企画会議で進捗報告 6月7日 スライドの内容確認 6月10日 教員に進捗報告、スライド内容確認 6月12日 スライド内容確認、アイスブレイクのグループ確認 6月14日 1日目のアイスブレイクのやり方の確認、景品について 6月17日 スタートアップ研修の準備（スライド内容確認と活動報告書の確認） 6月19日 スタートアップ研修のリハーサルを実施 6月27日 スタートアップ研修についての反省会を実施		
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォトスカベンジャーハント（1日目）</li> <li>・ 人間知恵の輪（2日目）</li> </ul>		
<b>良かった点</b>	1日目アイスブレイク（フォトスカベンジャーハント） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自学科だけでなく他学科との交流を深められた</li> <li>・ 動きのあるゲームを企画できたため、飽きさせないような企画ができた</li> </ul> 2日目アイスブレイク（人間知恵の輪） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝に適した体を動かすゲームで、企画系の動きかけもよかった</li> <li>・ デモンストレーションを行うことで、ゲームのイメージがしやすかった</li> </ul>		

	<p>2つの企画の達成度</p> <p>→ 他学科との交流ができていた場面が多く見られたが、スタートアップ研修以外での交流は少なかった模様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>そのため、目的はスタートアップ研修では達成できたが、その後の交流までに繋げることはできなかった</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<p>1日目アイスブレイク（フォトスカベンジャーハント）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ組んでもすぐに解散するから仲良くなりきれない <ul style="list-style-type: none"> <li>→ この時間だけの交流だと物足りなさを感じる人もいたため、もっと交流の要素(作戦会議の時間等)のアレンジがあればよかった</li> </ul> </li> <li>採点の時間など待ち時間に暇を持て余すグループがあった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 準備の段階で、時間の見通しをしっかりと立てる必要があった</li> </ul> </li> <li>リハーサル、確認作業が足りず Google サイトにずれが生じたり、時間の使い方がうまくいかなかったりした <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 準備の時間もない中ではあったが、リハーサルや時間の見通し、やるべき確認作業があった</li> </ul> </li> <li>企画係が楽しみづらかったかもしれない <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 企画をした側も楽しめるような企画づくりができるとうい</li> </ul> </li> <li>お題の写真の量が多く、場所の範囲も広くしすぎた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 採点の時に場所の確認、点数の確認が大変だった</li> </ul> </li> </ul> <p>2日目アイスブレイク（人間知恵の輪）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1グループの人数が多すぎた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ もう少し人数を減らすことで、人間知恵の輪が成功したグループが増えた可能性がある</li> </ul> </li> <li>想定より、部屋の大きさが狭かった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 臨機応変に対応できるように、何個かグループを考えておけばよかった</li> </ul> </li> <li>男女の壁が大丈夫かを考えるべきだった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 配慮が足りなかった可能性もある</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 75 ) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの企画でまた、全体が集まれるような学年間で仲良くなれるような企画（交流だけの企画など）ができれば良い</li> <li>交流の幅は広くしたほうが良い（勉強、生活に関わることをなんでも）</li> <li>今回に限ったことではないが、本番は何が起こるかわからないためあらかじめ時間にゆとりをもって計画を立てる</li> </ul>

<b>活動名称</b>	スタートアップ研修（セッション③）		
<b>日時</b>	2024年6月22日～2024年6月23日		
<b>場所</b>	学生会館 kirari		
<b>対象者</b>	スタートアップ研修に参加した北星ピアサポ	<b>参加者数</b>	43人
<b>目的</b>	ピアサポ全体の課題と解決策を考えて、後期に実践しよう		
<b>準備</b>	<p>5月22日 スタートアップ研修の第3セッションの内容を考える</p> <p>5月27日 スタートアップ研修の第3セッションの内容を考える</p> <p>5月29日 スタートアップ研修の第3セッションの内容を考える</p> <p>5月31日 スタートアップ研修の第3セッションの時間配分決定、ワークシート作成、やることの確認</p> <p>6月3日 スタートアップ研修の第3セッションのデモ</p> <p>6月5日 企画+三役企画会議で進捗報告</p> <p>6月7日 スライドの内容確認、活動報告書をWordに貼り付け作業</p> <p>6月10日 教員に進捗報告、スライド内容確認</p> <p>6月12日 スライド内容確認、ワークシート確認</p> <p>6月17日 スタートアップ研修の準備（スライド内容確認と活動報告書の確認）</p> <p>6月19日 スタートアップ研修のリハーサルを実施</p> <p>6月27日 スタートアップ研修についての反省会を実施</p>		
<b>実施内容</b>	2日目 第3セッション「今のピアサポについて」		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固い内容だったけど、楽しくワークができた → グループ活動が多めで、他学科の交流もしながら活動できていた</li> <li>・ 時間配分もよかった → 予定通りに活動することができた</li> <li>・ 2年目がファシリテーターなどの役割分担がしっかりとできていた → グループ分けがうまくできていた</li> <li>・ 活動報告書を見る時間をとることでピアサポについて振り返る機会が提供できた</li> </ul>		

<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備品の数が足りなかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 確認作業をしっかりする（備品などの確認）</li> <li>→ 備品がしっかりあったとしても、前日に改めて確認する</li> </ul> </li> <li>・ 補足説明が多かった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 伝えなきゃいけないことを伝えきれていなかったときがあった</li> <li>→ 各々が活動中に、何度も作業を妨げてしまった</li> </ul> </li> <li>・ 2年目の意見が強くてた？ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ もう少し1年目も参加しやすいような企画を考える （例：これからの活動の目標を考えるなど）</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を100点満点で評価してみましょう→（ 85 ）点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しく入った1年目にはやりづらい内容だったかも <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 誰もが取り組める内容にする</li> <li>→ 同じセッション内容でも、1年目用・2年目用など対象者別にワークシートなどを準備するべき</li> </ul> </li> </ul>

<b>活動名称</b>	キックオフ研修（アイスブレイク）		
<b>日時</b>	2024年12月7日 ～ 2024年12月8日		
<b>場所</b>	学生会館 kirari		
<b>対象者</b>	キックオフ会に参加したインターン生含むピアサポ	<b>参加者数</b>	58人
<b>目的</b>	アイスブレイクを通して、ピアサポ同士の交流を深める		
<b>準備</b>	<p>① すごろくゲーム(担当者 H・A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライドの作成</li> <li>・ すごろくをパワーポで作成、グループ分印刷</li> <li>・ サイコロの備品確認</li> <li>・ 台本の作成</li> </ul> <p>② ピアサポ辞典クイズ(担当者 H・C)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月27日 インターン生のピアサポ辞典作成</li> <li>・ 12月5日 ホワイトボード・ペンの備品確認</li> <li>・ 12月6日 1問目と2問目のクイズをあらかじめ作成</li> <li>・ 12月7日 3問目を4問目はアドリブでできるかの確認</li> </ul>		
<b>実施内容</b>	<p>① すごろくゲーム</p> <p>すごろくに書いてある質問に個人で答えてもらう。答え終わったら、チーム内の人々が反応して質問を掘り下げる。これを10分間繰り返す。</p> <p>② ピアサポ辞典クイズ</p> <p>ピアサポ辞典に記載してあるものからクイズを4問作成。</p> <p>1問目→インターン生 2問目→アドバイザー</p> <p>3問目・4問目→ランダムで実施 ストップと言った場所を書いてある人をクイズにした。</p>		

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業途中で進捗状況を確認してくれたり、ここの段階の準備まで終わらせた方がいかもというアドバイスをくれたりした <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 順調に準備を進めることができた</li> </ul> </li> <li>・ リハーサルは前日で直前だったが、実施してよかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 改善点を見つけられた・本番前に修正できた</li> </ul> </li> <li>・ 一年目のみで担当するのではなく、アドバイザーがチーム内にいてくれたところ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 今までの経験の話を聴けてイメージがしやすくなった・作業を進めやすくなった</li> </ul> </li> <li>・ 2年目が仕事振っていいよって言ってくれていた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 心強く、頼りやすくなった</li> </ul> </li> <li>・ 何かトラブルがあっても2年目やアドバイザーがフォローしてくれた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 安心してアイスブレイクに取り組めた</li> </ul> </li> <li>・ 困ったら何でも聞いてほしいとリーダーが言ってくれていたところ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 作業を分担しながらも分からないことはすぐに確認できるサポート体制がよかった</li> </ul> </li> <li>・ 終わった後に声を掛けてくれた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 少し自信を持てた</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会の自己紹介で名前と係しか言わなかった点 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 親近感を持ってもらうためにもアドリブで一言紹介があった方が良かった</li> </ul> </li> <li>・ アイスブレイク実施前にグループで軽く自己紹介をすればよかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ インターン生も参加していたため名前がわからない可能性があった</li> </ul> </li> <li>・ スライドと実際の席が違ったためサイコロを最初に回す人の指示で混乱を招いた点 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 色んなパターンを想定すればよかった</li> </ul> </li> <li>・ たまたまインターン生が多い席を指定したため、インターン生じゃない席の方がよかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 誕生日が早い人とか席が関係ない指定の仕方の方がスムーズだった</li> </ul> </li> <li>・ すぐろくの問題ではい・いいえで答えられる質問が多かった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ グループ内で掘り下げるのが難しい場面があった</li> <li>→ 文で答えられるような質問の方が周りも掘り下げやすかった</li> <li>→ 「はい」「いいえ」で答えるよりも、出来事などを話せるような質問を考えるべき</li> </ul> </li> <li>・ ピアサポ辞典クイズでは学年の偏りが多かった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 固定問題は現役にしたり、辞典の順番を変えて1年目からランダムなどにしたらよかった</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会を客観的にみるためにビデオを撮ればよかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 声の調子や態度がどのような印象で映っているのか確認できたら、今後の盛り上げにも役立てられると思った</li> </ul> </li> <li>・ 一年目同士での情報共有が遅かった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 修正したスライド、スライドや台本に書かれていない補足してほしい部分などのすり合わせが直前になってしまった。チャットで早く連絡・共有していたら不安を緩和することができたと感じている</li> </ul> </li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 83 ) 点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会自身の自己紹介をもう少し盛り上げ、楽しみやすい雰囲気を作るべき <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 名前だけを言うだけでなく、趣味などの楽しい話を行い、親近感を持ってもらう</li> </ul> </li> <li>・ 連絡を小まめに取り合いながら時間に余裕を持つ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 進捗報告をこまめに行う</li> <li>→ お互いがどの部分を担当しているかをしっかりと把握する</li> </ul> </li> </ul>

# 学科

北星学園大学および北星学園大学短期大学部における各学科の活動について、以下に報告します。

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/05/22

<b>学科・係</b>	英文学科	
<b>メンバー</b>	1年目	佐藤涼美、藤井利帆、細川遥
	2年目	飯村咲幸、加藤千弥、佐藤涼美
	アドバイザー	五十嵐聡汰
<b>目的・目標</b>	英文学科の新生、在学生に向けて学習支援を中心にサポートをする。 Be quick and considerate	
<b>活動概要</b>	ゼミ冊子 新生説明会	
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ関連活動を今年も実施し、英文学科の学生に必要なピア・サポートができた。</li> <li>・ 後半は前半に比べ、コミュニケーションが円滑になった。</li> <li>・ 対面で会うことができないときは Teams を活用してコミュニケーションをとっていたので自分が今何をすべきか確認できた。</li> <li>・ 自分が忙しい時期は適宜報告をして自分のできる仕事範囲をメンバーに周知させることが出来たので活動をスムーズに行うことができた。</li> </ul>	
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Be quick and considerate という学科の目標があったが、動き始めるのが毎回遅くなってしまった。</li> <li>・ 動き始めるのが遅くなることでじっくり考える余裕もなくなってしまった。</li> <li>・ 期限が迫ってから行動することが多かったのもゆえのミスがあった。</li> <li>・ 課題などで企画に携わることができない時もあった。</li> </ul>	
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (70) 点	
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ選択支援の新しい方法としてゼミ相談会を企画したが、準備が遅れてしまったことを理由に断念した。</li> <li>・ 月 1 で定例会議を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ メンバー間のコミュニケーションを円滑に行い、活動に余裕を持つ。</li> </ul> </li> <li>・ ゼミ関連活動は選ぶ側の 1 年目が主体となるのではなく、2 年目が主体的に進める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 新生説明会の時期と被らないよう、早めに企画を始める。</li> </ul> </li> </ul>	

## 年間スケジュール

6月	7日 ピアサポ倉庫掃除
7月	18日 学科長顔合わせ
8月	
9月	
10月	4日 ゼミ企画会議 21日 学科長にメール送信
11月	15日 センター長に企画書提出
12月	9日 学科長によるゼミ説明会にてゼミ冊子告知 12日 ゼミ冊子公開
1月	
2月	5日 新入生説明会学科リハーサル 10日 進捗報告会 12日 新入生説明会学科リハーサル 17日 中間リハーサル
3月	5日 新入生説明会学科ミーティング 13日 新入生説明会学科ミーティング 17日 最終リハーサル
4月	1日 最終打ち合わせ&リハーサル、学科長説明会での告知 2日 新入生説明会 30日 活動報告書ミーティング 同日 活動報告書作成
5月	

## No.1

<b>活動名称</b>	ゼミ生の声冊子		
<b>日時</b>	公開 2024年 12月 12日		
<b>場所</b>	ポータルサイト n☆star あなた宛てのお知らせ欄にて公開		
<b>対象者</b>	英文学科2年生 短期大学部から英文学科へ編入希望者	<b>参加者数</b>	
<b>目的</b>	ゼミ選択に必要だと思われる情報を英文学科2年生及び短期大学部からの編入希望者（以下、対象者）に提供し、彼らの有意義なゼミ選択を実現する		
<b>準備</b>	10月4日 打合せ 10月18日 学科長宛てメールの作成 10月18日～21日 学科長宛てメールの確認・送信 10月21日 企画書の作成 10月23日 企画書の確認 10月25日 アンケート協力者質問項目 Google form の作成 11月8日 学科長宛て再連絡メールの作成・確認・送信 11月11日 学科長宛てお礼メールの作成・確認・送信 11月13日 企画書の添削 11月15日 冊子作成開始 企画書をセンター長に送信 11月18日 アンケート協力者に向けた Google Form の作成 センター長へ企画書再提出 学科長へ企画書提出 各ゼミ担当教員に協力依頼と企画書のメール送信 11月19日 協力者へのアンケート依頼メール作成 11月20日 数員向けのお礼メール作成 11月22日 数員向けお礼メール修正、送信 協力者向けの Google Form 完成、メール送信 11月26日 学生に向けて Google Form 回答依頼メールを送信開始 11月27日 協力者向けお礼メール作成 11月28日 卒論テーマを教えてくださいと教員へお礼メール作成、送信 12月4日 協力者の Google Form 回答締め切り 12月5日 ゼミ冊子ポータル掲載時の文章作成 12月6日 告知メール文作成		

	<p>12月7日 学科長へゼミ冊子の告知の依頼メール作成 ゼミ冊子完成の際に際に教員・協力者に送信するメール作成</p> <p>12月9日 「学科長によるゼミ説明会」にて告知</p> <p>12月12日 ゼミ冊子完成 ゼミ冊子作成協力者へお礼メール ポータルサイトへ掲載</p>
<p><b>実施内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ企画に関する会議を実施</li> <li>・ 学科長宛てにゼミ企画に関するメールを作成・送信</li> <li>・ 企画書の立案</li> <li>・ 企画書をセンター長に送信</li> <li>・ 学科長にメールで完成した企画書を共有</li> <li>・ 各ゼミ担当教員にメールで協力依頼と企画書の共有</li> <li>・ アンケート協力者への質問項目 Google form を作成</li> <li>・ アンケート協力者宛てに Google form を掲載したメール文を作成・送信</li> <li>・ 冊子の作成</li> <li>・ ポータルサイトに掲載する文章を作成</li> <li>・ ポータルサイトで英文学科2年次・短大2年次宛てにゼミ冊子の公開</li> <li>・ アンケート協力者宛てお礼メールの作成・送信</li> </ul>
<p><b>良かった点</b></p>	<p>(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期日に間に合わない可能性があるときにメンバー全員で協力して冊子を作成することができた。</li> <li>・ Teams チャットでタスク整理をして効率的に動くことができた。</li> </ul> <p>(C)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やるべきことを整理したうえで、集まれる人が直接集まって確認しながら作業を進められたこと。ピアサポ内だけではなく、先生方や学生の協力によってできる企画のため、それぞれが責任感を持ってタスクに取り組めたのが良かった。</li> </ul> <p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割分担を行い、それぞれがタスクを実行できた。</li> <li>・ 後半は当事者意識を持つことができた。</li> </ul> <p>(D)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者のニーズを考え、それを満たすような冊子作成ができた。</li> <li>・ 内容だけでなく、読みやすく、飽きのこないデザインを考え、工夫することができた。</li> </ul>

	<p>(E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>細かいと思った点も積極的に言って、より良い冊子を作ることができたと思う。</li> </ul> <p>(F)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例年より学生目線の質問、デザインのゼミ冊子ができた。</li> <li>メールでのやり取りの際、学科チェックは全員の目を通さずとも良いとしたことがスピード感のある作業につながった。</li> <li>進捗報告を英文全体のチャットで行うことで、手の空いているほかのメンバーがすぐに引き継ぐことができた。</li> <li>ゼミ冊子作成前に事前に1年目含む全員がピア・サポーター英文学科のoutlookアカウント、Googleアカウントなどにログインしておいたことで各自メールやフォームの確認作業ができた。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>改善点</b></p>	<p>(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート班ゼミ冊子班に分かれて活動しており、自分がアンケート班だったことでゼミ冊子の進捗状況に気を配ることができなかった。学科内で進捗状況を報告するべきだった。</li> <li>公開前に焦って作業することが多かったのでそれに伴うミスがあった。</li> </ul> <p>(C)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しが立たないまま手探りで作業を進めていた感じがあった。前もって計画を立てて、余裕を持った取り組みが必要だったと感じる。</li> </ul> <p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に動き始めるのが遅く、アドバイザーにタスク整理をしてもらわなければ動き出せなかった→早めに計画を立て、各自が当事者意識を持って取り組む。</li> <li>メンバーの忙しさを考慮せず、先を見通さずに企画を実行すると決めてしまった→やりたいことと実際にできることは違うため、メンバーの忙しさやその時の状況によって判断を下す。</li> <li>打ち合わせの回数が少なく、1回目の打ち合わせ後に停滞してしまった→早めに計画を立て、打ち合わせを適宜行う。</li> <li>ゼミ企画班とアンケート班とで分かれて活動をしていたため、同じ学科であるにもかかわらず、人により知っている情報に差があった。</li> <li>ゼミ企画班だけで完結させなければいけない感覚になってしまった。 → 班で分かれて作業をしてもいいが、その時に学科で行っていることに対して全員がアンテナを張る</li> <li>ポータル掲載後にいくつか誤りが見つかった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員での振り返りを行わないまま企画が終了してしまった→振り返りを確実にいき、一区切りをつける。</li> </ul> <p>(D)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの人に公開され、影響を与えることを忘れて、内容や誤字などの確認作業を怠ってしまった。</li> <li>・ 各ゼミで英語の四技能をどのくらい使用し学習できるか記載する欄で、不適切な表現方法をしてしまい、協力してくださるゼミ担当の先生への配慮が足りていなかった。</li> </ul> <p>(E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私個人としては、主体的に準備に携わることができていなかった。</li> </ul> <p>(F)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メールや冊子デザインのテンプレート作成などが予定より遅れて、事前に作成しておくことができていなかった。</li> <li>・ 1年目はゼミ選択の当事者であり、ピア・サポートができるのは2年目以上であることを認識していたのに1年目を主戦力にカウントして活動を進めてしまっていた。</li> <li>・ ゼミ相談会に関しては、企画の性質上ゼミ生とゼミ教員の協力が必要不可欠だったため、4年生の卒業研究時期や教員とのスケジュール調整なども見込んで夏休み明けには各ゼミへ協力依頼を出せるようにすべきだった。</li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (61) 点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミを選ぶ側の1年目が作成に携わっていたため、来年度は2年目がメインで動き、1年目が自身のゼミ選択に時間をかけられるようにする。</li> <li>・ 12月からは新入生説明会の準備が始まることを考慮し、ゼミ企画のスケジュールを前倒しする。(夏休み明けから行き、キックオフ前には完成させ、公開のみの状態まで持っていく)</li> <li>・ 企画書作成は夏休みなどを利用する。</li> <li>・ 2025年度は12月17日(水)14:00が卒業研究締め切りなのでそのことを念頭に置いて活動できるとよい。</li> </ul>

<b>活動名称</b>	北星ピア・サポーターによる説明会		
<b>日時</b>	準備 2025 年 本番 2025 年 4 月 2 日		
<b>場所</b>	A603		
<b>対象者</b>	2025 年度英文学科新入生	<b>参加者数</b>	148 名
<b>目的</b>	<p>大学生生活に必要な最低限の情報を提供し、全ての新入生が問題なく大学生活を送れるような説明会を作る。</p> <p>英文学科生として大学生活を有意義なものにするための+<math>\alpha</math>の情報を提供し、新入生の大学生生活の幅を広げる。</p> <p>新入生に寄り添った説明会を心掛け、新入生の不安をできるだけ解消する。</p>		
<b>準備</b>	<p>1 月 14 日 Teams ビデオ会議</p> <p>2 月 5 日 学科リハーサル</p> <p>2 月 12 日 学科リハーサル</p> <p>3 月 5 日 学科会議</p> <p>3 月 13 日 学科リハーサル</p> <p>4 月 1 日 学科長オリエンテーション内で宣伝・学科リハーサル</p>		
<b>実施内容</b>	<p>オリエンテーションで使用する教室の配置、黒板の飾りつけ</p> <p>新入生を教室へ誘導</p> <p>説明会実施</p>		
<b>良かった点</b>	<p>(A)</p> <p>各自、自分の担当箇所のパワポ・台本作りを期日までに作成できていたのでリハーサルをスムーズに進めることができた。よって、先輩方から全体を通したアドバイスをもらえてリハーサルを有効活用できた。</p> <p>疑問点は適宜チャットでシェアし、対面で集まれないときも Teams を有効活用できた。</p> <p>本番が近づくとつれて細かい部分の修正を重ねてより完成度の高い説明会にできた。事前準備期間に余裕をもって全体の流れを作り上げることができたため、細かい部分にまで気を遣えた。</p> <p>全員が“固い雰囲気ではなく同じ学生目線だからこそ出来ること”という共通認識の中、同じ目標に向かって進むことができた。</p> <p>リハーサルでもらったフィードバックの取捨選択を適切にすることができた。(個人情報開示など)</p> <p>よって、英文学科のこのメンバーだからこそできる説明会になったと思う。</p>		

新入生説明会の準備を進めていくにつれて自分が前に立って話すことを実感でき、「こう言えば分かりやすいのではないか」「飽きさせないようにするにはどうしよう」と、考えが浮かんできて全体的に楽しく活動できた。

(C)

自分の役割をはっきりさせた上で、ある程度の計画を立て期日までに余裕をもって終わらせられたこと。英文学科の Teams チャンネルに、毎週日曜日に「今週の進捗報告」の投稿し、各自が自分のできたこととできなかったこと、次に取り組むことなどを返信として報告することで、それぞれがどんな作業をしているのかをお互い可視化しながら作業をすることができたのはとてもよかった。

何度もリハーサルを重ね、それぞれが自分の現状に満足することなく「より良い発表」を目指して、先輩・同期の他のピア・サポーターや、職員さん等からフィードバックをもらい反映させていた。全員がこの姿勢で、熱量を揃えて新入生説明会に向けて準備を進められたのは、チームで作業を進めていくうえでとても大事だったと感じる。

当日も大きな失敗は無く、高い参加率と満足度を新入生へのアンケートから実感することができた。事前の準備期間はかなり長く、不安になることも多かったが、頻繁に連絡を取り合い、リモート・対面での打ち合わせやリハーサルを重ねたおかげで、本番もあまり緊張しすぎずに望むことができた。

(B)

はじめは個別に作業する感覚だったが、途中からチャットや対面での話し合いができ、全員で分担して作業できた。

スケジュールの共有を早めにでき、先を見越して予定をたてられた。作業していく中で、1年目同士のコミュニケーションが円滑になり、良い関係性を築くことができた。

リハ（特に学科リハ）では、先輩からのフィードバックを熱心に聞き、自分のものにしようという姿勢があった。→中間・最終リハでも同様でできたため、他学科にも良い姿勢を見せることができたと感じている。

説明会の内容は、それぞれが自身の経験をもとにして作ることができたため、ピア・サポートだったと感じている。

1年目3人で、それぞれの先輩像が、新入生に伝わったと思った。

(D)

・中間リハや最終リハ以外に学科リハを行い、学科内での準備をしっかり

	<p>り進めていたこと</p> <p>(E) 英文学科らしさを取り入れた工夫もできていて良かったと思った。 私個人としては、学科リハや会議に何時までいることができるか相談するなどの工夫もできたと思う。</p> <p>(F) リハーサルでのフィードバックの時もコンセプトに立ち返って3人で納得できる変更の仕方を探っていたことと、2年目がその考え方をサポートできたこと</p>
<p>改善点</p>	<p>(A) 初めて行った通し練習の時に自分の担当箇所のパワポや台本の完成度が30%程度であった。そのため、具体的なアドバイスをもらうことができる状態ではなく貴重なリハーサルの時間を無駄にしてしまった。その時は新入生説明会に対して実感がわいていなく、どんなパワポを作るか具体的なイメージがわいていなかったのになかなか作業が進まなかった。先輩のスライドや過去の新入生説明会の動画を見てイメージを早くつかんでおく取り組みやすくなると思う。 初めにパワポを作成するときにスライドのテンプレを決めたが、どのスライドデザインを使うか話し合っていなかったので最終的に少し手間を加えなければならなかった。最初にどのデザインを使うか統一しておくべきだった。</p> <p>(C) 対面での打ち合わせをもっと増やしたかったが、各自のスケジュールなどを踏まえるとなかなか叶わなかった。キックオフ終了後、冬休みの早い段階で1度対面で集まり、スライドのデザイン（今回の新入生説明会では枠の有無）大体のスケジュールと完成度は全体で決めておくべきだったと思う（粗削りでいいからこの日までに完成させて1度リハーサルをしよう、など）。また、本番では発表時間がぎりぎり、少し焦りながらの発表になってしまった。履修登録のスライドも駆け足になってしまい、新入生へのアンケートでも履修登録の項目が最も理解度が低い結果になっている。そのため、リハーサルでは実際に休憩時間も取って本当の時間を計測する、もう少し余裕を持った発表時間を設定するなどの工夫が必要だったと思う。新入生説明会は新入生第一で進めるものなので、発表者だけではなく実際に説明を聞いてどう思うか？を、後からビデオや音声を見返して確認する必要があると感じた。</p>

	<p>履修登録や科目の種類などの説明は複雑で、わかっている上級生の立場とわかっていない新入生の立場では理解度が違う。</p> <p>やはり限られた時間では伝えられる情報にも限界があるとも思ったので、なんでも相談会がある前提を新入生に伝えて、説明会を進めたほうが新入生も安心できると思った。</p> <p>(B)</p> <p>はじめはなかなかコミュニケーションをとることができず、作業感があった。</p> <p>→ 早い段階でリハをし、一緒に作り上げていく感覚になることで作業感をなくす。</p> <p>グランドルールの「毎週日曜日に進捗報告をする」を忘れることがあった。</p> <p>→ 途中から、グランドルールにとらわれずにコミュニケーションをとることができていたため、今回は問題はない。もしグランドルールの忘れることで弊害が起きるのであれば、作業していく中でグランドルールの見直しをする。</p> <p>学科リハのあと、フィードバックをすべて参照できないまま中間リハを迎えてしまった。</p> <p>→ その日のうちにフィードバックと向き合う時間を作ることが理想であるが、各自の予定があるため、次のリハまでに自分で時間管理をする必要がある。また、学科リハを終えてから全体リハを迎えるまでの修正期間を長めに設ける。</p> <p>最終リハで配布資料があったが、他学科のメンバーに事前に使い方を説明していなかったため、本番同様の使い方ができなかった。</p> <p>→ 学科内で事前に配布資料を使用する目的を明確にし、全体にもその目的を周知する。</p> <p>やるべき作業をためてしまい、リハの直前に焦ってやっていた。読み合わせが不十分なままりハを迎え、不安が大きかった。</p> <p>→ 各自のキャパに合わせてほかのメンバーに振り分けるなど、臨機応変な対応ができればよかった。</p> <p>ポータル掲載資料に誤りがあった(修正し忘れ、アニメーション消し忘れ)。</p> <p>→ 今回は時間的に余裕もなく、確認不足でもあった。スライドを完成させて満足せずに、ポータル掲載資料まで作り上げることを考えて作業を進める。また、学科内でのコミュニケーションを積極的に行い、掲載資料を提示する前に最終の確認作業を行う。</p>
--	--

	<p>(D)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 去年の経験を使って積極的にスライドや台本作成を行い、準備の過程でアドバイスをできたらよかったができなかった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ アプリなどを使ってスケジュールの共有をして時間を調整し、対面でよく会う環境作りをすることでアドバイスをしたり後輩の相談に乗ったりできる機会を増やす</li> </ul> </li> </ul> <p>(E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最後が駆け足気味になってしまったので、いつまでにどのタスクを進めるか決めると良かったと思う。</li> <li>・ 私個人としては、Teams をもう少し見る頻度を増やすと良かった。説明会練習のフィードバックをする際、過程についても触れるともっと良かったと思う。</li> </ul> <p>(F)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グランドルールについて 2 年目から積極的に見直し之机を設けるべきだった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 全体のイベント（進捗報告会、中間・最終リハ）が来年度も実施されればその機会を活用してグランドルールの振り返りを意識的にすることもでき、英文学科独自の打ち合わせの際に現状に合っているのか都度確認していく。</li> </ul> </li> <li>・ 中間・最終リハのリアクションペーパーを 2 年目が当事者意識を持ってみるのができていなかった。リアクションペーパーの優先順位付けは経験のある 2 年目が行うこともできた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 全体リハ後に 2 年目以上がリアクションペーパーをスキャンしてデータで学科内に共有し、2 年目・アドも目を通しやすくする。必要に応じて優先順位を振り分けて、タスク管理を積極的に行う。</li> </ul> </li> </ul> <p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春休み期間は予定が合わないことがあるので早めに日程調整する（リハーサルの日程等）</li> <li>・ パワポのデザインは最初に決定する</li> <li>・ 対面で話し合う機会を設ける</li> <li>・ リハのビデオ鑑賞会（客観的に見るため）</li> <li>・ スライドの色を決めるときには実際の教室のスクリーンを見ながら考えるとよい</li> </ul>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生説明会に対する実感を早い段階から湧くように、スライドを見ながら話したい内容を考える</li> <li>・ ゼミ冊子期間と被っていたため、準備を始めるのが遅かった</li> <li>・ リハまでに何を終わらせるか決めてリハーサルに挑む</li> <li>・ 睡眠時間は確保する</li> <li>・ リハーサルの時点で休憩時間も含めた通しリハーサルをする</li> <li>・ 進捗報告など忘れることが多かったので先輩に頼れるところは頼る</li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 92 ) 点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体調を崩さないように、日ごろから気を付ける。また、同じ目的を持ち、思ったことをなんでも言えるような信頼関係を築く。日常的にコミュニケーションを大切にする。仲間として信頼し合い、感謝の気持ちを伝えるようにする。</li> <li>・ 2 年目が昨年度の経験をもとにリアクションペーパーの優先順位を判断するなど 2 年目ならではのサポートを見つけていきたい。</li> <li>・ もっと新入生企画の準備を逆算して考えて、時間を取り、1 年目適切なアドバイスをできる場所を設ける。</li> </ul>

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/ 5 /20

<b>学科・係</b>	心理・応用コミュニケーション学科	
<b>メンバー</b>	1年目	小林真夕 黒川柚夏
	2年目	出口加奈子 長谷川理実
	アドバイザー	小木曾ゆり
<b>目的・目標</b>	仲良くコミュニケーションをとる。報連相のうち、特に相談を大切にする。	
<b>活動概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科長と北星ピア・サポーター心コミ学科メンバーとの顔合わせ(7月2日)</li> <li>・ 新入生説明会 2025(4月2日) <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 新入生を対象に履修登録や単位についてなど大学生活において必要な情報を提供した。</li> </ul> </li> <li>・ なんでも相談会(4月3、7、8日) <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 新入生に向け、大学生活の不安を解消するための相談対応を行った。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>良かった点</b>	<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メンバーが打ち合わせを通して積極的にコミュニケーションをとっていたため、円滑に活動することができた。</li> <li>・ 自学科のメンバーのみでは閉鎖的な視点になってしまうのを防ぐため、他学科メンバー、教職員に助言を貰い、多角的に活動することができた。</li> </ul> <p><b>【新入生説明会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生説明会を開催する意義を理解した上で、自分たちも楽しんで取り組めるような工夫を考えたため、説明会の本来の目的である、履修登録の流れを理解してもらう事と大学への不安を少しでも解消してもらう事を意識しつつ、自由な発想や個性を活かした説明会ができた。 具体的には、各項目の説明が終わるたびに、勇者がレベルアップするというストーリーを作り、アニメーションや効果音で没入感を演出した。</li> <li>・ 学科メンバーの1人がピア・サポーター脱退を決断した際、中間リハーサル直前だったこともあり、話し合いをする時間がなく、1年目では解決することができなかったので、職員や2年目に協力してもらい、対面で話し合いをし、互いの意思を確認しあうなどをして解決をすることができた。</li> <li>・ スライドの大きな変更があった際、対面で話し合いを重ね、お互いの意思を確認しあう等をして最善を尽くすことができた。</li> <li>・ 学科長や、学科教員と良好なコミュニケーションを築き、信頼を得た。</li> </ul>	

<p style="text-align: center;"><b>改善点</b></p>	<p><b>【学科企画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科の企画を行っていないため、新入生説明会期間以外がオフシーズンになってしまい、ピア・サポーターのモチベーションが下がってしまったことから、これからも下がってしまうことが予想される。そのため、次年度ではピアサポのモチベーション維持や学科の学習力向上を目的とした学科企画を実施し、改善を図る。</li> </ul> <p><b>【新入生説明会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年目では解決できなかったことや2年目に頼ることができなかったという反省点があるため、次年度は学科メンバーが互いに相談しやすい関係を築く。そのために、ご飯会を開催するなどをして親交を深める。また、学科メンバー全員が責任をもって、積極的に新入生説明会の準備の進捗を気にかけるようにする。</li> <li>・ 新入生説明会の準備開始時期が遅く、中間リハーサルで自分たちが目指していた出来栄えには到達できなかったという反省があるため、次年度は、キックオフ会から何日までにここまで完成させるなどといった具体的な計画を立て、効率的に活動することで改善を目指す。</li> <li>・ 2年目視点での1年目への改善点は、新入生説明会の準備期間のピアサポ活動の優先順位の付け方である。新入生説明会関連のスケジュールは事前に告知されていたにもかかわらず、「バイトを入れすぎて打ち合わせの時間が合わない」という話を何度か聞いた。そのため、次年度は、中間リハーサルの日から逆算して計画を立てる等をして自分たちの予定を調整する。その際、どの作業にどの程度時間がかかりそうか見積もりができなければ、先輩に聞くなどの対処をとる。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を100点満点で評価してみましょう→(90)点</p>
<p style="text-align: center;"><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回は学科企画を実施しなかったため活動に対するモチベーションが低下してしまったことを踏まえ、次年度は、学科向けのコース選択やゼミ説明会、フィールド実習の説明など、学科特有の活動を行う。</li> <li>・ 今年度はメンバーの脱退があり、混乱してしまうことがあった。そのため、悩み事があった際はすぐに相談し、話し合いを行って納得のいく答えを出すなど、相談しやすい関係、素直になれる環境を作る。</li> <li>・ 今年度は学科企画を行わなかったこともあり、学科内での交流が少なかった。そのため次年度は、普段から学科内のコミュニケーションを積極的に取る。</li> <li>・ 毎年心コミでは、一年生の必修授業である「統計法基礎」に苦戦する学生が多く、2～3年生でも使用する可能性がある知識である。そのため「統計法講座」の実施が有効なのではないかと考える。</li> </ul>

## 年間スケジュール

6月	
7月	学科長顔合わせ
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	新入生説明会準備開始
1月	新入生説明会準備期間
2月	新入生説明会準備期間
3月	新入生説明会準備期間
4月	新入生説明会の実施 なんでも相談会の実施
5月	

## No.1

<b>活動名称</b>	北星ピア・サポーターによる説明会		
<b>日時</b>	2025年4月2日		
<b>場所</b>	c 700 教室		
<b>対象者</b>	新入生	<b>参加者数</b>	114名
<b>目的</b>	新入生の悩みや不安を解決できるように、学生の経験談を交えながら大学の学びの流れについて理解してもらう。		
<b>準備</b>	<p>2024年12月18日 打ち合せ → ラーニング・コモンズで今後作成するスライドの方向性を決定した。</p> <p>2024年12月24日 打ち合わせ → 説明会に使用する内容のすり合わせを行った。</p> <p>1月8、15、22、31日 作業日 → ラーニング・コモンズに集合し各々で分担作業を行った。</p> <p>2月10日 進捗報告会 → 他学科と進捗を共有した。これにより、新たな視点が生まれ、自学科のモチベーションを高めることができた。また、今後の活動の参考になる情報を学ぶことができた。</p> <p>2月13日 学科リハーサル(オンライン) → 教職員や先輩にみてもらいオンラインでリハーサルを行った。自学科に足りない部分を明確にすることができた。</p> <p>2月14、15日 作業日 → ラーニング・コモンズに集合し各々で分担作業を行った。またその際、台本の読み合わせも行った。</p> <p>2月17、18日 中間リハーサル → 他学科と比較し、自学科は未完成な部分が多いことに気づかされた。もう一度スケジュールを考えメンバーで作業する機会を増やした。</p>		

	<p>2月20、21、24、26、27日、3月3、4日 作業日  → 当日と同じ教室(c700 教室)を利用し、スライドの見え方や音の大きさ、時間配分を確認しながら何度もリハーサルを行った。その際、誤字脱字や内容の誤りを都度修正した。</p> <p>3月5日 学科長リハーサル  → 現在の学科長と次年度の学科長にプレゼンを見ていただき、フィードバックをもらった。</p> <p>3月8.10.11.13.14.15日 作業日  → 学科長からのフィードバックや先輩、教職員からのアドバイスを参考にし、スライドや台本を大幅に変更した。また、台本の読み合わせを行う際は、当日に近い形で練習を重ねた。</p> <p>3月17、18日 最終リハーサル  → 中間リハーサルと比較しミスや修正が格段に減った。他学科は既に提供できる状態まで仕上がっていたが、自学科ではまだ改善の余地が多くあった。しかし、最終リハーサルを通して、新入生説明会を行う意義を再確認出来た。</p> <p>3月24、26、27日 作業日  → フィードバックを受け必要箇所を修正し、台本の読み合わせを行った。また、他学科を参考にし、自学科で配布するスライドを補足する資料を作成した。</p> <p>3月29日 学科リハーサル  → 先輩に確認をしてもらい改めてプレゼンの確認を行った。</p>
<p><b>実施内容</b></p>	<p>2025年4月2日(火) 新入生説明会の実施【c700 教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生の不安を解消するために大学の仕組みを、スライドを使用し 90 分程度で行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 内容は、履修登録の説明、学校の仕組みなど大学にまつわる知識に関する内容だった。</li> </ul> </li> <li>・ 新入生応援 BOOK に自学科で作成した配布資料を添付し、教室入口付近で配布した。</li> </ul>

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人のこだわりを共有して、話し合ったため、履修登録などに関する分かりやすい資料が作成できた。</li> <li>・ 自分の経験を生かしてどのように説明されたら理解しやすいのかを試行錯誤し、より良いスライドを作ることができた。</li> <li>・ 新入生だけでなく、自分たちも楽しむことを忘れずに実施したため本番では緊張せず、聞きとりやすい声で発表出来た。</li> <li>・ 来年度のスライドに履修登録画面の画像を使用できるように、今年の履修登録期間中に必要な画面をスクリーンショットとして残した。</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メンバー間で予定が合わず、春休み中は、対面で作業する機会が少なかった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 事前に予定を共有して計画を組んでおくことで、対面で作業する機会を増やせると考えられる。</li> </ul> </li> <li>・ 学科リハーサルの連絡が遅く、先輩にみてもらう機会が少なかった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 報告、連絡、相談を意識する。事前にリハーサルの共有を行い、意見やアドバイスをもらう機会を増やすようにすることで改善できる。</li> </ul> </li> <li>・ メンバー間で修正箇所を確認できていない部分が多かった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 分担作業をする際、内容のすり合わせを入念に行い、修正箇所は必ず報告するなど、メンバーへの配慮を行う事で改善を目指す。</li> </ul> </li> <li>・ スライドを編集するたびにファイルが増え、当日使用するファイルが何かわからなくなってしまっていた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 使用しなくなったファイルは都度削除し、必要なファイルはフォルダにまとめることで使用ファイルの混乱を防ぐことができる。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (100) 点 </p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春休みは対面で作業する予定を事前に合わせておく必要がある。</li> <li>・ 1年目が主体であるものの2年目にも共有し、積極的に2年目を頼ること。</li> <li>・ 修正箇所を必ず伝える。</li> <li>・ 使わない過去のスライドや台本は削除し、フォルダを整理すること。</li> </ul>

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/05/21

<b>学科・係</b>	経済学科	
<b>メンバー</b>	1年目	坂本光平 末岡桃萌 高野涼太
	2年目	浦山勇翔 小田島蒼 福光颯汰
	アドバイザー	伊藤皓紀 木村駿作 土屋日奈子
<b>目的・目標</b>	積極的な人は前提として、消極的な人にもサポートするために、まずはピア・サポートを広げ、より良い企画を作り上げる。	
<b>活動概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科長と北星ピア・サポーター経済学科新メンバーとの顔合わせ → 2024年6月28日(金)に、学科長と新1年目の挨拶と経済学科でのこれからについて話し合いを行った。</li> <li>・ 新入生説明会 2025 → 2024年12月から準備を行い、4月2日(水)に経済学科の新入生を対象に対面形式で実施した。入学時に私たちが困った、履修登録や、単位とは何かなど大学生活で役に立つ情報を提供し、経済学科の専門科目から大学共通科目まで、幅広い分野での説明をした。</li> <li>・ なんでも相談会 → 4月3日(木)、4月7日(月)、4月8日(火)の3日間にかけて経済学科の学生を対象に相談対応を行った。また、ゼミ相談ブースを設け、経済学科2年生を対象としたゼミ相談会を行った。</li> </ul>	
<b>良かった点</b>	<p><b>【新入生説明会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年目内のみならず、2年目、そしてアドバイザーにも発表内容について相談して取り組むことができ、各学年による視点からの意見を盛り込むことができた。</li> </ul> <p><b>【なんでも相談会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生である1年生だけでなく、2年生向けにゼミ相談会を実施し、幅広い相談に対応することができた。</li> <li>・ 時間割作成を行う際、応援 BOOK を活用してくれる新入生がたくさんいたこと。</li> <li>・ 相談者の抱えている問題に対して、適切な支援場所を口頭で説明や直接案内をすることができた。</li> </ul>	

<b>改善点</b>	<p>【新入生説明会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科長リハーサルの日程調整が遅れてしまい、最終リハーサル後の実施になってしまったこと。</li> <li>→ 早めに学科長と連絡を取り、遅くても中間リハーサル終了後には実施できるようにすることで、最終リハーサル後の修正が少なくなり、本番での間違いを減らすことができる。</li> </ul> <p>【なんでも相談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談者が多くてあふれてしまった時、相談対応の立ち回りがあまり上手にできなかったこと。</li> <li>→ 混雑状況や相談者の理解度に合わせて、段階を踏んでタスクを課したり、持ち帰らせたりする。</li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 85 ) 点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年のゼミ選考期間は新しい先生が決まらなかったという理由から 4 月に行われたが、来年からは例年通り 11 月～12 月に戻るので、情報の共有を徹底する。</li> <li>・ 質が担保されていない情報を鵜呑みに、間違った情報を仕入れてくる学生が多くいたので、新入生説明会などで今よりもさらにピアサポの位置づけを明確にし、認知させていく必要がある。</li> </ul>

<b>年間スケジュール</b>	
6 月	学科長と北星ピア・サポーター経済学科新メンバーとの顔合わせ
7 月	
8 月	
9 月	
10 月	
11 月	
12 月	新入生説明会準備期間
1 月	
2 月	
3 月	HOKUSEI OPEN DAY 参加
4 月	新入生説明会の実施 なんでも相談会の実施
5 月	

No.1

<b>活動名称</b>	北星ピア・サポーターによる説明会		
<b>日時</b>	2025年 4月 2日 (水)		
<b>場所</b>	A305 教室		
<b>対象者</b>	経済学科新入生	<b>参加者数</b>	191
<b>目的</b>	大学生生活は自由度が高い反面、自己責任が伴う点や、時間割の組み間違いにより卒業できなくなるといった不安に、いち早く寄り添い解消する。		
<b>準備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2024年12月9日(月)：打ち合わせ① <ul style="list-style-type: none"> <li>→ キックオフ会で定めたグランドルールを再度検討し、最終決定を目指した。その中で、各々が作業したファイルを共有する方法については次回に持ち越すことにした。</li> </ul> </li>   <li>・ 2024年12月16日(月)：打ち合わせ② <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 前回の打ち合わせから持ち越したグランドルールに関して、ファイルの共有方法を最終決定し、Teamsの経済学科チャンネル上部の「新入生説明会準備2024経済」のグランドルールの欄を更新した。また、一昨年度、昨年度のスライドを閲覧し、流れと変更箇所を確認し、役割分担を明確にした(分担：前半1,2,3と後半6をB、前半4,5,6と後半1をC、後半2,3,4,5をAが担当)。</li> </ul> </li>   <li>・ 2024年12月23日(月)打ち合わせ③ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 冬季休業期間に各自で作業をするために、スライドの作り方(PowerPointではなくCanvaで作成すること、最終的にはCanvaからPowerPointに変換すること、使用するスライドのテンプレート、フォント、基調とする色、文字の色)を決定した。</li> </ul> </li>   <li>・ 2025年1月6日(月)：打ち合わせ④ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 冬季休業期間に各自が作業したスライドの進捗を報告しあい、修正やスライドの作成に関わるルールの再確認を行った。また、次回、次々回までのタスクを確認した。</li> </ul> </li>   <li>・ 2025年1月20日(月)：打ち合わせ⑤ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 前回の打ち合わせ後に各自が作業したスライドの進捗を報告しあい、修正やスライドの作成に関わるルールの再確認と、来年度から始まる</li> </ul> </li> </ul>		

100分授業の導入について、配信されていた資料を確認した。また、台本作成時のルール（Wordで作成すること）を決定し、次回（スライドの仮完成）、次々回までのタスクを確認した。

- ・ 2025年1月27日（月）：打ち合わせ⑥
  - 前回の打ち合わせ後に各自が作業したスライドの進捗を報告しあい、修正箇所の確認と、来年度から始まるBYOD（Bring Your Own Device）についての説明をスライドに追加することを決定した。また、次回までのタスク（スライドを微調整して完成させること、台本の作成を完了させること）を確認した。
  
- ・ 2025年2月4日（月）：打ち合わせ⑦
  - 教室を借りて第1回学科リハーサルを行い、台本の確認と、2年目と職員からアドバイスをいただいた。また、次回までのタスクを確認した。
  
- ・ 2025年2月7日（金）：打ち合わせ⑧（オンライン）
  - 説明会の流れについて再検討し、修正箇所（前半3（科目）と前半4（単位）の入れ替え、事前登録と履修登録の説明の流れの変更、自己紹介の形式、ゼミの紹介に関わる写真の収集と挿入）を決定した。また、次回までのタスクを確認した。
  
- ・ 2025年2月10日（月）：進捗報告会
  - 他学科と進捗状況のみならず、改めて整備したグランドルールを共有しあい、対面で作業を進めるメリットのみならずzoomやチャットの活用方法についても理解を深めることができた。
  
- ・ 2025年2月12日（水）：打ち合わせ⑨
  - 教室を借りて英文学科と合同で第2回学科リハーサルを行った。1年目と2年目全員が参加し、2年目や他学科の参加者、職員からのアドバイスをいただいた。
  
- ・ 2025年2月14日（金）：打ち合わせ⑩
  - 当日と同じ教室（A305教室）を借りて第3回学科リハーサルを行い、2年目とアドバイザー、職員からアドバイスをいただいた。また、中間リハーサルまでのタスク（スライドと台本の修正作業）を確認した。

	<ul style="list-style-type: none"> <li> <p>・ 2025年2月17日（月）：中間リハーサル</p> <p>→ 学科ごとにスライドのアニメーションや効果音を組み込んだり、休憩にクイズを盛り込んでいたりと学科ごとの工夫を確認でき、また他学科と比較して自学科の発表を客観的に見ることができた。</p> </li> <li> <p>・ 2025年2月26日（水）：打ち合わせ⑪</p> <p>→ 中間リハーサルでもらったリアクションペーパーを読み、受けた指摘の中から取り入れるべきものを確認し、修正箇所を決定した。また、学科長との打ち合わせの候補日を決め、メールを送信した。</p> </li> <li> <p>・ 2025年3月3日（月）：打ち合わせ⑫</p> <p>→ 学科長との打ち合わせの日程が再調整となったため、再度候補日を設定し、メールを送信した。今回の学科長との打ち合わせは最終リハーサルの後となるため、デスクへの連絡をした。また、説明会の内容について再検討し、次回までのタスク（スライド内で紹介する日程に間違いがないかの確認、中間リハーサルでもらったリアクションペーパーのアドバイスの修正）を確認した。</p> </li> <li> <p>・ 2025年3月10日（月）：打ち合わせ⑬（オンライン）</p> <p>→ 新入生応援 BOOK の活用方法について検討し、学科独自の配布資料と新入生応援 BOOK のどちらも配布することで合意した。</p> </li> <li> <p>・ 2025年3月13日（木）：打ち合わせ⑭</p> <p>→ 教室を借りて第4回学科リハーサルを行った。1年目と2年目全員が参加し、2年目と職員からアドバイスをいただいた。また、説明会当日の配布資料について2年目と確認し、学科独自の配布資料はポータルサイトで配布し、新入生応援 BOOK にはメモ欄を設けて当日使用することを決定した。また、最終リハーサルまでのタスク（スライドと台本の修正作業）を確認した。</p> </li> <li> <p>・ 2025年3月18日（火）：最終リハーサル</p> <p>→ 発表内容の修正点のみならず、他学科と良かった点の評価など、モチベーション向上につながるコミュニケーションができた。</p> </li> <li> <p>・ 2025年3月24日（月）：学科長との打ち合わせ&amp;打ち合わせ⑮</p> <p>→ 教室を借りて学科長（教員 KT、教員 KY）との打ち合わせを行った。本番のようにスライド・原稿を読み上げ、新入生説明会の前日に行わ</p> </li> </ul>
--	---

	<p>れる学科長オリエンテーションとの間で説明内容に違いがないかを確認し、修正点もいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2025年3月31日（月）：打ち合わせ⑩&amp;読み合わせ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 説明会前最後の打ち合わせを行った。また、最終確認として読み合わせを行い、新入生説明会に関する全工程が終了した。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>実施内容</b></p>	<p>2025年4月2日（火）：新入生説明会の実施</p> <p>→ 学校生活への不安や悩みを解決するために、新入生を対象とし新入生説明会を実施した。</p> <p>教室入口で新入生応援 BOOK を渡し、空いている席へ新入生を誘導した。</p> <p>A305 教室で 2025 年度の経済学科新入生を対象にプレゼン形式で、学校の仕組み、履修登録の方法などの説明を行い、前半と後半の間に 10 分間の休憩時間を設けた。</p> <p>説明会に合わせてポータルサイトで事前に新入生応援 BOOK とは別の学科独自の説明会資料を配布し、説明会の最後にはその配布資料について紹介をした。</p>
<p><b>良かった点</b></p>	<p><b>【準備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週月曜日にラーニング・コモンズに集まり、今後の計画や次回までのタスクをお互いに課すことができていた。</li> <li>・ タスク以外に、各々が持っているキャパシティやモチベーションの有無などを、Teams のチャットを通して確認し合うことができた。</li> <li>・ 新入生が入学後のイメージをつかめるよう、自分たちの体験談を説明会に盛り込むことができた。</li> <li>・ 説明する順序や用語の説明が、新入生にとって本当に理解できるものなのか、新入生の目線でスライド・台本づくりに臨めた。</li> <li>・ 2 年目の 1 年目に対するフィードバックが改善点のみならず、良かった点や成長した部分も声掛けできており、1 年目のモチベーション向上につながられた。</li> </ul> <p><b>【本番】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生に作業させるところは、新入生にペースをしっかりと合わせてできており、周りを見て説明会を進行することができた。</li> <li>・ 説明会終わりに残っている新入生に対して、自分たちから不安なことや疑問点がないかコミュニケーションがとれた。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>改善点</b></p>	<p><b>【準備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライド、応援 BOOK に載せたキリスト教文化入門Ⅰ・Ⅱの時間に誤りがあった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 公開前の時間割を学科全員で実際に見て確認する。</li> </ul> </li> <li>・ 進捗報告会前のフォルダー提出が遅れてしまった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 提出期限の1日前までには提出をする。</li> </ul> </li> <li>・ 余裕をもって学科長リハーサルの日程調整を行うべきだった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 次期1年目には、余裕を持って日程調整を行うように事前に声掛けをしておくようにする。</li> </ul> </li> <li>・ 最終リハーサル後に学科長リハーサルなどが立て込み、モチベーションが下がって日程調整などの連絡が不十分だった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 不測の事態で慌ただしくなっても、最後まで責任感をもって自発的に連絡を取るようにする。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【本番】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明会に早く訪れた人への対応が遅れてしまったこと。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 説明会が始まる1時間前には、説明会会場に移動し、準備ができる状態にしておいた方が良いのではないか。（提案）</li> </ul> </li> <li>・ 説明会の時間割作成で具体的に扱った選択必修科目までは、多くの新入生が理解できていたが、その後の時間割の組み方が分からないという声が、なんでも相談会で多かった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 選択必修科目を記入させた後、残りは大学共通科目の各分野から組むことを、より説明で強調する。</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を100点満点で評価してみましょう→（ 85 ）点</p>
<p style="text-align: center;"><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間割や日程確認に関して、学科のメンバー全員で確認する体制を徹底することで、情報の間違いを防ぐことが見込める。</li> <li>・ 説明会にて、選択必修科目まで時間割を記入させた後に、自分の力で時間割を組めるような説明を提供するべきだと考える。</li> </ul>

## 北星ピア・サポーター活動報告

提出日 2025/05/22

<b>学科名</b>	経営情報学科	
<b>メンバー</b>	1年目	荒井 望結・遠藤 理子・小野 愛菜・片桐 和奏・外館 祐来
	2年目	戸沼 祐水
	アドバイザー	相内 詩渚
<b>目的・目標</b>	経営情報学科の学生が有意義な大学生活を送ることができる手助けをする。	
<b>活動概要</b>	<p>ゼミ相談会 これからゼミを選ぶことになる経営情報学科 2年次に向けてゼミを選ぶきっかけとなるイベントを実施する。</p> <p>新入生説明会 これから大学生活が始まる経営情報学科 1年次に向けて時間割の作り方など大学生活で必要となる知識を伝える。</p>	
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割にとらわれすぎず、状況に応じて他の作業の手伝いにも積極的に取り組むことができたことで、チーム全体の円滑な進行につながった。</li> <li>全体のやるべきことを意識して自分のできることを率先して行うことができた。</li> <li>新入生説明会、ゼミ相談会ともに大きなアクシデントはなく、開催することが出来た。</li> <li>学生の視点から、参加者にとって役立つ時間になるように工夫し、実行できた。</li> </ul>	
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年目への報告・連絡・相談が不十分だったことで、本来は1・2年目全体で作り上げるべき活動であるにもかかわらず、作業量に偏りが生じてしまったため、意識的にコミュニケーションをとることが必要。</li> <li>1人に負担がかかりすぎないように、もっとコミュニケーションをとるべきだった。最初の仕事の分担の際からバランスの偏りを意識する。</li> <li>やるべきことを可視化し、自分の作業を適宜共有するべきであるため、全体で細かいToDoリストを最初の段階で作るべきだった。</li> </ul>	

<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 65 ) 点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年目と2年目の間で情報共有を徹底し、全員が進捗状況を正確に把握し、必要なアドバイスを随時受けられる状態を維持しながら作業を進めていく。</li> <li>・ 去年や今年の反省を生かして、早めに作業を進めていく。</li> </ul>

<b>年間スケジュール</b>	
<b>2024年6月</b>	6月12日 ゼミ相談会初回ミーティング 6月26日 学科長顔合わせ実施
<b>7月</b>	
<b>8月</b>	
<b>9月</b>	30日 センター長にゼミ相談会企画書の提出
<b>10月</b>	1日 学科長にゼミ相談会概要を説明 2日 学科長にゼミ相談会の企画書を共有 23日 ゼミ相談会
<b>11月</b>	
<b>12月</b>	8日 新入生説明会初回ミーティング
<b>2025年1月</b>	
<b>2月</b>	17日 中間リハーサル
<b>3月</b>	17日 最終リハーサル 28日 学科長に新入生説明会の台本・スライド・配布資料の共有
<b>4月</b>	2日 新入生説明会
<b>5月</b>	

<b>活動名称</b>	ゼミ相談会		
<b>日時</b>	2024年10月23日 5 講目		
<b>場所</b>	C502 教室		
<b>対象者</b>	北星学園大学経営情報学科 2 年次	<b>参加者数</b>	42 人
<b>目的</b>	これからゼミを選ぶこととなる経営情報学科の学生に向けて、シラバスの内容も含め、ゼミの雰囲気などの情報を提供し、ゼミ学習の意欲を向上させることを目指す。また、ゼミの概要を記載したゼミ紹介資料を作成することで、相談会中に参加者にとって魅力的かつ有意義な情報を提供することを目指す。		
<b>準備</b>	<p>6月12日：企画書・ゼミ生へのお願い・冊子テンプレート・の作成 (H・F・A・B・C・D・E)</p> <p>6月14日：企画書・ゼミ生へのお願い・冊子テンプレート→デスク確認 (H・F・A・B・C・D・E)</p> <p>6月26日：学科長との顔合わせにて今年度のゼミ説明会の企画書を学科長に共有 (H・F・A・B・C・D・E)</p> <p>7月10日：企画についての打ち合わせ (F・A・B・C・D・E)</p> <p>9月17日：企画に関する会議 (A・B・C・D・E)</p> <p>9月24日：企画に関する会議 (F・A・B・C・D・E)</p> <p>9月25日：企画に関する会議 (A・B・C・D・E)</p> <p>9月30日：学習サポートセンター長へ企画書共有メール (E)</p> <p>9月30日：学科長へ企画書共有日程調整メール (D)</p> <p>10月3日：学科長へ相談会関連の資料(企画書、ゼミ生へのお願い、冊子データ)をメールで共有 (C)</p> <p>10月11日：学科長へ経済法の先生方の参加の確認と開催会場確定のお知らせメール (C)</p> <p>10月17日：インスタグラムでの告知投稿、ポスターの掲示 (A)</p> <p>10月18日：定例会の時間にゼミ相談会のお手伝いのお願いをした</p> <p>10月21日：当日参加していただけるゼミ生・教員の皆さんに当日の動きの共有をした</p> <p>10月21日：参加有無・今年度版のゼミ紹介資料を確認できていないゼミに確認を行った</p> <p>10月21日：学科長に moodle へ作成した冊子データ掲載のお願いをした</p> <p>10月22日：学科長、学習サポートデスクからのメール送信のお願いをした</p> <p>10月23日：会場設営 (F・A)</p>		

<b>実施内容</b>	実際に参加していただいた経営情報学科2年次の人数のカウント、アンケートのお願い、経営情報学科2年次への案内を行った。
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミ生や先生方への対応メールの担当を分担したことで、他の作業との両立がしやすかった。</li> <li>・事前に設定した役割分担に囚われずに臨機応変に対応することができた。</li> <li>・初めての相談会形式で、トラブルも色々あったが、臨機応変に対応することができた。</li> <li>・初めての形式での試みだったが、アンケート結果では参加者も対応者も比較的満足のできる企画にすることができた。</li> </ul>
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートのQRコードの告知が遅かったことで、相談会を一時中断することになってしまったため、シナリオ作りの際に予定として組み込む必要があった。</li> <li>・進行状況の確認が不十分で、情報共有が不足してしまったことがあったため、日程を設定して共有をする必要がある。</li> <li>・予想できないことが多くあったため、色々なところで決断や行動が遅くなってしまったが、なるべく全体で会議を行い、軌道修正を行えるようにすべきだった。</li> <li>・教員との連携がうまくいかなかったり、思うように準備が進まなかったりなど、開催日が当初の予定より先延ばしになってしまったため、全体でのスケジュール管理を細かく行う。</li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→（ 60 ）点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の反省を生かし、企画書の共有、ゼミ生への依頼、および告知を早めに行おうと思っていたが、教職員との連絡がうまくいかず、最終的にはギリギリとなってしまった。来年度は、もう少し早く告知等ができるように教職員に事前に相談をしたうえで予定を立てるよう意識する。</li> </ul>

## No.2

<b>活動名称</b>	北星ピア・サポーターによる説明会		
<b>日時</b>	2025年4月2日10:00~11:30		
<b>場所</b>	C400 教室		
<b>対象者</b>	北星学園大学経営情報学科1年次	<b>参加者数</b>	111人
<b>目的</b>	<p>経営情報学科の新入生に向けてこれからの学校生活に必要な時間割の作り方など大切な情報を伝える。</p> <p>説明会を通して、これからの学校生活の不安を和らげ、ピアサポというなんでも相談できる身近な存在があるということを知ってもらう。</p>		
<b>準備</b>	<p>12月3日：スライドの内容を決定(A、B、C、D、E)</p> <p>12月10日：新入生説明会についての会議(A、B、C、D、E)</p> <p>12月24日：新入生説明会で使用するスライド作成作業(A、B)</p> <p>1月24日：新入生説明会で使用するスライド作成作業(A、B)</p> <p>2月11日：新入生説明会の学科リハーサル(A、B、C、F)</p> <p>2月17日：中間リハーサル(A、B、C)</p> <p>2月20日：リアクションペーパーを元にした新入生説明会のスライド、台本の作成・修正(A、C)</p> <p>2月26日：リアクションペーパーを元にした新入生説明会のスライド、台本の作成・修正(A、C)</p> <p>2月28日：リアクションペーパーを元にした新入生説明会のスライド、台本の作成・修正(A、C)</p> <p>3月5日：新入生説明会の学科リハーサル(A、B、C、F)</p> <p>3月11日：新入生説明会の学科リハーサル(A、B、C、D、E、F)</p> <p>3月17日：最終リハーサル(A、B、C、D、E、F)</p> <p>3月26日：新入生説明会の学科リハーサル(A、B、C、D、E、F)</p>		
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明会を始める前に、机の上に配布資料と新入生応援BOOKを用意した。</li> <li>・ 参加学生の人数のカウントを行った。</li> <li>・ 新入生に向けて時間割の組み方など、これから大学生活をしていくうえで必要となる知識を伝えた。</li> <li>・ 新入生説明会終了後、新入生の質問に対応した。</li> <li>・ 新入生説明会終了後、残っていた学生に声をかけ、不安なことやわからなかったことなどはないか確認した。</li> </ul>		

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修正のときに対面で集まって作業したことで、作業効率が上がった。</li> <li>・ 作業に参加できなかったメンバーもいたが、最終リハ前に学科リハを行なったことで、説明会の精度をあげることができた。</li> <li>・ 大きなアクシデントなく、新入生に必要な情報をしっかり伝えることができた。</li> <li>・ スライド作成では、定期的にスライドの共有を行い、進捗の報告・確認が出来ていた。</li> <li>・ 台本作成を始める前に各々のスケジュールを鑑みて、無理のない分量で作業することができた。</li> <li>・ 教室の温度調整、話者のスピード調整など、全員で協力して新入生説明会を実施することができた。</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライドの完成が遅くなってしまったことで、台本作成に着手するのが遅くなってしまったため、早めに期限を設け、途中段階でもスライドを提示するべきであった。</li> <li>・ スライドの大幅な変更があったことで、台本の中身も大幅に修正する必要が出てきたため、すぐに台本班に伝える必要がある。</li> <li>・ 全員で集まって作業する時間をあまりとることができなかったが、Zoomなどを活用して全体で作業できる時間を作るべきであった。</li> <li>・ 1年目と2年目間のコミュニケーションがうまく取れていなかったことで、情報共有が遅くなったり、去年の活動を踏まえたアドバイスを受ける回数が少なくなったりしてしまったため、意識的に連絡を取ったり、コミュニケーションをとる必要がある。</li> <li>・ 作業量に偏りが生じてしまい、メンバーに負担をかけてしまったため、今後は会議などに参加できない場合でもやるべきことを把握できるよう、業務を可視化し、自分が対応できることには、主体的に取り組むようにする。</li> <li>・ 時間を作ることができず、スライドの確認がおろそかになってしまったため、自分の役割に責任をもって取り組む。</li> <li>・ 昨年の経験をうまく伝える機会を作ることができなかった。</li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 70 ) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業の偏りがないように、それぞれの作業状況などを把握できるように積極的にコミュニケーションをとる。</li> <li>・ 定期的にはなくても、なるべく多く対面で作業して、意見交換をする。</li> <li>・ 連絡の返信の際に、既読だけではなく、リアクションをして一目で確認したことをわかるようにする。</li> <li>・ スライドと台本を作る人で分けた場合、その2つを共有する機会を多くして、現状の把握をしっかりとる。</li> <li>・ 1年目と2年目間での情報共有を定期的に行う。</li> </ul>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 説明会当日、他の会場でイベントが終わると廊下での話声などで説明が聞きづらくなってしまう場面があるので、その場合、後ろに立っている人が声掛けに行くなど、教室内だけでなく、外にも気を配れるような体制を作る。</li></ul> |
|--|---|

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/5/22

<b>学科・係</b>	経済法学科	
<b>メンバー</b>	1年目	沓脱響暉 太田喜一 谷内梨々花
	2年目	東山歩叶 難波杏介 中谷光汰
	アドバイザー	正木瑛翔 土屋萌
<b>目的・目標</b>	無理のないスケジュールで全員が主体的に活動する	
<b>活動概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済法学科ゼミ相談会               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 現二年生に向けての相談の場を設けた。</li> <li>→ ゼミ履修によるメリットについても発信。</li> <li>→ より多くの学生にゼミを履修してもらうきっかけをつくった。</li> </ul> </li> <li>・ 新入生説明会               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 経済法学科の新入生が抱えている不安や疑問を解消し、今後の学生生活を快適に送ることができるような学生支援を提供する場を設けた。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事量が偏ることがなかった。 理由) 役割分担を前もってできていた。</li> <li>・ 計画的に企画を取り組むことができた。 理由) 昨年のゼミ相談会の準備が実施日直前になったことを反省に前もって計画した。</li> <li>・ 報連相から漏れた情報がなかった。 理由) teams の活用が上手くできた。</li> <li>・ 企画を通して、メール作成能力の向上がみられた。 理由) 企画実施にあたり、学科長や先生方と連絡を取る場面が多かった。メールの文章を書く機会も付随的に増えていたことから、メールの作成についての上達が見られた。</li> <li>・ アドバイザーに頼らず、現役のみで問題の解決に取り組んだ。 理由) 目標にもあるように、皆が主体的に行動することが出来た。</li> </ul>	
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい企画がなかった。去年行った活動を行うのもいいことだが、新しい企画をすることにより、経済法学科に新鮮味を出すことで改善することを目指す。</li> <li>・ 自分たちのスケジュール管理不足で、上下間の連絡がうまくできなかった。こまめに連絡することで、スケジュール調整を迅速にし、連絡を迅速にすることを目指す。</li> </ul>	

<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (72.5) 点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余裕のある活動を行っていく。</li> <li>・ 新しい企画にも挑戦していく。</li> <li>・ こまめな連絡を心がける。</li> <li>・ 企画当日のアクシデントにも対応できるように事前の打ち合わせを行う。</li> </ul>

<b>年間スケジュール</b>	
<b>6月</b>	定例会参加 スタートアップ研修 学科長顔合わせ
<b>7月</b>	
<b>8月</b>	
<b>9月</b>	ゼミ相談会準備開始
<b>10月</b>	ゼミ相談会準備期間
<b>11月</b>	ゼミ相談会 ゼミ相談会振り返り
<b>12月</b>	キックオフ参加 新入生説明会準備開始
<b>1月</b>	新入生説明会準備期間
<b>2月</b>	新入生説明会準備期間 進捗報告会 経済法学科リハーサル 中間リハーサル
<b>3月</b>	経済法学科リハーサル 最終リハーサル 経済法学科リハーサル
<b>4月</b>	北星ピア・サポーターによる説明会 何でも相談会 活動報告書作成
<b>5月</b>	活動報告書作成

## No.1

<b>活動名称</b>	ゼミ相談会		
<b>日時</b>	2024年 11月15日 12:30~14:30		
<b>場所</b>	C502 教室		
<b>対象者</b>	2024年度1年生	<b>参加者数</b>	32人
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何も知らない1年生にゼミとはどういうものなのかを具体的に知ってもらう機会を作る。</li> <li>・ 経済法学科の学生自身に学びに対して能動的に取り組む姿勢を養う。</li> <li>・ ゼミに対しての、悩み・疑問を解消する。</li> </ul>		
<b>準備</b>	2024年 9月25日 経済法学科企画会議 ゼミ相談会実施決定 9月25日 学科長へご協力をお願いするメール送信 10月16日 第一回企画会議 10月24日 ポスター作成 10月25日 第一回ポスター修正 10月28日 第二回ポスター修正 10月28日 企画書通過 10月31日 第三回ポスター修正 11月1日 ポータルサイト用告知文作成 11月4日 2025年度ゼミ開講予定の経済法学科先生方へのご依頼メール送信 11月5日 ポータルサイト用告知文完成 11月12日 ゼミ生への事務連絡・お礼メール送信 11月7日 2025年度ゼミ開講予定の経済法学科先生方へのゼミ生派遣の件についてのお礼メール送信 11月7日 ポスター完成・張り出し 11月8日 最終確認会議 11月9日 当日資料・アンケート作成 11月14日 当日資料・看板完成 11月15日 最終ミーティング		

<p><b>実施内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生にはあらかじめ、moodleで各ゼミのシラバスを見たうえで、相談会に来てもらい、ゼミに対する悩み・疑問等を質問してもらった。</li> <li>・ 各ゼミに所属する2年生（以下、代表学生）が、1年生からの質問に答え。円滑な相談対応を行うために、代表学生には、ゼミの概要説明を口頭で行ったうえで、1年生からの質問に答えてもらった。ゼミの概要説明はゼミで学ぶ内容・ゼミの形式・雰囲気を説明してもらった。</li> </ul>
<p><b>良かった点</b></p>	<p>計画を立てつつ、主体的に行動することが出来た。 理由)「〃〃月〃〃日までにこれを終わらせる。」など計画を立てて活動したため、想定外のトラブルがあった際も臨機応変対応することが出来た。</p>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートは客観的な意見を集約するのに効率的な方法であり、その意見をもとに複数の視点で分析や反省をすることが出来る。しかし、回答時間・場所を適切に用意できず、回答数が参加人数に対して少なかった。</li> <li>・ 対処方法としては、会場内でアンケートを答えさせるとアンケート数が増える可能性がある。</li> <li>・ 参加人数が例年に比べ、非常に少なかったので、教員やピア・サポーターからのゼミ相談会の告知をより発信していきたい。</li> <li>・ 相談会に参加していただく有志のゼミ生徒へのメールが、教員との連携がうまくいかなかったために、遅れてしまった。</li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を100点満点で評価してみましょう→(76.25)点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は、より多くの学生にゼミ相談会に参加してもらえるよう努めたい。</li> </ul> <p>現時点で考えられる対応は、主に以下の2つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教員への告知を徹底(今回のゼミ相談会では、こちらから告知の協力をあまり行わなかった。)</li> <li>② ピア・サポーター(経法)からの告知をより強化(ポスターやNスター以外の告知方法も検討)</li> </ol> <p>である。以上を踏まえて、より参加人数を増やせるよう努めていきたい。</p>

## No.2

<b>活動名称</b>	北星ピア・サポーターによる説明会		
<b>日時</b>	2025年 4月2日		
<b>場所</b>	A403 教室		
<b>対象者</b>	2025年度経済法学科新入生	<b>参加者数</b>	124名
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生に北星ピア・サポーターを知ってもらう。</li> <li>・ 新入生にそれぞれのコースの特徴を知ってもらう。</li> <li>・ 新入生に履修の仕組みについて理解してもらう。</li> <li>・ 新入生に大学のシステムや概要についての説明。</li> </ul>		
<b>準備</b>	<p>2024年</p> <p>12月7日、8日 キックオフ会</p> <p>12月12日 キックオフ内容共有会 今後の動き確認</p> <p>12月19日 経済法1年目会議</p> <p>12月24日 経済法学科1年目会議</p> <p>2025年</p> <p>1月30日 経済法学科1年目会議</p> <p>2月3日 経済法学科1年目会議</p> <p>2月10日 進捗報告会</p> <p>2月13日 第1回経済法学科リハーサル</p> <p>2月17日、18日 中間リハーサル</p> <p>2月21日 中間リハーサルを終えて今後の動き確認</p> <p>2月27日 経済法学科1年目会議</p> <p>3月6日 経済法学科1年目会議</p> <p>3月12日 第2回経済法学科リハーサル</p> <p>3月17日、18日 最終リハーサル</p> <p>3月23日 最終リハーサルを終えて、今後の展望</p> <p>3月24日 第3回経済法学科リハーサル</p> <p>3月31日 第4回経済法学科リハーサル</p> <p>4月1日 新入生オリエンテーションにて、宣伝</p>		
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生への大学生活を支援するため、大学のシステムについての説明や、北星ピア・サポーターについての説明を実施した。</li> <li>・ 経済法学科のコース説明や、将来の進路先などを2年目と一緒に説明をした。</li> </ul>		

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生説明会を作り上げた。</li> </ul> <p>理由) 全員が主体的に活動出来ていたのので、予定通りの新入生説明会を作り上げることが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長につながった。</li> </ul> <p>理由) 新入生説明会などの大きな企画は初めてではあったが、皆で協力しながら進められた。</p> <p>理由) 経済法学科のグランドルールである、全員が主体的に行動するという目的を皆達成することが出来たと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール管理ができるようになった。</li> </ul> <p>理由) 最初のほうはなかなかコミュニケーションが取れず、スケジュール管理をうまく出来ていなかったが、少しずつ出来るようになっていき、本番前にはしっかりとスケジュールを立てながら活動することが出来た。</p>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡が遅くなった。</li> </ul> <p>理由) 学科内での会議などを実施する際、前日に会議を行う旨の連絡をするなど、先輩方への連絡が遅くなってしまった。また、1年目間でも、連絡や共有が遅くなってしまい、結果的に連携が取れず会議やリハーサルが行えなかったことが多々あった。</p> <p>対処法) 毎日一回は teams を見る習慣をつける。</p> <p>そうすることで、円滑な連絡とコミュニケーションが取れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の変更が遅かった。</li> </ul> <p>理由) 直前で、スライドや台本を変えるなど、急に変更したところがあり、やってみたいという好奇心に負けて、無理やり詰め込んでしまい、最後に全体を通してのリハーサルが出来なかった。</p> <p>対処法) 大きな変更をする場合は、メンバーで話しあいをした上で決定する。最終リハーサル以降、大きな変更はしない。そうすることで、最後のリハーサルを最初から最後まで通すことができたり、不安要素が消えたりする。</p>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (85) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<p>今後は、集まる際には、都度連絡できるよう努めていきたい。</p> <p>また、先輩方へのスムーズな連絡を行うためにも、後輩や同期の間での報連相に関しても徹底していく。</p>

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/ 5 /22

<b>学科・係</b>	社会福祉学科、福祉臨床学科、福祉計画学科	
<b>メンバー</b>	1年目	川村小百合・砂川杏奈・田籠実々・鶴谷花恋・豊原佑衣・山口衣純
	2年目	阿部ののこ（計画）・大西小桜（臨床）・山崎日和香（計画）・吉田侑夏（臨床）
	アドバイザー	阿部かりん（臨床）・遠藤幸花（臨床）・斉藤弥沙紀（臨床）・白崎快（計画）・小岩大志（計画）
<b>目的・目標</b>	社会福祉学科のベースを作るために、コミュニケーションをとって主体的に行動する	
<b>活動概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科長顔合わせ</li> <li>・ ソーシャルワーク入門実習相談会</li> <li>・ 新入生説明会</li> <li>・ なんでも相談会</li> <li>・ カウンターシフト</li> </ul>	
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議の出席率が高く、欠席している人にも情報共有をしっかりと行えた</li> <li>・ 社会福祉学科の1期生として、経験談を新入生に伝えられた</li> <li>・ 事前に社福内でのマニュアルを共有し、スムーズに相談対応を行うことができた</li> <li>・ 社福特有の穏やかな雰囲気で作業を進めることができた</li> <li>・ ピアサポとして学科長との関係を新しく構築することができた</li> <li>・ 大人数での活動となったが、足並みを揃えて活動することができていた</li> </ul>	
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年目の人数が多かったため自己解決しようとし、2年目との情報共有が遅れた → 分からないことは先輩たちに聴く等して頼ることで、問題解決の効率をよくすることに加え、視野を広げるといった改善が考えられる。</li> </ul>	
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→（ 95 ）点	
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1期社会福祉学科ピア・サポーターとして活動した経験を活かし、新しい学科企画の開拓など 次の世代に引き継いで欲しい</li> <li>・ 日常的にコミュニケーションを図り、相談しやすい関係を構築する</li> </ul>	

## 年間スケジュール

<b>6月</b>	定例会参加 22日、23日：スタートアップ研修参加 15日：学科長顔合わせ
<b>7月</b>	特になし
<b>8月</b>	特になし
<b>9月</b>	26日：学科企画会議(臨床・計画)
<b>10月</b>	8日：実習コーディネーターとの打ち合わせ 10日：学科企画会議(臨床・計画) 17日：学科企画会議(臨床・計画) 25日：学科長との打ち合わせ
<b>11月</b>	特になし
<b>12月</b>	2日～23日：ソーシャルワーク入門実習相談会 7月、8日：キックオフ会参加 11日：第一回新入生説明会 MTG 16日：第二回新入生説明会 MTG 23日：第三回新入生説明会 MTG 25日：第四回新入生説明会 MTG
<b>1月</b>	14日：第五回新入生説明会 MTG 20日：第六回新入生説明会 MTG 31日：第七回新入生説明会 MTG
<b>2月</b>	8日：第八回新入生説明会 MTG 13日：学科内リハ (1回目) 14日：第九回新入生説明会 MTG 17日：中間リハーサル 25日：第十回新入生説明会 MTG 27日：学科内リハ (2回目)
<b>3月</b>	15日：学科内リハ (3回目) 17日：最終リハーサル 22日：第十一回新入生説明会 MTG 27日：学科内リハ (4回目)

<b>4月</b>	1日：第十二回新入生説明会 MTG 2日：新入生説明会 3日：なんでも相談会（1回目） 4日：なんでも相談会（2回目） 7日：なんでも相談会（3回目）
<b>5月</b>	特になし

No.1

<b>活動名称</b>	北星ピア・サポーターによる説明会		
<b>日時</b>	2025 年 4 月 2 日		
<b>場所</b>	A503		
<b>対象者</b>	2025 年度社会福祉学科入学者	<b>参加者数</b>	126 人
<b>目的</b>	新入生に自身の経験を話し、大学生活のイメージを持ってもらう。		
<b>準備</b>	<p>2025 年</p> <p>12 月 11 日：第一回新入生説明会 MTG  12 月 16 日：第二回新入生説明会 MTG  12 月 23 日：第三回新入生説明会 MTG  12 月 25 日：第四回新入生説明会 MTG</p> <p>1 月 14 日：第五回新入生説明会 MTG  1 月 20 日：第六回新入生説明会 MTG  1 月 31 日：第七回新入生説明会 MTG</p> <p>2 月 8 日：第八回新入生説明会 MTG  2 月 13 日：学科内リハ（1 回目）  2 月 14 日：第九回新入生説明会 MTG  2 月 17 日：中間リハーサル  2 月 25 日：第十回新入生説明会 MTG  2 月 27 日：学科内リハ（2 回目）</p> <p>3 月 15 日：学科内リハ（3 回目）  3 月 17 日：最終リハーサル  3 月 22 日：第十一回新入生説明会 MTG  3 月 27 日：学科内リハ（4 回目）</p> <p>4 月 1 日：第十二回新入生説明会 MTG  4 月 2 日：新入生説明会</p>		
<b>実施内容</b>	<p>2025 年 4 月 2 日：新入生説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を席に置いておき、入ってきた学生に資料がある席に座るよう誘導</li> <li>・A503 教室にて、パワーポイントで作成したスライドを用いて学科についての</li> </ul>		

	<p>説明を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明した内容は、北星ピア・サポーターについて、社会福祉学科の特徴、単位・科目、実習の流れ、時間割作成、事前登録、履修登録、履修登録修正期間・履修取消期間、講義、出欠、教室変更・休講・補講、成績、相談窓口、ラーニング・コモンズについてである</li> <li>説明会終了後は教室内を回り、随時質問を受け付けた</li> </ul>
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早い時期から準備を進められた</li> <li>仕事の役割分担をして、互いにフォローしあった</li> <li>議事録を活用してその日の目標を明確にしてから、計画的に会議を進めることができた</li> <li>頻繁に会議をし、情報共有をできた</li> <li>実習やその他の予定でそれぞれが忙しい中、会議をオンラインでも行い進めることができた</li> <li>スライドの変更と創意工夫を最後まで諦めずに行った</li> <li>全員が前に出て話し、全員で発表を作りあげることができた</li> <li>スケジュール共有アプリを使い、予定を組みやすいように工夫した</li> </ul>
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会までの細かいスケジュールを決めていなかった →全体で計画の練り直しを細かく行うことで、計画に沿ったスムーズな進行が可能となる</li> <li>最終リハが終わった後に大幅なスライド変更を行い、時間が足りなかった →他学科から得たことやリハ後のフィードバックを自学科に持ち寄ることができたがりハ後だと遅かったため、早めの共有や意見交換を行う</li> <li>当日の動きを細かく決められていなかった →早い段階から当日の動きを想定することで、リスクマネジメントやトラブル対応などを、中間リハ等でも実施できるようにする</li> <li>他学科の進捗状況を把握できていなかった →他学科のチャンネルを確認することで、他学科の進捗に合わせて自分たちの進捗を調整することができる</li> <li>2年目の先輩方への共有が遅れた →チャットやチャンネルを1年目・2年目で共有し、先輩との連携を早くする</li> <li>会議の時間が長引きすぎることがあった（最長6時間） →会議の時間配分を見直し、議題ごとに適切な時間を設定することで、集中力を保ち、時間を有効に使い効率的に進行したい</li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→（ 90 ）点
<b>展望</b>	今年度の反省を活かし次年度の新入生説明会で、後輩に積極的に働きかけ、早めの連携・情報共有を行い、全員で活動を作り上げていく意識を持とう！

## No.2

<b>活動名称</b>	ソーシャルワーク入門実習相談会		
<b>日時</b>	2024年12月2日～2024年12月23日		
<b>場所</b>	ラーニング・コモンズ		
<b>対象者</b>	ソーシャルワーク入門実習指導を履修している学生	<b>参加者数</b>	0人
<b>目的</b>	事前準備などについてすでに実習を終えた学生へ気軽に相談・質問できる場を設けることで、実習前の様々な不安等の解消に繋げる		
<b>準備</b>	<p>9月26日：学科企画会議(臨床・計画)</p> <p>10月8日：実習コーディネーターとの打ち合わせ</p> <p>10日：学科企画会議(臨床・計画)</p> <p>17日：学科企画会議(臨床・計画)</p> <p>25日：学科長との打ち合わせ</p>		
<b>実施内容</b>	<p>福祉計画学科・福祉臨床学科の北星ピア・サポーターがカウンター相談業務をしている時間帯に加え、火曜日・木曜日の昼休みに相談を受け付ける。主に、実習準備に関わるお悩み相談をする予定である。話す内容については、実習先などに不利益になる話はしないことを前提とする(例:「〇〇施設ってどんな感じですか?」などの質問については、教員に促すこととする)。また、こちらだけで判断・回答の出来ない相談内容や企画者たちが実習に行っていない種別に関する相談は、全て担当教員へ聞くように促し、その質問の仕方についての相談・サポートをする。</p>		
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の考えを教員に伝えることができた。</li> <li>・福祉実習相談室に宣伝用のQRコードを貼ることができた。(福祉実習相談室との連携)</li> </ul>		
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が来なかった。</li> <li>・宣伝を早めに行うべきだった。</li> </ul>		
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→( 60 )点		
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科長ともう少し早めに面談を行い、企画内容についての精度を上げるべきだった。</li> <li>・企画の宣伝を授業内で行い、企画の趣旨を自分たちの言葉で伝えることで、学生に参加を促す。</li> </ul>		

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/05/23

<b>学科名</b>	心理学科	
<b>メンバー</b>	1年目	内山佳子 早坂沙理奈 坂東冬夢
	2年目	川除拓夢 北島楓
	アドバイザー	成田歩未 山田杏樹
<b>目的・目標</b>	<p>より多くの学生を支援できるようにするために視野を広げる</p> <p>1 箇条：情報共有を怠るべからず</p> <p>2 箇条：事前の情報収集を怠るべからず</p> <p>3 箇条：企画の明確なゴールを設定すべし</p>	
<b>活動概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアサポによる心理学科悩み事アンケート調査 心理学科全学生を対象に、悩みの把握を目的とした簡単なアンケートを実施。説明後、3～5分で回答。結果は会議で集計し、特に悩みの多い内容を確認する。</li> <li>・ 心理学科なんでも相談会 Instagramの質問箱で相談を受け付け、できるだけ早く文面で返信。難しい場合は対面相談を案内。対面では自由に出入りできる形式で、複数のピアサポが対応。必要に応じて別の相談先を紹介。</li> <li>・ 心理学科ゼミ説明会 ピアサポが最初に全体の流れを説明し、各ゼミの代表学生がスライドでゼミ内容を紹介（1ゼミ5分）。心理臨床→心理科学の順で発表し、最後に質疑応答を実施。</li> <li>・ 心理学科新入生オリエンテーション・説明会 教室準備・受付・誘導を行い、グループ別にオリエンテーションを実施。休憩後、ピアサポが履修や学習支援に関する説明会を実施。発表者以外は教室内でサポートを行った。</li> </ul>	
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの活動においても役割分担がしっかりできていた。</li> <li>・ 全員が率先して意見を出し合っていたおかげで毎回良い会議ができた</li> </ul>	

<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終始目的の1つである情報共有ができていなかった部分があった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 全体的にチャットや対面でのやり取りをチャンネルに投稿して、誰もが状況を把握できるという環境を作れていなかった。会議をしたら議事録を作成して、チャンネルに投稿する。ということを徹底するとよい。</li> </ul> </li> <li>・ ほとんどの企画において初動が遅かった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ メールでのやりとりなどが多いとわかっていたので、もう少し日程に余裕をもたせてスケジュールを組むとよかった。</li> </ul> </li> </ul>
<b>評価</b>	今回の活動を100点満点で評価してみましょう→(80)点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科目標を逐一確認し企画が滞りなく進められるようにする</li> <li>・ 些細なことにおいても報告を怠らないようにする</li> <li>・ もう少し学科内での会議を増やす。対面での情報共有が大事。</li> </ul>

<b>年間スケジュール</b>	
<b>2024年6月</b>	6月14日 心理学科顔合わせ 6月28日 心理学科全学年対象アンケート調査 初回会議
<b>7月</b>	
<b>8月</b>	8月2日 学科長顔合わせ
<b>9月</b>	9月16日～9月22日 心理学科悩み事アンケート調査
<b>10月</b>	
<b>11月</b>	11月25日～11月29日 心理学科なんでも相談会 (インスタ)
<b>12月</b>	12月4日、12月6日 心理学科なんでも相談会 (対面) 12月23日 心理学科ゼミ説明会
<b>1月</b>	
<b>2月</b>	
<b>3月</b>	
<b>4月</b>	4月3日 心理学科新入生オリエンテーション・説明会
<b>5月</b>	

No.1

<b>活動名称</b>	ピアサポによる心理学科悩み事アンケート調査		
<b>日時</b>	2024年9月16日 ～ 2024年9月22日		
<b>場所</b>	Google フォーム		
<b>対象者</b>	心理学科全学年	<b>参加者数</b>	121名
<b>目的</b>	心理学科必修科目の担当教員の変更により、心理学科学生の需要が従来と変わっているため、改めて心理学科学生の需要を知る必要があると考えた。		
<b>準備</b>	<p>◎スケジュール</p> <p>6月28日：第1回全体打ち合わせ 企画内容の検討</p> <p>7月5日：第2回全体打ち合わせ 企画内容の検討、企画書作成、Google フォーム作成</p> <p>7月8日：企画書作成、Google フォーム作成</p> <p>7月12日：第3回全体打ち合わせ</p> <p>7月16日：Google フォーム作成</p> <p>7月19日：企画書作成</p> <p>7月23日：センター長に企画書を提出</p> <p>7月24日：学科長に企画書を提出</p> <p>8月2日：Google フォーム作成</p> <p>8月7日：第4回全体打ち合わせ、企画内容の検討</p> <p>8月15日：Google フォーム作成</p> <p>8月16日：企画書作成</p> <p>9月16日：心理学統計法授業内でアンケート調査実施、3～4年生に向けたメールの送信</p> <p>9月20日：心理的アセスメント授業内でアンケート調査実施</p> <p>9月23日：全体反省</p>		
<b>実施内容</b>	<p>心理学科の全学生を対象にアンケート調査を実施する、全体を通して10分以内に終わる内容にする（説明+3～5分程度の回答時間）。以下の流れで行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アンケート調査の目的を説明する</li> <li>2. アンケートに回答してもらう</li> </ol> <p>アンケート調査後、ピアサポ内の会議で結果の集計を行う。その際に、学生が特に悩みを感じている項目を抽出する。</p>		

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備段階で企画書作成班と Google フォーム作成班に分かれていたため、効率よく活動できていた</li> <li>・ 班で分かれていたが、進捗をお互い把握できるようにチャンネル上での連絡と、定期的な全体打ち合わせを実施していた</li> <li>・ 片方の班がうまくいかなかったときに進捗を把握できていたため、もう片方の2年目メンバーが手助けをできた</li> <li>・ 企画書作成、Google フォーム作成ともにより良いものを作ろうと何度も修正した</li> <li>・ 学科長や他の心理学科の教員に依頼したことで、その後の企画の依頼がスムーズになった</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本来予定していた実施期間より大幅に遅れてしまった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ センター長や学科長に提出した企画書に改善点やアドバイスをいただいたが、それを想定できていなかった。改善点やアドバイスをもらうことを前提に、日数的に余裕のあるスケジュールを立てる。(具体的には、メールを送信してからの返信をまち、その返信を受けて改善してまたメールを送信するまでに、1週間はかかると思った方が心的にもスケジュール的にも余裕がうまれる。)</li> </ul> </li> <li>・ 初回会議は早かったが、最初ゆとりを持ちすぎて毎回の会議の質をもっと高められた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 会議の時に、企画書を完成させる、Google フォームを完成させるなど、明確な目標をたてて会議を行うとよかった。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を100点満点で評価してみましょう→ (75) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にメールでのやりとりは時間がかかるためもう少し日程に余裕をもつと、やりとりもスムーズにいくし、焦ることが少ない。</li> <li>・ 毎回の会議で明確なゴール(目標)を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 持ち帰ってやることのあるならば、チャンネルを活用してToDoリストなどを作る。</li> </ul> </li> <li>・ 企画書、Google フォームの作成は1年目のスキルアップにもつながったため、2年目指導の下、どの企画でも共同作業が対面でできるとよい。</li> </ul>

<b>活動名称</b>	心理学科なんでも相談会		
<b>日時</b>	Instagram：2024年11月25日（月）～2024年11月29日（金） 対面：2024年12月4日（水）、12月6日（金）		
<b>場所</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Instagram質問箱機能</li> <li>対面：C500教室</li> </ul>		
<b>対象者</b>	心理学科全学年	<b>参加者数</b>	対面0名、インスタ1名
<b>目的</b>	学生の抱える悩みや不安を解消し、学生が今後の大学生活や将来に対し前向きな気持ちで向き合えるようにする。		
<b>準備</b>	<p>9月27日：学科全体会議（企画実施決定）</p> <p>10月3日：学科全体会議（企画の内容詰め、相談会班メンバー決定）</p> <p>10月7日：相談会班会議（今後の動き確認、役割分担）</p> <p>10月9日：相談会班会議（企画書修正作業）</p> <p>10月16日：相談会班会議（企画書の内容詰め、今後の動き確認）</p> <p>10月24日：学科全体会議（現状報告、今後の動き確認）</p> <p>10月30日：企画書最終版完成、告知チラシ完成</p> <p>10月30日：相談会班会議（今後の動き確認）</p> <p>10月31日：学習サポートセンター センター長に企画書送付</p> <p>11月1日：学科長に企画書送付</p> <p>11月5日：学科教員 N、学科教員 T に授業内告知依頼メール送信</p> <p>11月7日：学科全体会議（今後の動き確認、役割分担）</p> <p>11月13日：各ゼミで配布していただく告知チラシをメールボックスに投函</p> <p>11月15日：心理的アセスメントの時間に企画告知</p> <p>11月18日：心理学統計法の時間に企画告知、Instagramに企画告知ストーリー投稿</p>		
<b>実施内容</b>	<p>【Instagramを利用した非対面での相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>質問の募集にはInstagramのストーリーの質問箱機能を利用した。</li> <li>11月25日8時50分～29日12時の間で質問を募集し、それに対してピアサポ心理学科が回答を考え、25日・26日に寄せられたものは27日中か翌日までに、27日～29日に寄せられたものは29日中か12月2日までに広報係を通して質問者に返信を行うものとした。</li> <li>文面での回答が困難な場合はカウンターシフトや対面相談に切り替えるように誘導する方向にした。</li> <li>Instagramでの相談は、12月5日以降に相談を持ち越さないようにするために対面相談の前に募集を締め切った。</li> </ul>		

	<p>【対面での相談（C500 相談）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定した日時の内は自由に出入り可能とした。</li> <li>・ 常時 2、3 名のピアサポを配置し、相談者が訪れた際に対応するものとした。</li> <li>・ ピアサポのみでの対応が難しい場合は内容に見合った新たな相談先を勧める方向にした。</li> </ul>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インスタグラムに寄せられた質問への返答が、当初の予定通りの形で返信できた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 全員が率先して意見を出すことができた、時間通りに質問者に返信できていた</li> </ul> </li> <li>・ 出来る範囲での告知を行うことができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 無理に広い範囲で告知を行っても人は来ない、来てほしい人に向けた告知は行うことができた</li> </ul> </li> <li>・ 対面相談 2 日目では、1 日目の反省を活かし、インスタ上の告知を当日に行うことができた。</li> <li>・ スケジュール調整をきちんと行うことができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 日程を照らし合わせ、多くのピアサポが対応できる・多くの学生が来る時間帯に企画を行うことができたうえで、心理学科全体やデスクに協力を申請できた</li> </ul> </li> <li>・ 役割分担し、それぞれがきちんと遂行できていた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 告知ポスターや質問の返信などを行い、企画を成立させることができた</li> </ul> </li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Teams の確認を当たり前に行うことができず、活動に影響を与えてしまった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ (1)直接会うことができず、状況確認が遅れた、(2)問題の発見が遅れ、問題が生じた後に集まるという形になっていた、(3)結果本来消費するはずのなかった時間を使ってしまった</li> <li>→ 確認を毎日するという認識がどこかで薄れていた</li> </ul> </li> <li>・ 学生の需要が高い時期に企画を行うことが出来なかった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 悩みを抱えている人が分かりやすく多い時期に行うべきだった</li> <li>→ 学生に合わせた企画ができていなかった</li> <li>→ アンケート調査の結果をすぐに活かそうと企画を行ったことが良くなかった</li> </ul> </li> </ul>
評価	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 60 ) 点
展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当たり前のことを当たり前にするという認識を持ち、それを互いに確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 通知をきちんと設定し、確認を日常的に行う</li> </ul> </li> <li>・ 企画を行う際はタイミングをよく検討する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 4 月は新年度が始まる、7 月は試験が近い、など学生の需要に合うような機会を考える</li> </ul> </li> </ul>

<b>活動名称</b>	心理学科ゼミ説明会		
<b>日時</b>	2024年12月23日		
<b>場所</b>	A705 教室		
<b>対象者</b>	2025年度に専門演習Ⅰを履修する 心理学科生	<b>参加者数</b>	56人
<b>目的</b>	ゼミ選択の手助けを行うこと、ゼミ説明会をきっかけに学生がゼミの学びに興味・感心をもち、主体的にゼミ選択ができることを目指す。		
<b>準備</b>	<p>10月10日 会議（ゼミ説明会目的確認・企画実施内容・今後やること）</p> <p>10月11日 会議（役割分担・企画書作成）</p> <p>10月18日 企画書共有</p> <p>10月24日 現状把握会議</p> <p>会議（ゼミ説明会開催方法・ゼミ紹介スライド必須項目確定・今後のスケジュール）</p> <p>10月31日 学習サポートセンター センター長に企画書提出</p> <p>11月01日 学科長に企画書提出</p> <p>11月05日 学科教員 T・学科教員 N に告知依頼メール送信</p> <p>11月07日 会議（現時点でのタスクの整理）</p> <p>12月02日 Instagram にて告知文の投稿</p> <p>12月07日 学生への催促メール送信</p> <p>12月11日 ゼミ説明会発表者へのリハーサル等の確認メール送信</p> <p>12月23日 企画実施・ゼミ説明会資料添付メール送信</p>		
<b>実施内容</b>	<p>はじめに心理学科の北星ピア・サポーター（以下ピアサポ）がゼミ選考の日程やゼミの選び方についての説明をスライドにて行った。ピアサポの説明が終わった次に、2025年度に開講予定の各ゼミから1名ずつ（現在専門演習を履修している学生）、所属しているゼミの特色や学習内容などをスライドにて発表。</p> <p>最初にピアサポが5分間で説明会の流れを伝え、その後各ゼミの発表に移った。各ゼミの持ち時間は5分とし、心理臨床コースのゼミ（3つ）、心理科学コースのゼミ（4つ）の順で発表を行った。その後、心理科学コースの発表を行い、発表の後の残った時間で質疑応答を行った。</p>		

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアサポ内に同じゼミの人がいたのでたくさんの学生に声をかける必要があったがスムーズに進めることができた。</li> <li>・ 事前にインスタグラムの投稿で呼びかけていたこともあり、たくさんの参加者を募ることができた。</li> <li>・ 参加できなかった対象者に向けての配布資料作成など学生間のゼミに対する知識の差をなくすような準備ができた。</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備の初動が遅かった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 企画書の完成は早かったが、来年度開講されるゼミの確認や、当日発表してもらおうゼミ生との連絡がうまく取れているのか把握できず、タイムスケジュールの調整などが遅くなってしまった。LINE などの方が連絡はとりやすいだろうが、LINE だと情報共有がうまくできていないと、全員が現状把握できない。手間かもしれないが、全員が確認できるようにメールでやりとりを行う。</li> </ul> </li> <li>・ 発表スライドに書いてほしいことを明記すると共にテンプレをしっかり示すべきだった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 当日ゼミ生が発表をしてくれるゼミは良かったが、当日ゼミ生が来れなかったゼミは質問などをその場で受け付けることができなかったので、テンプレを用意しておくとうよかった。</li> </ul> </li> <li>・ 発表する人がほとんど友人だったためメールと LINE の区別がつきづらかった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 当日使う資料や、発表者がどうなっているのか現状把握が難しいことが多々あったため、連絡ツールをしっかりと決めておくべきだった。</li> </ul> </li> <li>・ チャネルをもっと動かしてピアサポ間の連絡を頻繁にするべきだった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 対面での集まりやチャットでのやりとりはあったが、現状把握の時にどこでどの話をしたのかわからなくなりうまく状況整理ができなかったため、チャットを活用して企画を進めていくべきだった。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 78 ) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早めに各ゼミ生に声をかけて余裕をもって準備できるようにする。</li> <li>・ 発表スライドに記載してほしいもののテンプレは早めに発表者に伝える。</li> <li>・ 必ず毎日 Teams を確認・決定事項なども記載、このあたり前を徹底する。</li> <li>・ 齟齬が生じた場合には、なるべく対面で問題を解決するようにする。</li> </ul>

<b>活動名称</b>	心理学科新入生オリエンテーション・説明会		
<b>日時</b>	2025年4月3日 9:30~13:30		
<b>場所</b>	C400 教室		
<b>対象者</b>	心理学科新1年生	<b>参加者数</b>	86名
<b>目的</b>	新生活を始める新入生に学校生活に関わる様々な情報を提供し、より良い学校生活を送ってもらえるように準備、サポートをする		
<b>準備</b>	<p>12月12日：第1回打ち合わせ（説明内容決め・担当部分決め・今後のスケジュール決め）</p> <p>12月16日：第2回打ち合わせ（スライド内容・配布資料）</p> <p>12月17日：第3回打ち合わせ（スライド内容・オリエンテーション日程と心理学科オリターとの連携について）</p> <p>1月15日：第4回打ち合わせ（スライドデザインとフォント決め）</p> <p>2月4日：第5回打ち合わせ オンライン実施（各々が作成したスライド内容確認）</p> <p>2月6日：第6回打ち合わせ オンライン実施（各々が作成したスライド内容確認）</p> <p>2月17日：第7回打ち合わせ（中間リハに向けての準備・台本読み合わせ）</p> <p>2月18日：第8回打ち合わせ（中間リハ反省・学科長への連絡）</p> <p>2月25日：学科内リハーサル（進捗報告）</p> <p>3月3日：第1回オリターとの打ち合わせ（ピアサポ・オリターの進捗報告、今後の予定決め）</p> <p>3月5日：第9回打ちあわせ オンライン実施（各々が作成したスライド内容確認）</p> <p>3月17日：第10回打ち合わせ（最終リハに向けての準備・台本読み合わせ）</p> <p>3月24日：第2回オリターとの打ち合わせ（ピアサポ・オリターの進捗報告、確認事項の共有）</p> <p>4月1日：オリターと共に、新入生に4月3日の心理学科オリエンテーションの告知</p>		

<p><b>実施内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーションで使用する教室の配置や、黒板の飾りつけを行った。</li> <li>・ 新入生の受付を行い、教室へ誘導した。</li> <li>・ 時間通り 9 時半からオリター主催のオリエンテーションを開始した。</li> <li>・ 事前に決めたグループ・教室でオリエンテーション実施。</li> <li>・ オリエンテーション終了後、最初に集まった教室に集合し、15 分の休憩に入った。</li> <li>・ 休憩後、ピアサポ主催の新入生説明会を開始した。</li> <li>・ 説明会実施（よく利用するサイト、講義、出欠・休講・補講、単位、科目、成績、シラバス、事前登録、履修登録、資格、ラーニング・コモンズについて）</li> <li>・ 発表者がスライド送りと発表を同時進行で行った。</li> <li>・ 発表者以外のピアサポは教室内の見回りを行った。</li> </ul>
<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリター、先生方との連携が取れていた</li> <li>・ オリエンテーションから説明会の流れで、新入生が説明会に参加しやすいという狙い通りの状況を作り出せた（オリエンテーションで友達になった人と一緒に説明会に参加）</li> <li>・ 咄嗟の情報共有から訂正など、リアルタイムで説明会を作り上げていけた</li> <li>・ 本番落ち着いて出来ていた</li> <li>・ 始動してすぐに、2 年目からの情報共有が出来ていた</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 年目からの情報共有が少なかったため、2 年目やがからのアドバイスを受ける機会が少なくなってしまった。（2 年目からの情報共有は出来たが、全員で一緒にやっていった感があまり無かった） <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 1 年目チャットでの作業・会議が多くなってしまい、議事録をチャンネルに投稿することも少なかった。会議や作業をしたら、2 年目や教職員が確認できるようにチャンネル上で作業する。</li> </ul> </li> <li>・ 学科チャンネルがあまり動いていなかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 1 つ目の改善点と同様にチャットだけで作業することが多かったため、進捗報告も兼ねてチャンネル上で作業するとよい。</li> </ul> </li> <li>・ 実践練習がもう少しできていたら良かった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 1 年目の予定がなかなか合わず、実践練習の機会が少なかった。展望部分にも書いたが日程調整を事前にしておき、集まる日を予め決めておくと作業がはかどりやすい。</li> </ul> </li> <li>・ Teams、LINE、その他連絡ツールをほとんど確認できなかったため、1 日の中で連絡ツールを確認する時間をとることをすると良かった</li> <li>・ チャットやオンラインの話し合いだけでなく、対面での話し合いをもっとやれたら良かった</li> <li>・ 今回は項目ごとに担当を決め、スライド作成から発表までその担当者が担ったため、他の人の担当部分の確認がおろそかになってしまった。</li> </ul>

<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (72) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度の 1 年目がスライド作成しやすいよう、事前登録や時間割、休講補講画面のスクリーンショットなどの材料を用意する (材料は、学科 USB に保存済み 2025/4/25)</li> <li>・ 打ち合わせや集まりがあったら、議事録の共有をチャンネルにすることを徹底する</li> <li>・ 調整さんなど日程調整アプリなどをもっと用いて、日程調整を行い対面で集まる機会を設ける <ul style="list-style-type: none"> <li>→ バイトしている人がいる場合は、都度都度日程調整を行うのではなく、この曜日に集まる、この日に集まると事前に決めておく作業がはかどりやすいし、日程調整もしやすい</li> </ul> </li> <li>・ 自分が担当している部分だけではなく、他の人の担当部分もしっかり確認する <ul style="list-style-type: none"> <li>→ リハーサル、オリエンテーション当日は全員が揃う確証はない。全体的に発表内容を把握しておく。</li> </ul> </li> </ul>

## 北星ピア・サポーター活動報告書

提出日 2025/05/22

<b>学科・係</b>	短期大学部英文学科	
<b>メンバー</b>	1年目	
	2年目	武藤綸花 中村恵和
	アドバイザー	山田楓 高野大和
<b>目的・目標</b>	ピアサポ短英の最後の活動の年に、できる範囲での企画やスキルアップを行う	
<b>活動概要</b>	学生の相談に対応するカウンターシフト	
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短大英文ピア・サポーター最後の年に自分たちができることは何かを考え、行動に移すことができた</li> <li>・ 他のメンバーが苦手なところを自分たちが得意なところで補い合うことができた</li> </ul>	
<b>改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何かを決める際に決断に時間がかかることがあった</li> <li>・ 会議の際に遅れる旨の連絡をすることが少なかった</li> </ul>	
<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 70 ) 点	
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決断や意見を求められたときはできるだけ早く回答する</li> <li>・ 学科内での報連相を徹底して行う</li> </ul>	

## 年間スケジュール

6月	
7月	25日 学科長顔合わせ
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	
4月	
5月	

No.1

<b>活動名称</b>	編入学試験対策冊子（企画断念）		
<b>日時</b>	年 月 日 ～ 年 月 日		
<b>場所</b>			
<b>対象者</b>	短期大学部英文学科 1 年生	<b>参加者数</b>	
<b>目的</b>	2 年生になる前に、編入についての情報や編入とは何かについて知ってもらう 今年（2024 年）で短大が無くなってしまいうため、短英の 1 年生に少しでの多くの情報を共有する		
<b>準備</b>	4 月 22 日 何の企画をしたいかについて話し合い 4 月 30 日 短大英文ピアサポアンケートの確認 5 月 13 日 短英企画アンケートについて 7 月 4 日 企画書作成 7 月 18 日 企画書の編集 8 月 29 日 企画書添削 9 月 20 日 編入先調査についての Google フォーム作成 9 月 23 日 編入先調査についての Google フォーム添削 10 月 31 日 企画について改めて話し合い、編入学対策冊子作成に変更 11 月 1 日 編入学試験対策冊子についての企画書の添削 11 月 14 日 センター長へのメール添削 11 月 21 日 企画の日程、学科長へのメール文完成 11 月 21 日 センター長へメール送信 11 月 28 日 学科長へのメール添削 12 月 3 日 学科長へメール送信 12 月 17 日 北星ピア・サポーター短期大学部大学編入者アンケートについての Google フォーム作成 12 月 17 日 学科長への返信内容添削 1 月 21 日 改めて企画をどうするか会議→日程が厳しいことと、お互いのスケジュールなどの関係で企画は中止に		
<b>実施内容</b>	最初は座談会のような編入学についての話し合える場を作ろうと考えていたが、ピアサポメンバーが活動できる期間が少なかったため、「編入学試験対策冊子」に変更した。しかしながら、冊子を作成する間もうまく活動や会議ができず、企画を断念した。		

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 編入を希望している短大英文学生のことを考えながら多角的に意見を出すことができた</li> <li>・ 短大英文としての久しぶりの企画で、現役もアドバイザーも皆熱意をもって何ができるかを考え、実行に向けて取り組んでくれた</li> <li>・ お互いのスケジュール管理ができたこと</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備のための会議に時間をかけすぎてしまい、一つ一つの行動が遅いことがあった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ お互いのスケジュールを把握し、期限を決めて活動を行う</li> </ul> </li> <li>・ 会議を始めた時期が少し遅かった</li> <li>・ 定期的に進捗報告や、会議日程を決めるべき</li> <li>・ 役割分担をしたが、うまく活用することが出来なかったこと <ul style="list-style-type: none"> <li>→ こまめに進捗報告を行い、お互いに困っていることや担当できる部分話し合う</li> </ul> </li> <li>・ 忙しい時期が被ってしまい上手く活動することが出来なかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ スケジュール管理を行い、いつなら動けそうかを考えるべき</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 40 ) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つの会議で複数の議題について話し合い、意思決定はできるだけ早めに行う</li> <li>・ アイデアが思いついたことがあればできるだけ早く全員に共有する</li> </ul>

## イベント参加

北星ピア・サポーター  
イベント参加報告書

提出日 (2025/5/22)

<b>イベント名称</b>	ぴあのわ 2024in 大阪
<b>開催日時</b>	2024年11月1日 ~2024年11月3日
<b>開催場所</b>	大阪経済大学
<b>参加メンバー</b>	アドバイザー：正木瑛翔（経済法学科） 2年目：佐藤涼美（英文学科）、北島楓（心理学科）、吉田侑夏（福祉臨床学科） 1年目：藤井利帆（英文学科）
<b>準備</b>	<p>全体打ち合わせ(計3回) (参加メンバー全員)</p> <p>7月24日(水) 1講目：「ぴあのわ 2024in 大阪」について概要説明 7月31日(水) 昼休み：学生セッション内容仮決定 8月 2日(金) 3講目：学生セッション内容確定</p> <p>ポスター作成 (計8回) (A、E、*F)</p> <p>9月18日(水) 3講目：ポスターの内容や構成についての打ち合わせ 9月25日(水) 3講目：情報収集、作成開始 10月2日(水) 3講目：作成 10月9日(水) 3講目：作成、ぴあのわ参加メンバーと教職員に共有・添削依頼 10月16日(水) 3講目：修正、再度共有・添削 10月23日(水) 3講目：修正 10月25日(金) 3講目、4講目：印刷の依頼、修正のため印刷依頼の取消 10月28日(月) 3講目：印刷依頼、4講目：完成 *Fはデザインアドバイザーとしてポスター作成にのみ参加</p> <p>学生セッション準備 (計4回) (参加メンバー全員)</p> <p>9月28日(土) 打ち合わせ① 10月16日(水) 3講目 打ち合わせ② 10月22日(火) 3限 打ち合わせ③、1回目リハ (A、C、D提供者) 10月24日(木) 昼休み 2回目リハ (D、E、B)</p>

<p style="text-align: center;"><b>参加内容</b></p>	<p>【0日目 11月1日】 おもてなしツアー 「ほな、いこか！～大阪巡る day！～」京都外国語大学岸岡ゼミ、大阪経済大学 DOG s コラボ企画 12:00～12:30 受付 12:30～13:00 説明 13:00～17:00 開始 大阪経済大学→大阪梅田間 18:00～ 懇親会 ※希望者のみ</p> <p>【1日目 11月2日】 12:30～13:00 受付 13:00～13:30 開会式 13:30～14:00 アイスブレイク 14:15～15:15 分科会（教職員セッション） 15:30～16:30 分科会（学生セッション1） 16:45～17:45 分科会（学生セッション2） 18:00～20:00 情報交換会</p> <p>【2日目 11月3日】 9:00～ 集合 9:00～9:30 各大学によるポスター発表（活動報告会）準備 9:30～11:30 各大学によるポスター発表（活動報告会）本番 11:30～12:30 リフレクション 12:40～13:00 閉会式</p>
<p style="text-align: center;"><b>感想</b></p>	<p>A：ぴあのわは3回目、学外研修は4回目となった今回の研修では、3つの目標を定めた。①教職員・学生セッションでの学びを吸収し、今後活かせることをイメージすること。②今まで出会った他団体サポーターとの出来事共有を行い、仲間として繋がっていることの再認識。③後輩の学びの促進と助長。この3つを大切にしながら参加した。</p> <p>①の目標達成に向け、教職員セッションでは、「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」について学んだ。無意識の偏見と呼ばれているように、偏見は、誰もが自覚していなくても感じているもので、それは当たり前であることを知った。例えば、怖そうな人、自分が苦手そうな人のように「～そうな」にあたる部分が偏見になる。例のようなネガティブな偏見を感じた場合に、悪い言動や悪い行動に繋がらないことが大切だと学ぶことができた。</p> <p>今後の人生においても人やモノ、状況に偏見を感じることもあると思う。その際には、「決めつけ」をせずに、相手に率直に伝えるコミュニケーションをする</p>

必要を心掛けていきたい。

学生セッションでは、「Notion」というメモとタスク管理が同時にできるアプリケーションを用いて、旅行マップを作成するワークショップに参加した。

「Notion」を使用した感想は、計算や URL の挿入、様々なリストの作成がスマホ画面のタップ一つで行うことができる。しかし、思い通りの場所に挿入が上手くいかないこともあり操作には慣れが必要だと感じた。セッションは、個人で旅行マップを作成し、出来上がったものを周囲の人と共有する。個人的には、旅行マップを共有してからそれ以上の話を広げられなかったことが反省点。「Notion」に触れて以降、プライベートの遊びの計画を練る際に使用することがあるので、学んだ知識を活かすことはできている。①の総合的な目標達成度は、70点といったところだ。

続いて目標②では、懇親会やポスターセッションの機会を通して、たくさんのサポーターと交流することができた。3度目のびあのお、4度目の学外研修となると、知っている顔がたくさんいた。その人たちと交流を行い、前回、顔を合わせたときから組織にどんな成長があったのかを聞いた。組織メンバーが増えたことや活動が活発になったという報告を聞くことができ、とても嬉しかった。さらに会話を深め、面接などの新メンバー採用や教職員との関わりについての悩みを聞き、北星ピア・サポーターで実施していることや自分なりのアドバイスを行った。交流という点において、初対面、再会のサポーターの双方とも深く会話のできたので、目標②の到達度は満点である。

目標③は、アドバイザーという立場にあることや学外研修に参加することによって得ることができる成長や楽しみを後輩にも知って欲しかったことから定めた。ポスター制作活動で、準備から関わりがあった後輩もいた。後輩の吸収したいという欲には驚かされながら迎えた本イベントだが、北星ピア・サポーターが提供した学生セッションも準備当初からやりたいと話していた「ピাতーク！」が実現でき、上手にセッションを回している後輩たちを見て、成長を感じた。また、ポスターセッションで発表の機会をあえて1年目の後輩に与えてみたが、堂々と他大学の人に説明していた。成長と捉え、挑戦している後輩の姿は、この研修に参加する前に比べ、一回りも二回りも大きくなってみえたので、目標③の到達点は満点である。

D：学外での研修は初参加となった今回の研修では、研修全体を通して、積極的な情報交換を行うために、「交流」を主体とした目標を設定した。セッション中や、待ち時間などで近くに座っていた参加者など、様々な場面で自ら声を掛けてコミュニケーションを取ることを意識した。情報交換を積極的に行った理由として、前回のびあのおあでの反省が挙げられる。昨年度北星学園大学が主催校としてびあのおを実施した際に、びあのおがどのような研修なのか、なぜ開催するのかなど、自分自身の中で理解を深めることができないまま研修が

終わり、他の北星ピア・サポーターと話す中で、自分は知ることができなかった情報を聞く機会が多く、せっかくの機会を逃してしまったと感じた。この体験から、今回は自らコミュニケーションを取ることを意識し、積極的に情報交換をすることを意識した。この意識により、ただ情報交換をして終わるのではなく、会話のみでなく、自身の視野の広がりや前回より成長も感じることができた。

また、昨年度のぴあのは本学が主催校であったため、運営の一環としてアドバイザーの先輩や後輩にサポートしてもらいながら、参加者数百人の最初の全体交流となるアイスブレイクの進行を担当した。この経験から、今回のぴあのは北星学園大学の学生セッション「ピアトーク！」の進行を担当させてもらった。これは、昨年度の「反省」よりも「成長」を意識して臨んだ。本セッションは、1グループ4～5人、計3グループで、各グループでお題カードを引き、お題に沿った話をしてもらい、最後にどのお題カードが一番盛り上がったかを全体で共有する、といった内容のセッションである。グループによって盛り上がり方が異なるため、話を広げるサポートをしたり、積極的に質問をしたりするなど、参加者にとって有意義な時間となるように立ち回ることを意識した。また、進行役である自分が自己開示やリアクション、全体への投げかけをすることで、話しやすい雰囲気を作り、置いてけぼりになる人がいないようにトークをすることも意識した。これは前回のアイスブレイク進行よりも相手にする人数が少なく、より近い距離感で対話ができることができたため、セッション提供が決まった時点で自分の中で意識すると決めていたことであった。セッション終了後は参加者から「楽しかった」「進行が面白かった」などの感想を直接伝えてもらえる時間もあり、自分自身の励みになった。

C：私は、北星ピア・サポーターに対する自分自身のモチベーションが低下していたため、学外研修で他大学の学生から刺激をもらうことで、北星ピア・サポーターの活動も再び前向きな気持ちで取り組みたいと思い、参加を決意した。それに伴い、今回のぴあのは、他大学の学生との交流を通して、北星ピア・サポーターの活動に活かせる情報を得ることと、自分自身のモチベーションアップを目標にした。

情報交換会では、「大人数の団体と少人数の団体の活動内容やメリット・デメリット」に注目して参加したところ、大人数の団体はメンバーが多い分、活動の幅が広がる一方で、メンバー間の意思疎通や情報共有が困難であり、少人数の団体はメンバー間の連携が取れているため、会議等のスケジュールが立てやすい一方で、活動の規模が限られてしまうことや一人一人の負担が大きくなるという課題がある。情報交換会で他団体の紹介を受けて、北星ピア・サポーターの規模感は、大きすぎず小さすぎずで両方のメリットが見込められると感じた。また、両方の要素を持っているからこそ、メンバー間の活動量の差などの

問題を双方からの自己開示の機会を設けることで、補完し合っていく必要がある。「ピアトーク！」では、共感をねらいとして企画したが、参加した自分自身も悩みや不安が自団体のみに生まれるものでなく、他団体でも同じ悩みや不安がみられることが分かった。また、「ピアトーク！」内で一番印象に残っているのは、指示を受ける側のメンバーの素直な意見を聞くことができたことである。自分は自団体では三役で、どちらかという指示を出す側だったので、支持を受け取る側の意見を取り入れたいと考えていたけど、関係性がある程度築かれた自団体のメンバーから本音を聞くのが難しいと感じていた。そのため、「ピアトーク！」で他団体のメンバーではあるものの、求めていた意見を聞くことができてよかった。

また、今回のぴあのわは大阪経済大学が主催で、DOGsのメンバーが全員参加していた。その中には、もちろんモチベーションの高いメンバーと低いメンバーが混在しており、活動意欲の高いメンバーが集まる傾向にある学外研修だからこそ、モチベーションの低いメンバーの様子が特に目に留まった。各セッションの参加態度や自由時間の過ごし方などで悪目立ちしており、それを見た瞬間に「北星ピア・サポーターが主催のぴあのわも、モチベーションの低いメンバーが悪目立ちしていたんだな～」と感じた。1年越しに、前回のぴあのわの反省ができた。今回のぴあのわでは、他大学の情報を得て、自身のモチベーションにつながった。それに加えて、自団体の状態を客観的に見ることができた。

B：教職員セッションでは大阪経済大学の職員さんが実践しているメンター制度について学ぶことができた。団体の三役として、2年目としてどんなサポートや働きかけができるのか、自分の選択肢が増えた。また、効果的なアドバイスの内容についてはジョハリの窓の右上、盲点の窓（自分は気づいていないけれど周囲は知っていること）を見つけて伝えてあげられると良いことなど、学術的な観点からも学べた。グループワークでは昨年度自分の企画したセッションに参加してくれた学生と同じグループになり、少し思い出話も交えながら良い雰囲気でした。

学生セッションのピアトーク！では、急遽自身の地元の話を1分ちょうどですることになったが、Dの協力もあって楽しみながら1分に収めることができた。各グループの話を聞いていて気づいたことは、個人的に北星ピア・サポーターの団体内の課題に目が行きがちだが、他団体は一般学生や学外に向けた広報や、企画に悩みがあることだ。北星ピア・サポーターのアドバンテージである活動拠点があること、教職員のサポート体制が整っていること、を活かして一般学生も交えたスキルアップ企画や学習支援企画をより活発にして、他団体に追いつきたい。

今回のぴあのわ参加ですぐ取り入れたのはDOGs、関西の特徴は挨拶だけで終わらないところである。挨拶の後、ほとんどの人が雑談や質問をして繋げて

くれるのが個人的に嬉しかったため、私もくどくならない程度に雑談繋げていこうかなと思って意識し始めた。

E：ぴあのわのお知らせを聞いたときは北星ピア・サポーターに所属して2か月ほどで、「成長したい！」という勢いで参加を決意した。北星からの参加メンバーが私以外全員三役であったため、初めはとても緊張していたが、その分学ぶことも多く、実りある研修になった。参加前の準備では、2022年度・2023年度のぴあのわに参加され、前副リーダーのAさん・デザインが得意なFさんと一緒に2日目のポスターセッションで使用するポスター制作を行った。最初のうちは、まだ知識も浅く経験も少ない後輩の私に何ができるのだろうと感じていた。しかし、学外に北星ピア・サポーターを紹介するというだけあり、お二人のポスターへの思いが熱く、沢山刺激を受け、次第に、「自分ももっと頑張りたい」という責任感が生まれていった。先輩方のピア・サポートに対する姿勢を間近で見て学ぶことができたため、準備段階から参加してよかったと感じていた。

今回私はポスターセッションに向けた1分PRを担当した。私はもともと人前で話すことに苦手意識があり、この1分PRは自分にとっての試練であったが、だからこそ成長したいと考え挑戦した。1分PRは、他大学・他団体に北星ピア・サポーターを知ってもらえるきっかけとなるが、自団体とは全く異なる団体のメンバーにわかりやすく伝えるということは簡単なことではないため、どうすれば印象に残るかを意識して内容を考えた。実際当日は約300名に及ぶ他団体のピア・サポーター、教職員を前にしてPRをしたが、案外堂々と話すことができ自信になった。

今回のぴあのわは、自団体を客観視するきっかけになった。そのうえで、特に強く感じたことを3つ挙げると、1つ目に、北星ピア・サポーターの特徴として、良く悪くも学科の活動が中心だということである。他団体は、学科という枠組みなしに活動している団体がほとんどであり、企画をする際はその企画に特化したメンバーを集って活動している団体もあった。学科という枠組みがあることで各学科が必要としているピア・サポートに力を入れることができるのは北星ピア・サポーターの強みでもあるが、学科での繋がりが強くなったうえで、今後はやりたいメンバーがやりたい企画を自由に行える環境があっても良いのではないかと思った。2つ目は、他団体のモチベーションの高さである。学生セッションや教職員セッションに参加した際の熱心にメモを取る姿勢や、ポスターセッション後のリフレクションの時間には「どのポスターが魅力的であったか」について聞きまわり、次年度の参考にしようとしている学生がいた。他団体のピア・サポートへの熱意を見て、私自身のモチベーションも高まった。3つ目に、コミュニケーション能力の高さである。他団体の方々は、自分の考えをしっかり持っていて、それを他者にわかりやすく伝えていた。また、相手

	<p>の考えをよく聞く傾聴力も兼ね備えていたため、質問した際にはそれ以上の回答が返ってきて感動した。</p> <p>準備から研修当日まで様々なことに挑戦させていただけて、成長を実感できた。今後も向上心を持って活動し、個人としてもピアサポ全体としても成長していきたい。</p>
<p style="text-align: center;"><b>展望</b></p>	<p>A：今回の学外研修は、参加報告も定例会で実施したことから、学外研修の魅力をメンバー全体に伝えることができた。そのため、学外研修に参加し、他大学との交流による学びを吸収したいというメンバーが増えること、他大学とのつながりを活かしながら活動できることに後輩達には、期待している。今回の研修も、他大学にアドバイスをを行うことが多かった。採用活動に悩んでいる団体が多い印象だったので、総務人事係に採用活動について、どんな流れで準備しているのかの知識を聞いておくと、より具体的なアドバイスができるかなと思った。三役だったという立場上のものもあるかもしれないが、採用活動、研修、広報についての活動の内容を少し把握しておくと、他大学とは深い会話に繋げることができると思う。</p> <p>D：本学の学生セッション「ピアトーク！」では、当初アイスブレイクにおいて、全国各地から集まる参加者が地元のお菓子を持ち寄り、各グループ内で1分間スピーチをしてもらう予定であった。しかし、事前の告知文が不明瞭であったために上手く意図が伝わらず、お菓子を持参した人がいなかった。急遽アイスブレイクの内容を「地元自慢」に変更し、当初の予定と同様に自身の地元の自慢できることについてスピーチをしてもらった。今回の研修に限らないが、こちらが意図していることを文章で上手く相手に伝えるためにも、具体性があり、誰が読んでも想像できる告知文の作成が求められると感じた。加えて、急な変更にも対応できる発想力も必要だと感じた。</p> <p>実際に研修に参加したメンバーはその場の雰囲気や学びを得ているが、研修に参加しなかったメンバーに学びを伝えることの難しさを感じた。今回は定例会において参加報告を行ったが、もう少し緩い雰囲気での報告のほうが、他メンバーも興味を持ちやすかったのではないかと個人的に感じたため、参加報告についても少し工夫が必要なのではないかと思った。</p> <p>C：前回のぴあのわに参加した際に交流した他団体のメンバーの幅が少なかったことが反省点だった。幅が少ないというのは数個の団体のメンバーとしか交流していなかったということである。そのため、個人的に今回は“つながり”という部分が少なかった気がする。一緒に参加したメンバーは強い“つながり”を持ったメンバーもいて情報共有等の質が自分よりも高かっただろうと感じた。学外研修の参加態度として、次につながる交流・人脈づくりを意識して参加する必要があると思った。</p>

B: 今回の学外研修においては、活動報告書の提出に加え、定例会内における発表も実施することで、学びを自団体へ還元するという学外研修の目的が、従来よりも改善されたと感じている。

しかしながら、発表が一方的な報告に留まり、参加者との双方向的な共有や継続的な取り組みに発展させることができなかつた点については課題として残った。今後は、ぴあのわで得た学びを基に、定例会内でスキルアップを目的とした企画を実施したり、グループディスカッションの時間を設けたりするなど、メンバー全体での学びに繋がられるよう工夫していきたい。また、学外研修を通じてさまざまな大学・団体と交流する機会があったものの、それらが個人的な交流にとどまり、北星ピア・サポーター全体としての繋がりへと発展させることができなかつた点も反省材料である。今後は、研修後に北星ピア・サポーターの公式 Instagram にて報告を投稿する際、他団体との継続的な関係構築を目指し、DM 等を通じたやり取りも検討していきたい。なお、個人的な今後の展望としては、ぴあのわ 2025 においても学生セッションの企画・運営に携わり、3 年連続の参加を目指していく所存である。

E: 今回は研修後にメンバー全員での振り返りを行うことができなかつたため、次回からは学外研修から帰ったらすぐに振り返りを行いたい。そうすることで、学外研修に参加していないメンバーにも研修で学んだことを還元できる。また、学外研修で他団体から学んだことを今後のピアサポ活動の中で実践することができる。

初めてぴあのわを経験しとても良い経験になったため、より多くの北星ピア・サポーターにこの良い思いを味わってもらいたい。金銭面やスケジュールの都合上、学外まで足を運ぶことは難しいというメンバーもいると思うが、これらは北星で開催することで解決できると思う。今回私は参加者という立場だったが、「自分が提供する立場だったらこうしたい」という思いも芽生えたため、もし今後北星学園大学でも何か研修を開催する機会があるとしたら、その時はぜひ良いものにしたい。

北星ピア・サポーター  
イベント参加報告書

提出日 (2025/5/20)

イベント名称	日本ピア・サポート学会第22回北海道研究大会
開催日時	2024年 11月 3日
開催場所	札幌創成高校
参加メンバー	戸沼祐水 (経営情報学科)
準備	参加メンバー1人のため教職員と打ち合わせを実施
参加内容	<ul style="list-style-type: none"><li>ピアサポートの概要について</li><li>価値観に関するカードゲーム</li></ul>
感想	<p>ピアサポートの概要について →この説明で特に印象的だった内容が「ピアサポートは学生に対して提供するだけでなく、自分たちに対して行うことも含まれる」というもの。自分の環境では、自学科の同学年が所属していなかったり、係活動を行う上でも相手の都合により1人で活動することが多くなったり、誰かに頼ることができない体制となっていた。この結果、活動することがつらいと感じる時期が出てきてしまっていた。自学科でなくても頼れる人がいる、リーダーだから頑張らなくてはいけないという認識を改めるいい機会となった。現在の北星ピア・サポーターでは、リーダーなど、一部の人に任せておけばいいといった認識が少なからずあると感じるため、この認識をもっと広めていければ良いなと感じた。</p> <p>価値観に関するカードゲーム →最初に数枚カードが配られる。ゲームがスタートしたら山札か場に捨ててあるカード1枚を引き、お題に対して自分の価値観に合うカードを手元に残し、1枚捨てる。この方法で山札がなくなるまでカードを引いて、捨てることを続ける。自分が捨てたカードを次の番の人が持っていく場面が何回かあり、自分の価値観と相手の価値観が異なるということを実感した。行うタイミングによっては自分の大切にしたいものが変化している可能性があり、何回か行うことによって自分の変化を感じることができるゲームであると実感した。</p>
展望	今回の研修は1人での参加となってしまった。学外研修は普段関わりのない人とかかわるチャンスであったり、新たな視点を獲得したりするチャンスであると考えられる。そのため参加することを決定した人が他の人を誘うなど、より多くの人に参加し、有意義な時間とすることができる機会としたい。

北星ピア・サポーター  
イベント参加報告書

提出日 (2025/5/15)

<b>イベント名称</b>	学生リーダーズスプリングスクール ～リーダーシップ研修 in 京都および大阪経済大学との交流・意見交換会
<b>開催日時</b>	2025年2月18日～23日
<b>開催場所</b>	京都外国語大学、あうる京北、大阪経済大学
<b>参加メンバー</b>	藤井利帆（英文学科1年目）、佐藤涼美（英文学科1年目）、 遠藤理子（経営情報学科1年目）、佐藤涼美（英文学科2年目）
<b>準備</b>	<input type="checkbox"/> 参加メンバーでの打ち合わせ（2回） 12月16日 北星ピア・サポーター×大阪経済大 DOGs UNGL ミーティング 3月3日 対面振り返り  <input type="checkbox"/> イベント主催校やイベントに関する情報収集 12月16日のミーティングにて
<b>参加内容</b>	<p><b>【UNGL 西日本学生リーダーズ・スプリングスクール】</b></p> 2月19日（1日目） 京都外国語大学構内でグループ発表とタイムスケジュール共有 あうる京北に移動、アイスブレイク、グループワーク、フィードバック 2月20日（2日目） グループワーク、プレゼン準備、アドバイザー面談、フィードバック 2月21日（3日目） 京都外国語大学に移動、グループワーク、プレゼン準備、プレゼンと結果発表、振り返り  <p><b>【大阪経済大学との交流】</b></p> 2月22日 自己紹介、グループごとにディスカッション、発表 ・ 採用について（インターン制度） ・ 先輩の役割・後輩の役割について（メンター制度）

感想	<p>【学生リーダーズスプリングスクール～リーダーシップ研修 in 京都】</p> <p>研修に参加して特に感じたことは、目標を立て、その目標に対する行動をしっかり振り返りすることの大切さです。研修では、まずは個人の目標・班での目標を定め、その目標を達成するために考えながら行動しました。そして、1日が終わるごとに自分自身でその日の行動を振り返り、班のメンバーからもフィードバックを受ける時間がありました。その振り返りをもとに、次の目標を立て、成長するために行動に移すという一連の流れがあったことで、常に向上心を持ちながら研修に参加することができました。初対面であるにも関わらず、とても濃い時間を班のメンバーと過ごしたことで、受けるフィードバックも的確でした。</p> <p>そして、研修全体を通しての私の目標は、「自分なりのリーダーシップ」を見つけることでした。私は普段から率先してチームを引っ張るようなタイプではありませんが、私だからこそできるリーダーシップがあるということを実感しました。率先して引っ張ってくれるメンバーのサポート役や、発言が少ないメンバーの発言を促すなど、研修中は場面に応じた立ち回りを心掛けていました。その行動を、フィードバックの際にメンバーから評価してもらえたことが嬉しかったです。改善点として、他者の意見と同じように自分の意見も大切にしていけることを、今後のピアサポ生活で意識しようと思います。</p> <p>研修中は全体での合意形成を図る場面がありました。この際、自分の意見があったにもかかわらず、伝えることができなく後悔しました。その経験をピアサポに持ち帰り、全体で合意形成を図る際には、全員が納得するやり方で行うことを意識しようと思います。</p> <p>今回の UNGL は私にとって 2 回目の学外研修でしたが、前回と比較しても自身の成長を感じることができました。特に、発表する際に以前よりも落ち着いてできたことや臨機応変な対応ができるようになったことが前回からの成長だと思っています。今回の研修で学んだことを、今後の人生で生かそうと思います。</p> <p>(A)</p> <p>今回の研修では 3 つの個人目標を立て、毎回それに対する振り返りと修正を心がけました。</p> <p>グループワークでは、途中から 6 グループ全員との合意形成をするタスクが課されて、そこから学んだことが多くありました。意思決定の時に各班にこのまま進めて良いのか確認を取ってくれた学生が居ましたが、その聞き方が個人的には改善出来る点だと思いました。短い説明とこれでいいかな？という YesNo 疑問文だけで、効率重視な合意形成だったので、結果的に進め方を変更することになってしまいました。説明は各班に差が出ないように、全体に向けて 1 度で行い質疑応答の時間や意見を聞き入れる時間を設けることを気をつけていれば違った結果になったかもしれません。自身の会議中の進め方を見直す良いき</p>
----	--

っかけになりました。

自分が班の最年長だったこともあり、目標の1つ目はメリハリをつけて研修参加すること、他の人を巻き込んで行うことにしました。具体的には話をしている人の方に体を向ける、声掛けをする、手を止めるなど当たり前のことではあるけれど意識することで少し班員を巻き込めたと思います。目標の2つ目は、班や参加者・運営の垣根を越えて関わること、サポートすることでした。これは研修のスケジュール上、なかなか叶わなかったのですが、就寝前の自由時間や最後の懇親会で、別の班の学生や学生アドバイザーとも交流ができました。

今回の研修で自分の班の担当アドバイザーに、できないことや苦手なことにチャレンジする姿勢は評価できるけれど、時間的な制約がある時は特に、自分と仲間の特性を考え適した役割を担うやり方、今持っている能力を更に伸ばすことにフォーカスするのも意識してみたらどうか、とアドバイスをもらったのが良かったです。グループワーク中も自分なりの意見を考えていたら、メモが取れない、タイムキーパーを忘れがちなどマルチタスクができないことを痛感しました。また、班員からは人がやりたがらないことを率先して行っていたこと、3日間の研修の中で出てきた疑問などをそのままにせず、班に問えたことは自分自身心がけることができた実感していたし、評価してもらうことができました。(D)

・今回初めての学外研修なのと性格上あまりこのような研修に参加しなかったのが、不安だったが、3日という短い時間の中で、自身の得意なことを伸ばし、苦手なことを克服できるような研修だったと思います。また短い日数で知らない学生と心を許せる関係性になれる素晴らしい研修でした。私は普段、サポートをすることが多いため、前に出ることや意見を言うことを意識していました。しかし最初の方は話し合いが途切れないくらい同じ班内の学生のスピード感に少し圧倒されました。話のテンポの違いが感じました。また自分は人の意見を聞くときも自分の意見を話すときも慎重にいきたいタイプだということに気づくことができました。発表やプレゼンに苦手意識があったが、居心地のいい北星ピアサポでは改善しきれなかっただろうことまで今回の研修で身についたと思います。改善点としては話し合いの際についていける瞬発力と意見を言うことに自信を持つことをこれから頑張ろうと思った研修でした。(C)

・終わったあとの余韻もあり、行ってよかったと思えました。活動班に他団体のリーダーもいたが、その人に頼らず自分から率先して行動するように意識しました。フィードバックの時に、率先して、物事を見れる、リーダータイプだねと言ってもらえたことが印象的です。案に対して、掘り下げないところがあ

	<p>ったから、話を拡げることが必要だとアドバイスを受けました。自分が知らない長所（気遣い上手、時間管理ができるなど）をフィードバックを通じて知ることができ、客観的に自分にを見てもらうことができ、良い経験になりました。（B）</p> <p><b>【大阪経済大学との交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 採用時期について、DOGs と北星の時期のずれがあることを話したときに、ピア・サポートの理念から考えるのは難しいが、早い段階から育てるという部分ではいい部分なのではないでしょうか。キックオフから1年目が主体的に行っているが、その風潮がいいものなのかと考えさせられるものでした。キックオフまでの訓練段階がないこの風潮にすこし違和感がありました。ピア・サポーターは一般学生には提供できているのに、サポーター内では行うことができているし、それを行うチャンス（新入生説明会）が一回しかないという現状が良くないのではないかと思います。</li> <li>・ キックオフのときに、これから不安なことを聞かれたが、初めてだから、その不安すらもないと思っていました。自分が二年目になったときに、去年の経験を生かして、活動する体系がいいのではないかと感じています。</li> <li>・ 三役の負担が大きいメンター制度が北星では学科活動として既にあるのではないかと思います。そのうえで各学科から代表として連絡係が必要ではないかと感じました。共有の役割を担ってもらうことで責任感が生まれることもあると思います。ただ、学科リーダー（代表、連絡係）にならないメンバーは当事者意識の薄れが進んでしまわないのが懸念事項です。</li> <li>・ 他の学科を混ぜたグループを作ってもいいのではないかと思います。しかし、三役が孤独になってしまうのではないかと懸念点があります。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>展望</b></p>	<p><b>【学生リーダーズスプリングスクール～リーダーシップ研修 から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北星ピアのフィードバックの仕方には結果だけ見て判断している、過程や努力量は知らない、という問題点があると気づけた。学生アドバイザーのフィードバックの仕方は参考にできる点が多くあった。</li> </ul> <p>現役生にできることとしては打ち合わせをする際には学科チャネルなどオープンな場で連絡をして過程を見る機会を広く提供していく。</p> <p><b>【大阪経済大学との交流から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一年生の後期から募集をかけて、三年生が主体となって行う（従来と同じ）。ピア・サポーターの活動期間を増やす。新二年生と新三年生並に行う必要がある。採用を後にする必要性を感じた。</li> <li>・ ピア・サポのチャットのリアクションがしにくい傾向がある。</li> </ul>

## 学科・係以外

## 北星ピア・サポーター活動報告書（学科・係以外）

提出日 2025/3/24

<b>活動名称</b>	2024年度 アドバイザー会企画		
<b>メンバー</b>	アドバイザー 英文学科：高野大和 経済学科：伊藤皓紀、木村駿作、土屋日奈子 経営情報学科：相内詩渚 経済法学科：正木瑛翔、土屋萌 社会福祉学科：阿部かりん、斉藤弥沙紀、遠藤幸花 心理学科：山田杏樹、成田歩美 短大英文学科：山田楓		
<b>日時</b>	2025年3月7日（金）		
<b>場所</b>	kirari		
<b>対象者</b>	現役ピアサポ	<b>参加者数</b>	27人
<b>目的</b>	参加者に心身のリフレッシュを提供すること。特に新入生説明会準備期間のため、準備の忙しさやストレスから解放され、リラックスした環境の中で心地よいひとときを過ごすことで、心身のリセットと活力の充電を促進する。参加者が自分自身と向き合い、新たなエネルギーを得ることができる場を提供することにより、個々の生産性や創造力の向上を図る。また、チームワークや人間関係の強化にも寄与し、より良い職場環境や社会的な繋がりの形成を目指す。		
<b>準備</b>	1月6日（月）第1回打ち合わせ 1月10日（金）参加者の募集開始 1月12日（日）企画書の作成開始 1月20日（月）第2回打ち合わせ 2月6日（木）第3回打ち合わせ（Teams） 2月25日（火）kirari申請を実施 2月28日（金）リハーサルを実施 3月5日（水）センター長に企画書を提出 3月6日（木）格付けチェックの買出しを実施 （アドバイザー一人1000円合計13000円と教員から頂いた5000円を合わせた18000円が予算となった。） 3月7日（金）企画当日		

<p><b>実施内容</b></p>	<p>13：00～18：00 で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会式</li> <li>・ デザインマスターになろう！</li> </ul> <p>(E 提供 企画書・活動報告書は別で作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他己紹介</li> </ul> <p>目的は共に活動する仲間をより深く知り、これからの活動でも協力し合う関係性を築くこと。目標は仲間を深く知り、次に繋げられる関係値を高めさせること。全体が笑顔で終わらせること。内容は偶数の人数でグループ分けをし、グループ内で2人1組のペアを作った。ペアの中で質問者と回答者に分かれ制限時間内に相手のパーソナルを引き出し、他己紹介専用の紙にまとめてもらった。最後にグループのメンバーに向けてペアの相手を紹介し合った。アドバイザーは参加者が奇数であれば1名一緒に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クイズ</li> </ul> <p>大学の制度等やピアサポメンバー、ピアサポ活動に関するクイズを7問出題した。パワーポイントのスライドを使用し、参加者には、グループで1つの答えをだしてもらった。アドバイザーに巡回して参加者の状況を把握した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イントロクイズ</li> </ul> <p>楽曲のイントロを流し、曲名またはサビの歌詞をグループごとで回答してもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格付けチェック</li> </ul> <p>値段や種類の異なる食材を用意して、A、B、Cの3つのカードのなかから正解を選んでもらった。アドバイザーは食材の準備を行った。</p> <p>以下、内容</p> <p>水：A コントレックス、B 北アルプスの清らか天然水、C 水道水</p> <p>食パン：A サンジェルマン、B 大地の朝、C 絹艶</p> <p>ぶどうジュース：A 小岩井純粋ぶどう、B 澤光青果こだわりのグレープ、C ウェルチグレープ100</p> <p>豆腐：A 雪うさぎ木綿豆腐、B 東急の高級豆腐、C セブンイレブン木綿豆腐</p> <p>ステーキ：A 和牛ヒレ (シャトーブリアン)、B 和牛サーロイン、C 牛みすじ (アメリカ牛)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閉会式</li> </ul>
<p><b>良かった点</b></p>	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各企画全て大盛り上がりだった！</li> </ul> <p>理由：過去の企画を参考に、現役のピア・サポーターに合うようアレンジをうまく加えることができていたと考える。</p>

#### 他己紹介

- ・ 文句なしの結果となった。

理由：ほとんど昨年のアドバイザーが実施した通りの流れのため、準備ではスライド・ペーパーだけで済んだのが良かった。当日では、全体が良い雰囲気ですべて終わる結果となったため、目標を果たすことができて良かった。また他己紹介シートを用いていたため、発表も円滑に進めることができた。

#### クイズ

- ・ リハーサル、当日ともに必要な準備を終わらせて臨むことができた。

理由：Teams のチャットで細かなところも話すようにした。また、スライドを共同編集することにより、お互いの準備状況が把握することができる環境を作り、協力できたため。

- ・ 準備や当日がスムーズに進んだ

理由：自分達の担当じゃなくても積極的に協力し、当日のスケジュールで予定していたクイズの開始時間が早まったことにも臨機応変に対応することが出来たため。

- ・ 当日は、予定していた時間配分通りにクイズ運営ができた。

理由：リハーサルを実施していたことによって、当日の想定される時間が把握できていた。そのため、企画当日もスピード感を意識することができたから。

#### イントロクイズ

- ・ イントロクイズの準備がスムーズに進めることができた。

理由：対面で円滑な会議やリハを行えたためだと考えられる。

- ・ 参加者の様子を見ながら進行できた。トラブルもなくできた。

理由：3人で臨機応変に役割分担して対応できたため。

#### 格付けチェック

- ・ 食材の提供をスムーズに行うことができた。

理由：格付けチェック以外のメンバーとも協力して、事前に食材を準備したため。また、次の食材の準備を声かけしながら行ったため。

- ・ 参加者の反応を見ながら進行をすることができた。

理由：見回りをしたり参加者に声をかけたりして、臨機応変に対応したため。

<b>反省点</b>	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体を通して見通しが甘かった。急な時間変更があったりもした。</li> </ul> <p>対処法：企画についての話し合いを夏休みくらいから始めて、全体の調整役を決めたり役割分担を明確にする。(役割にあたってなくても人任せにしないで、進捗状況を聞き合ったりして連携しながらやると良いかも)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算に関わることを決めるのが遅かった。</li> </ul> <p>対処法：上に同じ。</p>
	<p>他己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>
	<p>クイズ</p> <p>回答時間は設けていたものの、早く切り上げたり、遅く切り上げたりの対応が難しかった。</p> <p>理由：最後のグループの記載が完了するまで待つ流れになってしまい、早く記入が完了したグループが暇になってしまう時間を作ってしまったため。</p> <p>対処法：ほとんどのグループが記入完了した時点で、切り上げるとよりスムーズに進行すると考えられる。</p>
	<p>イントロクイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報共有があまり足りていなかった。</li> </ul> <p>理由：キックオフ会で話し合っていたメンバー以外に対して、目的や目標を伝えられていなく気がつく点と企画が進んでいた点が困惑した。</p> <p>対処法：報連相をきちんと誰でも確認できるアドバイザー会のチャットに投稿すると良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キックオフ会からの話し合いの後着々と進むわけではなかった。</li> </ul> <p>対処法：1人に頼らず、自主的に声をかけ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体として見通しが甘かった</li> </ul> <p>対処法：会議の際にアジェンダを作り事前に共有するようにする。また、会議の中で役割・仕事・期限を定めてあいまいのまま終わらない。</p>
	<p>格付けチェック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備や話し合いを始めるのが遅かった。</li> </ul> <p>対処法：キックオフ会くらいから会議をして、余裕をもって準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格付けチェックメンバー以外に情報共有がうまくできなかった。</li> </ul> <p>対処法：決定事項やアドバイザー全員で協議が必要なことは早めに共有することを心がける。</p>

<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 88 ) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の企画を通じて深まった仲を今後のピア・サポート活動に活かしてくれたら嬉しい！今後も社会人になって催し係になる際も関係作りの良い潤滑油的存在になりたい！</li> </ul> <p>他己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員で意識的に声かけを行うようにし、企画内容を厳選して行うことでクオリティをより高めても良い。</li> </ul> <p>クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーション期間で使える情報も提供したので、提供した事例が起きた際には、思い出して対応してくれることに期待する。</li> <li>・ 何かを企画して実行に移すことはそう簡単ではないが、誰かとやれば乗り越えられるとアドバイザー企画を通して再度学ぶことができた。仲間と活動することによる喜びを感じて今後も後輩達には頑張ってもらいたい。</li> </ul> <p>格付けチェック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の企画をきっかけに他学科や他学年とさらに交流が深まってくれと嬉しい。アドバイザー企画は、同期とつくる最後の企画になるので、ぜひ楽しんでね！</li> </ul>

## 北星ピア・サポーター活動報告書（学科・係以外）

提出日 2025/3/12

<b>活動名称</b>	デザインマスターになろう！		
<b>メンバー</b>	経営情報学科アドバイザー 相内詩渚 経済法学科アドバイザー 正木瑛翔		
<b>日時</b>	2025年3月7日（金） 13時00分～14時30分		
<b>場所</b>	ラーニングコモンズ PSエリア		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター 元インターン生（参加者なし）	<b>参加者数</b>	25人
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デザインにおける色彩や構図の土台を知り、他の人にアドバイスできるようになること。</li> <li>デザインの基礎的知識とアニメーション・切り替え機能を知り、スライド作成能力を高めること。</li> </ul>		
<b>準備</b>	<p>1月6日（月） 3講義目 初回ミーティング・1、2年目にどのような勉強会にしてほしいかヒアリングを行う（A・B）</p> <p>1月8日（水） 2講義目 企画書作成。目的や実施日までのスケジュールを確認（A・B）</p> <p>1月9日（木） 3講義目 第1回サポートデスクチェック（A）</p> <p>1月10日（金） 定例会で参加者募集を募る（A・B）</p> <p>1月16日（木） サポートデスクの確認を受け、学習サポートセンター長に提出し、承認を得た（A）</p> <p>1月29日（水） 第1回リハーサル（10:00～12:00） 全体の流れやワークのデモンストレーション、投影資料の色味を主に確認した （A・B・C・D）</p> <p>2月13日（木） 第2回リハーサル（10:30～12:30） 前回のリハで修正した箇所の確認（A・B・E・F・G）</p> <p>※尚、リハーサルに参加したメンバーは当日参加が難しいメンバーに依頼した。</p>		

<b>実施内容</b>	<p>講師：A、フリーマン：B</p> <p>■ デザインの基礎的知識講座（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザインの基礎的知識を説明する（色、フォント、余白、あしらいについて等）</li> <li>・ 発表資料作成を行う際のステップを説明する</li> <li>・ 知っていると見やすい資料が作成できるポイントをまとめて教授する</li> </ul> <p>■ 添削チャレンジ プログラム概要（20分） ※PCは使用なし</p> <p>目的: デザインの基礎を実践的に活用し、改善のポイントを体感的に学ぶ。</p> <p>① 問題提示（2分）</p> <p>デザイン基礎講座で学んだポイントを踏まえ、あえて「見づらい」デザインのスライドを2問用意する。各スライドの見づらい点を考え、指摘するための問題として提示。</p> <p>② グループワーク（4分/1問）</p> <p>近くの2～3人でグループを作り、どの部分が見づらいのか、またどのように改善すれば見やすくなるのかを口頭で考える。</p> <p>この段階ではPC操作を行わず、アイデアを話し合うことに集中。</p> <p>③ グループ回答の発表・共有（1分/1問）</p> <p>1グループ代表で改善案を発表。</p> <p>④ 回答の提示（2分/1問）</p> <p>問題スライドの具体的な改善例を提示し、解説。</p> <p>見づらいポイントとその改善方法について改めて確認。</p> <p>※この流れを2問繰り返し、おおよそ20分で進行。</p> <p>■ アニメーション・スライドの切り替え講座（5分）</p> <p>アニメーションの必要性やメリット・デメリットについて軽く説明</p> <p>■ スライドの切り替えレッスン（15分） ※PCを使用する</p> <p>目的: 実際の操作を通して参加者に「変形」機能の具体的な使い方を体験させ、デザインの幅を広げると同時に、スライド作成スキルの向上を目指す。</p> <p>尚、操作に必要なファイルは参加者に事前に配布。</p> <p>① 例題提示（2分）</p> <p>3つの箇条書きデザインを使ったシンプルなスライドを提示。</p> <p>そのまま使うだけでも良いが、スライド切り替え機能を追加することで、目を引きやすく、印象に残りやすいものにできることを伝える。</p> <p>スライド切り替えの「変形」機能を使用する目的を明確にし、操作の流れを簡単に解説。</p>
-------------	--

	<p>② 実践 (10 分)          スクリーンに講師の PC 画面を共有し、参加者は講師の示す手順にしたがいスライドを完成させる。</p> <p>③ まとめ (3 分)          実践した内容を簡単に振り返り、重要な操作ポイントを確認。          「変形」機能の応用例をいくつか示し、さまざまなシーンで活用できることを説明。          「スライド切り替え機能は、視覚的なインパクトを与えたり、情報を段階的に提示する際に有効」と再度強調。</p> <p>■ 総括 (5 分)          実施したことを簡単に振り返る。最後にデザイン力を高めて、視覚的に訴求できるスキルを楽しく今後身に付けてほしいというメッセージを加える。</p>
<p><b>良かった点</b></p>	<p>■ 準備をスケジュール通りに動くことができた。          → 細かい作業の達成期日を設けたため、行動に移しやすかったため。</p> <p>■ 講座の内容がおもしろいという感想をきけた。          → 経営情報学科生ならではの専門的な視点でも解説していたので新鮮さを感じる学生が多かったため。</p> <p>■ 多くの人に提供できた。(遅刻者含め 25 名程度)          → 企画当初は午前中であったが、アドバイザー企画と合併し、午後に回ったことで、予定の参加者数を上回ったため。</p> <p>■ ワークが盛り上がっていた。          → 座学が多かった分、知識を多く身に付けられていたため、添削するポイントが豊富に出てきたのだと予想している。</p>
<p><b>反省点</b></p>	<p>■ 間違った事前配布資料を配布してしまった。          → しっかり確認してから配布する。</p> <p>■ ピンマイクを使えなかった。          → 事前にテストをして確認するべきだった。</p> <p>■ アドリブがうまくいかなかった。          → ピンマイクを使うことができず、台本を見ることができず、うまく言葉をまとめられなかった。</p>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 80 ) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<p>■ 後輩たちに今回提供したことをピア・サポート活動のみならず、今後の学生生活・社会生活に活かしてほしい。</p> <p>■ もし、今後社会に出た時自身が勉強会を企画する機会があれば、今回の経験を活かして効果的なマーケティングや資料作成力をのばす人材になりたい。</p>

## 北星ピア・サポーター活動報告書（学科・係以外）

提出日 2025/05/22

活動名称	新入生応援 BOOK 作成		
メンバー	戸沼 祐水、福光 颯汰		
日時	2025 年 2 月 20 日(木)～2025 年 4 月 2 日(水)		
場所	北星ピア・サポーター主催の新入生説明会にて配布		
対象者	2025 年度 北星学園大学 1 年生	参加者数	—
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生応援 BOOK を活用してもらい、北星ピア・サポーターの認知とともに時間割作成の方法を伝え、少しでも新入生が時間割作成で混乱するのを軽減する。</li> <li>・ 北星ピア・サポーター主催の「なんでも相談会」についての周知を行う。</li> </ul>		
準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 月 21 日(金)：初回打ち合わせ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 2025 年度新入生応援 BOOK を作る際に使用するテンプレート作成を実施</li> </ul> </li> <li>・ 2 月 28 日(金)：ピア・サポーター全体共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ・ 新入生応援 BOOK を活用の有無の全体連絡</li> <li>・ 各学科で必修科目等を時間割内に組み込むお願い等の連絡</li> </ul> </li> <li>・ 3 月 21 日(金)：打ち合わせ①（経済・経営情報・心コミ） <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ・ 2024 年度の時間割を 2025 年度の時間割に修正・変更</li> <li>・ 事前に各学科ですり合わせた 2025 年度新入生応援 BOOK の誤字脱字の確認</li> <li>・ 新入生説明会で扱う学科資料との合体（必要である学科）</li> <li>・ 2025 年度新入生応援 BOOK の冊子状態を確認（印刷した際のページ配置など）</li> </ul> </li> <li>・ 3 月 24 日(月)：打ち合わせ②（英文・社福・心理） <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ・ 2024 年度の時間割を 2025 年度の時間割に修正・変更</li> <li>・ 事前に各学科ですり合わせた 2025 年度新入生応援 BOOK の誤字脱字の確認</li> <li>・ 新入生説明会で扱う学科資料との合体（必要である学科）</li> </ul> </li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2025 年度新入生応援 BOOK の冊子状態を確認（印刷した際のページ配置など）</li> <li>・ 3月25日(火)：打ち合わせ③</li> <li>→ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目次に「メールのテンプレ」を加えたかどうかの確認</li> <li>・ メールテンプレートの写真挿入</li> <li>・ 改ページが変なところになっていないかの確認</li> <li>・ 時間割のページの「地域と社会」を「地域と世界」に変更</li> </ul> </li> <li>・ 3月28日(金)：打ち合わせ④</li> <li>→ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終確認</li> </ul> </li> <li>・ 3月29日(土)：応援 BOOK 完成</li> <li>→ 全体共有・印刷依頼</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>実施内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北星ピア・サポーターの主な活動等や、「なんでも相談会」についての告知、メールテンプレートの掲載、時間割作成のポイントを記載した冊子を各学科分作成（経済法学科は今年度使用しないこととしたため作成なし）</li> <li>・ 北星ピア・サポーターによる新入生説明会にて各学科に配布</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科学年を問わず多くの人を巻き込んで、新入生応援 BOOK を作成することができた。</li> <li>・ 2024 年度の時間割表を参考に、下欄に単位計算の表も前期後期で取り入れることができた。</li> <li>・ 北星ピア・サポーター主催の新入生説明会にて新入生応援 BOOK を配布したことによって、当日の新入生説明会のみならず、翌日からの「なんでも相談会」の際でも活用してくれている学生が多いことが明確だった。</li> <li>・ 2024 年度の時間割作成ポイントを見やすく改良したことによって、学科ごとの時間割作成のポイントがよりわかりやすく可視化できた。</li> <li>・ メール文作成に混乱しないために、メールテンプレートを記載した画像を新入生応援 BOOK に組み込むことができた。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>反省点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報係の担当としていたが、リーダーとの共有ができず、作成開始が遅くなってしまった。</li> <li>・ 最終確認等は2人が中心となって行ってしまったため、1年目に対するアプローチや引継ぎがおろそかになってしまった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度以降の新入生応援 BOOK を作成し始める日程は今年度より早く設定して、1年目に引継ぎできるような余裕を持った計画で取り組んでいくべきだった。</li> </ul> </li> <li>・ 最終確認まで気づくことができなかった誤字脱字等が学科ごとに絶えずあった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今一度学科ごとに添削を徹底してもらい、任せきりにならないようにするべきだった。</li> <li>・ 新入生応援 BOOK 作成メンバーは募ることができたが、結局打ち合わせに一度も足を運ばなかった人がいたこと。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕方なく日程が合わなかった人は、Teams のリアクションやレスポンスを徹底させるべきだった。また、2人が中心になって1人1人にアプローチ掛けをして仕事の割り振りや責任感を持たせるべきだった。</li> </ul> </li> <li>・ 最終確認が遅くなってしまったこと、2人中心に活動したことにより、単位計算の表の表記を各学科のものに合わせるができなかった学科があった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余裕を持ったスケジュール調整を前々から行うべきだった。</li> </ul> </li> <li>・ 引継ぎの連絡をしたにもかかわらず、来年度のために引継ぎをすることができていないため、北星ピア・サポーター全体が所属意識を持たず活動している状態が浮き彫りになってしまっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度以降は、新入生説明会スライドや原稿、学科ごとの配布資料のみならず、新入生応援 BOOK にも各々が目を向けて取り組むべきだった。</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 90 ) 点</p>
<p style="text-align: center;"><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度以降も、有志を集めて新入生応援 BOOK を作成したほうが、三役のみならず広報系の負担軽減になると考える。</li> <li>・ 来年度以降は、1 年目への引継ぎのことも視野に入れながらのスケジュールリングを心掛けるべきだと考える。</li> <li>・ 学科ごとの新入生説明会準備の際に、少しでも新入生応援 BOOK のことも視野に入れた準備を行うことで、有志の人たちに任せきりになる環境が軽減されたり、学科ごとで応援 BOOK 作成にも取り掛かれるので、有志の人たちの負担も軽減されると考える。</li> </ul>

---

# キックオフ会報告書

---

## 北星ピア・サポーター活動報告書（学科・係以外）

提出日 2024/05/22

No.1

<b>活動名称</b>	良いとこ眼鏡を身につけよう&2 日目リフレクションに向けて		
<b>メンバー</b>	山田楓、末岡桃萌		
<b>日時</b>	2024 年 12 月 7 日		
<b>場所</b>	kirari 研修室 AB		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	出席者全員
<b>目的</b>	<p>全体目的①：ピア・サポート活動への共通理解と意識合わせ</p> <p>全体目的②：ピア・サポーター同士の親睦を深め、協力して活動する上で必要な結束を強める</p> <p>全体目的③：新入生企画の引継ぎを通して学科内のつながりを深め、今後、説明会の準備を進めるうえで「2 年目が 1 年目を気に掛ける関係」・「1 年目が 2 年目に相談できる関係」を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北星ピア・サポーターとは他者の支援・大学をより良い学びの場にするための団体である。</li> </ul> <p>これまでの行い、キックオフ会二日間の研修を通して他者の良いところを見つけて互いに励まし合い、支え合いができる団体を目指す。</p>		
<b>準備</b>	<p>11 月 22 日（金）第 1 回打ち合わせ</p> <p>11 月 26 日（火）第 2 回打ち合わせ</p> <p>11 月 29 日（金）第 3 回打ち合わせ</p> <p>12 月 6 日（金）第 4 回打ち合わせ・リハーサル</p> <p>12 月 12 日（木）振り返り</p>		
<b>実施内容</b>	<p>スライドの作成</p> <p>開会式での概要説明（10 分）</p> <p>閉会式でのリフレクションシートを用いたリフレクション</p> <p>リフレクションシートの内容は以下の通り</p> <p>1 ページ目（個人の目標/良いとこ眼鏡を身につけよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人の目標</li> <li>良いとこ眼鏡を身に付けて見えたことをメモしてみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 学科の人の良いところ（強み・意外な一面）</li> <li>→ 他学科の人の良いところ（強み・意外な一面）</li> </ul> </li> </ul>		

	<p>2 ページ目（良いところ眼鏡/個人の振り返り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の目標は達成できましたか？点数をつけるとしたら、100 点満点中何点になりますか</li> <li>・ なぜその点数になったのか</li> <li>・ 印象に残ったこと・学べたこと</li> </ul> <p>3 ページ目（良いところ眼鏡/他者の振り返り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者の良いところ（自学科）</li> <li>・ 他者の良いところ（他学科）</li> <li>・ 他者の良いところで取り入れたいこと</li> </ul>
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵本を用いた準備によってよりリフレクションを良いものにできた</li> <li>・ 余裕をもって行動できた</li> <li>・ 当日も 1 人になる人がいなくいい雰囲気だった</li> </ul>
<b>反省点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハーサルをもっと早めにできたらよかった</li> <li>・ 個人目標の振り返りがいいとこめがねなのか個人目標なのかわかっていなかった</li> <li>・ いいとこめがねのメモ用紙が使われていなかった</li> <li>・ 最後の時間の幅が少なかった</li> <li>・ 研修本編の振り返りがキックオフ内でなかった</li> </ul>
<b>評価</b>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (95) 点</p>
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リフレクションの時間をもう少し多く取る</li> <li>・ 研修だけでなく、普段の活動につながるような工夫をする</li> </ul>

<b>活動名称</b>	セッション② 新入生企画のイメージを固めよう		
<b>メンバー</b>	佐藤涼美 中村恵和 東山歩叶 川除拓夢 坂東冬夢 田籠実々		
<b>日時</b>	2024年12月7日		
<b>場所</b>	irari 研修室 AB		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	52人
<b>目的</b>	<p>全体目的③：新入生企画の引継ぎを通して学科内のつながりを深め、今後、説明会の準備を進めるうえで「2年目が1年目を気に掛ける関係」「1年目が2年目に相談できる関係」を作る</p> <p>1年目の到達点②：新入生企画の活動イメージをつくる</p> <p>2年目の到達点②：“頼れる先輩/頼もしい同期”になる</p> <p>新入生説明会の準備～当日までの流れを理解する</p> <p>説明会のコンセプトと学科内の方針を明確にする</p>		
<b>準備</b>	<p>11月21日（木） 第1回会議</p> <p>11月25日（月） 第2回会議</p> <p>11月27日（水） 第3回会議</p> <p>11月28日（木） 第4回会議</p> <p>12月06日（金） リハーサル</p>		
<b>実施内容</b>	<p>Part1 新入生支援企画をする意義を再確認しよう（10～15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 大学公認組織としての役割と責任</li> <li>◇ 自信の経験をもとにサポートするとは？</li> </ul> <p>Part2 今日から新入生説明会当日までの流れを掴もう（10～15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ スケジュール確認（進捗報告会、中間リハ、最終リハ）</li> <li>◇ リスクマネジメント（上記のイベントをやる意味、最終リハ後の修正に伴うリスク、カメラマークやスライド配布に伴うリスク）</li> </ul> <p>Part3,4-1 学科内で引継ぎしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ピアサポ web 上の役立つ材料を探してみよう！（スライドと台本、新入生スライド素材置き場、ピアサポ写真集、活動報告書、新入生説明会後のアンケート結果、とか？）</li> <li>◇ こんなときどうする？（休講のお知らせの写真欲しいけどない！とか）</li> <li>◇ 1年目は気になること、不安なこと聞いてみよう！</li> <li>◇ 2年目は良かったこと課題点引き継いでほしいこと話してみよう！</li> </ul> <p>Part4-2 学科ごとに新入生説明会のコンセプトを決めよう</p>		

<p><b>良かった点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割分担が上手くいった</li> <li>・ 進捗報告ができていた（意見も聞くことができた）</li> <li>・ お互いを頼ることができた</li> <li>・ 臨機応変に対応できた</li> <li>・ 役割分担が上手くいった</li> <li>・ 研修終了後に、1年目がすぐに新入生説明会に向けて打ち合わせなどを始めているのはいい傾向</li> <li>・ トラブルにも臨機応変に対応できた</li> </ul>
<p><b>反省点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間配分を間違えた</li> <li>・ 準備が遅かった</li> <li>・ 本番を想定したりハーサルが出来ていなかった</li> <li>・ 事前準備が足りなかった</li> <li>・ データ管理をしっかりすべきだった</li> <li>・ 特定の人が仕事を抱え込みすぎてた</li> <li>・ 司会をもう少しメリハリがあったらよかった</li> <li>・ 引継ぎがためになっているのかは分からない → 意見が聞けたらよい</li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→（ 90 ）点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1つのスライドをお互いが編集することでスライドの進捗共有と当日のデータファイルの選択ミスを防げる。</li> </ul>

<b>活動名称</b>	セッション③ピアトーク		
<b>メンバー</b>	佐藤涼美, 北島楓		
<b>日時</b>	2024年12月7日		
<b>場所</b>	kirari 研修室 AB		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター2年目	<b>参加者数</b>	17名
<b>目的</b>	<p>全体目的③：新入生企画の引継ぎを通して学科内のつながりを深め、今後、説明会の準備を進めるうえで「2年目が1年目を気に掛ける関係」「1年目が2年目に相談できる関係」を作る</p> <p>2年目の到達点①：なんのために活動しているかを各々が確認して、主体性を持つ</p> <p>2年目の到達点②“頼れる先輩/頼もしい同期”になる</p> <p>自分や組織全体の強み・課題など様々なことについて話し合い、新たな視点や関係性を生むきっかけにする。</p>		
<b>準備</b>	<p>11月30日（土）第1回会議</p> <p>12月7日（日）セッション当日</p> <p>12月12日（水）第2回会議, セッション振り返り</p> <p>※ぴあのわ 2024in 大阪にて事前会議・リハーサル済</p>		
<b>実施内容</b>	<p>セッション目的・概要説明（5分）</p> <p>グループワーク（50分）</p>		
<b>良かった点</b>	<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年目のみセッションならではの和やかな雰囲気がピアトークの企画内容にあっていた</li> </ul> <p><b>【グループ内】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通認識の再確認ができていた</li> <li>・ 各学科の悩みを話すことができた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 他学科の実施企画などの近況を可視化することができた</li> </ul> </li> <li>・ 他学科の失敗をもとに対策を考えることができた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 全学科で共通していること（学科企画の広報等）について、それぞれの結果を共有できた</li> </ul> </li> </ul>		

<p><b>反省点</b></p>	<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぴあのわ 2024 から北星ピア・サポーター用に修正したが、現状に合わせたカードの準備が不十分だった</li> <li>・ グループの話し合い内容を共有できなかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 全体を見回る人を設けるべきだった</li> </ul> </li> <li>・ 和やかな雰囲気を意識しすぎてメリハリがなかった</li> <li>・ セッション目的から話がずれることはなかったが、認識が薄かった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 目的スライドを作成し、掲示しておくべきだった。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>評価</b></p>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (100) 点</p>
<p><b>展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営メンバーやセッション内容を把握している人を増やすことで、セッションの流れをスムーズにする。</li> <li>・ 自学科内などで共有の促しをして、今後のピアサポ活動のためにつなげる。</li> </ul>

<b>活動名称</b>	夕食づくりの検討		
<b>メンバー</b>	正木瑛翔、伊藤皓紀、山田楓、末岡桃萌		
<b>日時</b>	2024 年 12 月 7 日		
<b>場所</b>	kirari 食堂		
<b>対象者</b>	ピアサポ 1 年目・2 年目	<b>参加者数</b>	46 名
<b>目的</b>	<p>全体目的②：ピア・サポーター同士の親睦を深め、協力して活動する上で必要な結束を強める</p> <p>1 年目の到達点①：学科を超えた関係性を作る</p> <p>2 年目の到達点②：“頼れる先輩/頼もしい同期”になる</p> <p>主体性の向上とメンバー間の親交を深めること</p>		
<b>準備</b>	<p>11 月 26 日（火）1 講目 第 1 回打ち合わせ          内容：目的づくり、メニューの案出しと決定、調理方法も案出しと決定          レシピづくりの役割分担          J：メンチカツ、コンソメスープ          K：ロールキャベツ、中華春雨サラダ</p> <p>11 月 28 日（木）5 講目 第 2 回打ち合わせ          内容：レシピの共有、買出しリストの作成</p> <p>11 月 29 日（金）3 講目          ・ kirari へ調理器具の事前調べを実施</p> <p>12 月 6 日（金）          ・ 調理工程の懸念によるメイン料理の変更→ハンバーグに絞る          ・ 当日の調理は白米、ハンバーグ、コンソメスープ、中華春雨サラダに決定          ・ レシピ、買出しリストの再作成          ・ 買出しの委託</p> <p>12 月 7 日（土）実施日</p> <p>12 月 10 日（火）6 講目 振り返り</p>		

<p><b>実施内容</b></p>	<p>夕食内容：白米、ハンバーグ、コンソメスープ、中華春雨サラダ</p> <p>セッション③前半（16：10～）</p> <p>2年目に向けて夕食づくりの説明を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レシピの共有</li> <li>・ 食材が入っている冷蔵庫の場所の共有</li> <li>・ その後の役割分担等は2年目にお任せ</li> </ul> <p>セッション③後半（17：10～）</p> <p>1年目に向けて夕食づくりの説明を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レシピの共有</li> <li>・ 食材が入っている冷蔵庫の場所の共有</li> <li>・ 2年目からの調理作業の引継ぎ</li> <li>・ その後の役割分担等は1年目にお任せ</li> </ul>
<p><b>良かった点</b></p>	<p>準備：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レシピを詳細まで書いたこと</li> <li>・ ハンバーグの工程の中で、ソースの作り方より後の工程を当日調理している人に調べさせたこと</li> <li>→ これにより、1年目が自ら考え、主体的に行動するようになっていた</li> <li>・ 組織の背景を加味した明確な目的を立てることができた</li> <li>・ 施設の設備を事前に確認することができたため、当日臨機応変に対応できた</li> </ul> <p>当日：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調理時間の開始と共に自発的な動きがみられたこと</li> <li>・ 目的がちゃんと伝わっていたため、全体的に楽しい雰囲気に取り組むことができていた</li> </ul>
<p><b>反省点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セッション提供側の料理への知識が不足していたために、メニューの決定やレシピの完成が研修の前日になってしまったので、メニューの検討の段階で他者からの意見を聞く。</li> <li>・ ひとつのセクションを前半と後半に分けていたが、入れ替わりの時間を設けていなかったために、仕事内容の引継ぎがされていない料理や後半のセクションに遅れてしまう人が出たので、移動や引継ぎをするための時間を設ける。</li> <li>・ 1日目の夕食と2日目の朝食で使う調味料が同じ場所に置いてあり、夕食で使用可能な調味料が分からなかったため、使うことができる調味料の選択肢は明確にしておく。</li> <li>・ 声掛けが十分ではなく、先生方やOB、OGの方に作業をさせてしまったので、アドバイザーを中心とした声掛けを増やす。</li> </ul>

<b>評価</b>	今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ ( 96.125 ) 点
<b>展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当日、教員や OG が作業していた時に現役ピアサポは座って見ていた人、それに気づいていない人が大半だったので、気付いた時には積極的に取り組んでいる人への感謝を伝えられるようになってほしい。そういったところからピアサポ全体の環境がさらに良くなると思う。</li> <li>・ キックオフ会当日だけではなくて事前のワクワク感や雰囲気をもっと良くしたいということで、何をどれくらい作るのかを参加する人たちで決めさせたい。これによって、キックオフ会でのみんなの楽しみが増え、宿泊者の向上にもつなげていきたい。</li> </ul>

<b>活動名称</b>	グランドルールを定めよう		
<b>メンバー</b>	正木瑛翔, 伊藤皓紀, 北島楓		
<b>日時</b>	2024年12月8日		
<b>場所</b>	kirari 研修室 AB		
<b>対象者</b>	北星ピア・サポーター	<b>参加者数</b>	52名
<b>目的</b>	<p>全体目的③：新入生企画の引継ぎを通して学科内のつながりを深め、今後、説明会の準備を進めるうえで「2年目が1年目を気に掛ける関係」「1年目が2年目に相談できる関係」を作る</p> <p>1年目の到達点②：新入生企画の活動イメージをつくる</p> <p>2年目の到達点②：“頼れる先輩/頼もしい同期”になる</p> <p>新入生説明会の成功を目指して、以下の2点をセッションの軸とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生説明会の活動を楽しく・ポジティブにやる</li> <li>・ 「みんなでやる」の意識を持つ</li> </ul>		
<b>準備</b>	<p>11月23日(土) 第1回会議</p> <p>11月25日(月) 第2回会議</p> <p>11月29日(金) 第3回会議</p> <p>12月2日(月) リハーサル1回目</p> <p>12月6日(金) リハーサル2回目</p> <p>12月8日(日) セッション当日</p> <p>12月11日(水) 第4回会議, セッション振り返り</p>		
<b>実施内容</b>	<p>グランドルールの説明 (12分)</p> <p>学科ごとにグランドルールづくり (30分)</p> <p>学科バラバラで定めたグランドルールを共有 (15分)</p> <p>締め言葉 (3分)</p>		
<b>良かった点</b>	<p><b>【準備期間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セッションの掛け持ちが少なく時間をかけて考えられた</li> <li>・ 目的・軸が早く決まってスムーズに進んだ</li> <li>・ 適材適所に割り振れた</li> <li>・ 会議の度に各々のタスクを更新して良いスケジュールリングできた</li> </ul> <p><b>【当日】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年目が中心で話し合いを行う学科が多かった</li> <li>・ 自分たちにあったグランドルールができた</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共有タイムでマインドを揃えるルールと、決まりごとのルールを把握でき、学科に持ち帰ることができた</li> <li>・ 具体例にとらわれていなかった <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 我々の事例紹介がよかった</li> </ul> </li> <li>・ セッション②ででた失敗をもとに考えられていた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ Teams の OneNote 機能の説明がスムーズ</li> <li>→ セッション②と④間の連携が取れていた</li> </ul> </li> <li>・ インターン生のグランドルールを共有できるほど認識できていた <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ファシリテーターをアドに任せたことでいい話し合いができた</li> </ul> </li> </ul>
<b>反省点</b>	<p><b>【当日】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いがスムーズに開始されない学科もあった</li> <li>・ Wi-Fi の確認不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 全員 PC でできる方がよかった</li> </ul> </li> </ul>
<b>評価</b>	<p>今回の活動を 100 点満点で評価してみましょう→ (100) 点</p>
<b>展望</b>	<p>準備段階でセッションの掛け持ちが少なく、一つのセッションに対して集中することができてやりやすかった。さらに目的・軸が早く決まって適材適所に割り振りもできた。このようにスムーズに進められたおかげで事前にリハもできて万全の準備で臨むことができた。</p> <p>今年度は KPT (キックオフ会準備チーム) を作ったおかげで余裕を持った準備ができたと思うので、来年度以降も気運上昇の意味も込めて KPT でキックオフ会準備に取り組むと良いと思う。</p> <p>当日は、学科によってファシリテーターが決まるまで少し時間がかかりすぎていたところもあったので、来年度以降はファシリテーターを予め提示するのもありなのかもしれない。</p>